

豊中市健康づくり計画 年次報告書

平成 27 年度(2015 年度)版

豊中市

Toyonaka City

■本報告書について

平成 25 年(2013 年)3 月、豊中市健康づくり計画が策定されました。「健やか親子 21 とよなか～豊中市母子保健計画Ⅱ」を「健康」の視点から整理し、「健康とよなか 21」と統合して、あらゆる世代を通じた健康づくりを推進します。

健康は、市民一人ひとりが生活する環境に影響を受けることから、市民生活に関連する様々な部局の取り組みの一つ一つが「健康づくり」につながると考えています。そこで、保健分野だけでなく、福祉・保育・教育・経済など、様々な分野の機関が連携し効果的に取り組みを推進し、市民の健康づくりを支援します。

本書は、健康づくりに関する平成 26 年度（2014 年度）の取り組みをまとめたものです。取り組み目標や数値目標の達成に向け、進捗状況を把握・点検し、評価・見直しを行います。

目次

第 1 章 健康づくり 取り組みレポート	3
事業① ツール・ド・大阪 とよなかウォーキングコース トライ>ウォーキング	4
事業② 受動喫煙防止に関する取り組み	6
第 2 章 各事業の進行状況	8
資料：計画評価指標に関する市民意識調査 実施結果	78

第1章

健康づくり 取り組みレポート

第1章では、平成27年度に市内で実施された、健康づくりに関する取り組みの一部をご紹介します。
写真や資料なども多く掲載し、取り組み内容について楽しく読み進めていただけます。



マチカネくん

第1章 健康づくり 取り組みレポート

事業① ツール・ド・大阪 とよなかウォーキングコース

トライ▶ウォーキング

参照：Ⅱ運動・身体活動(80)生涯スポーツ振興事業

(1) 背景

平成 37 年（2025 年）団塊の世代が全員 75 歳以上高齢者（後期高齢者）となります。豊中市高齢者保健福祉計画・介護保険計画（第 6 期）（p.181、p.202）によると、平成 26 年度総人口 400,657 人が平成 37 年度には推計 399,012 人、平成 26 年度高齢化率 24.4%が平成 37 年度には推計高齢化率 25.4%、平成 26 年度要支援・要介護認定者 19,624 人（総人口比 4.9%）が平成 37 年度には推計要支援・要介護認定者数は 29,453 人（総人口比 7.4%）と予測されています。

健康長寿の視点から、30 歳代から 50 歳代はメタボリックシンドローム、60 歳代から 70 歳代前半はロコモティブシンドローム¹⁾、70 歳代以上はフレイル²⁾への対策が大切です。身体活動はメタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、フレイルの予防に効果があることがわかっています。

1) ロコモティブシンドローム：運動器の障害のため自立度が低下し介護が必要となる危険性の高い状態

2) フレイル：加齢に伴って徐々に運動機能や認知機能などが低下していく中間的な段階

(2) 事業内容

◆目的 「ツール・ド・大阪 とよなかウォーキングコース」を市民に知ってもらい、その人からさらに仲間へ広がり、ウォーキング人口が増加すること。このことにより、メタボリックシンドロームやロコモティブシンドローム、フレイルの予防につなげること。

◆参加者 24 人（男性 7 人 女性 17 人） ※定員 30 名

◆当日スケジュール

1. 血圧測定
2. 講義 ①運動の効果 ②健康長寿の食べ方
③運動を始める前に
「運動前の自己診断」
「運動強度を知るための脈拍数」
「運動効果を高める歩き方」
3. 実技 ・出発地点（二ノ切池公園）で準備体操（ラジオ体操）
・ウォーキング「ツール・ド・大阪 とよなかウォーキングコース」
前半（二ノ切池公園～千里中央公園）約 4 km
・ゴール地点（千里中央公園）で整理体操

◆主催 豊中市保健所保健医療課 都市活力部スポーツ振興課
公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団



第1章 健康づくり 取り組みレポート

(3) 当日のようす

当日、集合場所（二ノ切公園プール建物の集会室）へ来られた方から、血圧測定を行いました。血圧測定の後、健康情報講座「身体活動」「食事」「運動を始める前に確認しておくこと」を受講しました



いよいよ外に出て、ウォーキングの開始です。ウォーキング前に、準備体操、脈拍の確認を忘れずに。健康運動指導士から、正しいウォーキング・フォームの指導をうけ、二ノ切池公園を元気に出発しました。



あと一週間遅ければ、桜満開のなかをウォーキングできたのですが……。桜並木を抜け、千里アートロード、千里東町公園、こぼれび通りを抜けて、ゴールの千里中央公園へ到着。気持ちよい汗をかきました。

まとめ

このウォーキングコースは参加された皆さまに大変好評でした。次は、「友人を誘って桜のころに歩いてみよう」という声も聞かれました。四季折々の風景を楽しみながら歩けるウォーキングコースなので、ぜひ皆さまに知っていただきたいと考えています。ウォーキングを楽しむ人が増え、市民の皆さまの健康維持・増進につながっていくことが願いです。

事業②

受動喫煙防止に関する取り組み

参照：IVたばこ (149) 受動喫煙に関する普及・啓発・禁煙表示の推進
(150) 市内禁煙治療・禁煙サポート実施医療機関調査

(1) 受動喫煙について

「受動喫煙」とは、一般的に、「たばこを吸わない人が、**自分の意思とは関係なく、他人のたばこの煙を吸わされること**」をさす言葉です。

平成15年(2003年)5月に施行された「健康増進法」の規定により、多数の者が利用する施設の管理者には、受動喫煙による健康への悪影響を未然に防ぐよう努力する義務が課せられています。

(同法第25条)

多数の者が利用する施設・・・学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店など

しかし、分煙や禁煙は努力義務であり、特に罰則もないことから、対策が徹底されていない実情があることも事実です。豊中市では、『豊中市有施設受動喫煙防止ガイドライン』に基づき、すべての市有施設で建物内全面禁煙を実施しています

(2) 豊中市における受動喫煙防止に関する取り組み

保健医療課では、たばこの煙を吸いたくない人が吸わずに済む環境づくりとして、主に以下の取り組みを行っています。

- ① 受動喫煙に関する情報の普及啓発・禁煙表示の推進
- ② 市内禁煙治療・禁煙サポート取扱い医療機関一覧の作成・周知

① 受動喫煙に関する普及啓発・禁煙表示の推進

■ **世界禁煙デーパネル展** *健康増進課と合同で実施

WHOは、毎年5月31日を「世界禁煙デー」と定めています。厚生労働省は、「世界禁煙デー」からの1週間を「禁煙週間」(6月6日まで)とし、禁煙や受動喫煙防止の普及啓発など、たばこ対策に関する取り組みを推進しています。

【平成27年度 パネル展】

5月27日(水)～6月2日(火) 市役所第2庁舎
6月8日(月)～6月15日(月) 中央公民館ロビー
たばこに関する情報や取り組みをパネルにして展示他



第1章 健康づくり 取り組みレポート

『空気のきれいな施設』の募集・周知と禁煙ステッカーの配布

市内の民間施設等のうち、終日禁煙を実施しており、かつ禁煙表示を実施している施設を『空気のきれいな施設』として募集し、市ホームページ等で公表しています。

施設名	住所、電話番号	営業時間	備考
市内中央一 養生堂薬局	〒51-1020 豊中市2-10 西 (06-6884-3011)	9:00~19:00(土曜) 20:00~22:00(日)	本館では、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お電話でお申し込みください。お問い合わせ先：06-6884-3011
市内中央二 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6885-0108)	9:00~24:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6885-0108
市内中央三 養生堂薬局	〒51-1111 西 (06-6852-4427)	9:00~24:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-4427
市内中央四 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6852-4000)	9:00~24:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-4000
市内中央五 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6852-7085)	9:00~17:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-7085
市内中央六 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6852-5000)	9:00~14:30(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-5000
市内中央七 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6852-4463)	9:00~17:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-4463
市内中央八 養生堂薬局	〒51-1010 西 (06-6852-7362)	9:00~19:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-7362
市内中央九 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6852-5900)	9:00~22:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-5900
市内中央十 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6852-5812)	9:00~22:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-5812
市内中央十一 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6852-2202)	9:00~22:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-2202
市内中央十二 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6852-5700)	9:00~22:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6852-5700
市内中央十三 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6884-4707)	9:00~19:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6884-4707
市内中央十四 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6884-2766)	9:00~17:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6884-2766
市内中央十五 養生堂薬局	〒51-2400 西 (06-6851-3651)	9:00~22:00(日)	本館、本館、豊中市、ハイパーアスターへの配達も承ります。おたばこも取り扱い可能です。お問い合わせ先：06-6851-3651

現在、飲食店を中心に、薬局薬店や保育教育施設等の約80か所の施設からご協力をいただいています。

また、禁煙を実施しているものの表示をしていない施設については、希望があれば、併せて豊中市版禁煙表示ステッカーも配布しています。

※市有施設については、ガイドラインにより全施設が建物内禁煙を実施している為掲載していません。



市内禁煙治療・禁煙サポート取扱い医療機関一覧の作成・周知

はじめよう！禁煙治療

痛を失う原因の第一位は**歯周病**！
たばこを吸う人は、吸わない人の**2~8倍**もかかりやすくなります！

たばこの煙に含まれるニコチンや、歯肉に刺激を与える成分は、歯肉の炎症を引き起こし、歯肉が溶ける原因となります。歯肉が溶けると、歯が揺らぎ、最終的には歯が抜け落ちてしまいます。

禁煙治療は、歯肉の炎症を抑制し、歯肉の再生を促します。歯肉が再生すると、歯が揺らぎなくなり、歯が抜け落ちてしまうのを防ぎます。

あなたの1年間のたばこ代は？
禁煙治療は、禁煙をサポートします！

1日	¥12,000
1ヶ月	¥360,000
1年	¥4,320,000

禁煙治療を受けることで、歯肉の炎症が軽減し、歯肉の再生が促進されます。

禁煙治療を受けることで、歯肉の炎症が軽減し、歯肉の再生が促進されます。

禁煙治療を受けることで、歯肉の炎症が軽減し、歯肉の再生が促進されます。

受動喫煙を防止する環境づくりの1つとして、

(一社)豊中市医師会の協力のもと、禁煙治療や禁煙サポートを取り扱っている市内医療機関の一覧リーフレットを作成しています。表紙には、喫煙による健康影響等に関するトピックを掲載し、内容の更新時は、(一社)豊中市歯科医師会 ならびに (一社)豊中市薬剤師会 にもご協力いただいています。

リーフレットは、広く市民の方に知っていただけるよう、広報とよなかでの周知、禁煙デー等健康づくり関連のイベントや市役所議会棟の喫煙スペースでの掲示、豊中市薬剤師会会員店舗での配布依頼、特定健診受診者への配布などを行っています。

(3) まとめ

たばこが健康に悪影響を与えることは明らかであり、がん、循環器病等の生活習慣病を予防する上でも禁煙は重要です。特に未成年者や妊婦の喫煙をなくし、胎児や子どもへの受動喫煙の防止は重点課題となっており、今後も関係機関と連携を図りながら喫煙や受動喫煙の害に関する情報発信や、禁煙したい人への支援等を進めていきたいと考えています。

第2章

各事業の進行状況

第3章には、市内で実施された健康づくり関連事業を掲載しています。

各事業を健康づくりの視点から考察し、取り組み分野ごとに一覧にしています。



取り組み分野一覧

分野		めざす市民の姿	取り組み	頁
I	栄養・食生活	自分の体にあったバランス良い食事を心がけ、正しい食習慣を身につけている	A 栄養・食生活に関する知識の普及啓発	
			B 適切な食を提供するための環境整備	
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した食に関する取り組みの推進	
II	運動・身体活動	日常的に体を動かす習慣をもち、様々な運動・身体活動の機会が地域活動等のなかで提供され、必要な時に気軽に利用できる	A 運動・身体活動に関する知識の普及啓発	
			B 楽しく気軽に安全に運動や身体活動ができる環境づくり	
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した運動・身体活動に関する取り組みの推進	
III	こころの健康づくり	自分のこころの状態を理解し、ストレスのコントロールや相談・受診など適切な健康管理を行うことで、こころの健康を保つ	A こころの健康に関する情報提供や知識の普及啓発	
			B こころの悩みや不調を抱える人が気軽に相談・受診できる体制整備	
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携したこころの健康づくりに関する取り組みの推進	
IV	たばこ	未成年者や妊婦の喫煙を防止するとともに、喫煙による健康影響について正しい知識をもって、禁煙（受動喫煙の防止）をめざしている	A たばこの害に関する情報提供や知識の普及啓発	
			B 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した子どもの防煙と受動喫煙防止への取り組みの推進	
V	アルコール等	飲酒や薬物による健康への影響について正しい知識をもち、過度の飲酒、薬物乱用をしない	A 酒害と節度ある適度な飲酒及び薬物乱用に関する情報提供と知識の普及啓発	
			B 酒害等に関する相談体制の整備	
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などと連携した酒害等に関する取り組みの推進	
VI	歯や口の健康	歯や口の健康に関する知識をもち、適切な口腔ケアを実践し、定期的に歯科検診を受けている	A 歯や口の健康づくりに関する情報提供と知識の普及啓発	
			B 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した歯や口の健康づくりへの取り組みの推進	
VII	健康管理	自分の体や健康状態を把握し、適切な健康管理ができることで、生涯を通じいきいきとした生活をおくる	A 健康に関する情報提供と知識の普及啓発	
			B 健康診査・事後指導に関する情報提供と受診勧奨及び健診体制の整備	
			C 妊娠期の健康と安全な出産への支援	
			D 子どもの健やかな育ちへの支援	
			E 感染症についての情報提供と予防接種の普及啓発	
			F 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した健康づくり等に関する取り組みの推進	
VIII	子育て・子育て	親子が直面する様々な悩みについて、身近で相談や必要な支援を受けることができ、安心して子育て（子育て）ができる	A 育児上の問題発生の予防・支援体制の充実	
			B 虐待の予防と早期発見・早期援助のための体制の充実	
			C 親自身の悩みを受け止める場や専門的な相談機関の情報提供と相談の場の充実	

第2章 各事業の進行状況

I) 栄養・食生活															
事業名	所管部局 関連団体	事業内容	27年度実施状況・実績	評価	28年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その 他 関連 分野	
						妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期			
1	くらしのノート事業	くらし支援課	消費者教育資料集（技術・家庭科副読本）「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用してもらい、消費者教育を推進しています。 小学生用には豊中市食育推進計画等を掲載し、健康な食生活について啓発しています。	消費者教育資料集（技術・家庭科副読本）「くらしのノート」を作成（小学校4, 100冊、中学校4, 200冊）しました。	学校現場で活用し、消費者教育の推進、食生活と健康づくりについて情報提供をすることができました。	継続			●					I -A	
2	消費者活動支援業務	くらし支援課	消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業（リユースバザー・くらしかん祭り・講座等）を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3か月前から6か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	登録グループ10団体ありました。	登録グループ活動のうち、ひろば事業での食に関する講座を行い食生活や健康への啓発を行うことができました。	継続				●	●	●	●	I -A	
3	生活情報ひろば事業	くらし支援課	（とよなか消費者協会に委託）くらしかん1Fの「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。食に関するパネル展示や講座を実施し、健康な食生活を啓発しています。	ひろば事業（うち食に関するもの） パネル展：5回 地産地消：11回 講座：18回	食に関するパネル展示や講座を実施し、食生活や健康への啓発をすることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I -A	

第2章 各事業の進行状況

4	生活関連物資課題調査	くらし支援課	(とよなか消費者協会に委託)食料品、日用品等の生活関連物資について、年3回テーマを決め市場調査を行っています。食料品等を含む生活関連物資課題調査の結果を市民へ情報提供することは、適切な商品選択に資することから、健康づくりのための商品選択の一助となっています。	食料品、日用品等の生活関連物資について、年3回テーマを決め調査を行いました。調査内容：植物性油脂等の品質表示などの調査、量目調査	調査結果を配信し、食に関する情報を提供し、健康への推進を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-A	
5	消費者啓発講座・セミナー	くらし支援課	①消費生活セミナー：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事：消費者月間の5月に内閣府の統一テーマに沿って行う啓発事業として食に関する講座を開催しています。 ③学校における啓発講座：食品表示や食に関する講座を実施し、健康な食生活の啓発をしています。	①消費生活セミナー：2回(うち食に関するもの0回) ②消費者月間行事：1回(うち食に関するもの0回) ③学校における啓発事業：88回 3,328人(うち食育関係：48回、1,676人)	学校での啓発事業では、食品表示や食に関する講座を実施し、食生活と健康づくりの啓発を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-A	
6	とよなか食育プラスワン	保健所保健医療課	第2期食育推進計画を市民の方に実践していただけるよう、「ほんの少しの取り組みから始めましょう」という思いを込めて食育プラスワンシートを作成・配布しています。	①既存シートの活用②血糖値・血圧・コレステロールが気になる人のためのプラスワンシート及び健康増進のためのプラスワンシート(協力：市薬剤師会)を市内薬局(薬剤師会会員店舗)を通じて配布。①②合わせて合計54,800枚活用。	シートの内容について他の部局と検討したり、食育や健康づくりに関するシートをチラシの裏に印刷させていただくことで、複数の部署や関連団体と協働して食育事業を実施する環境の整備につながっているほか、関心の薄かった層にも食育という単語を知っていただく機会になっていると感じています。食育を実践していただくためのツールとして、今後も広く活用していきます。	拡充	●	●	●	●	●	●	I-A	I-C	
7	食の育みフォーラム	保健所保健医療課	食育推進計画の周知のため、市民に身近なテーマでフォーラムを開催しています。	健康づくり計画啓発講演会との合同企画としてウォーキングイベントを実施。24名の参加があり、ウォーキング前に「健康長寿のための食べ方」について講義しました。	他課と連携し取り組むことができました。日常の中で食育や健康づくりに自然と取り組むことができるようなきっかけづくりを今後も提供していきたいです。	継続				●	●	●	●	I-A	

第2章 各事業の進行状況

8	食品衛生事業	保健所衛生管理課	市民に対し、食品衛生に関する知識を広め、食中毒予防に取組むなど、安全な食生活の確保を図ります。	市民に対し、食中毒予防や異物混入防止に関する講習会を34回開催し、904名が受講しました。 また、食中毒予防街頭キャンペーン等のイベントを実施し、広く食品衛生に関する知識の普及を図りました。	講習会の受講者は概ね熱心に受講しており、市民に対して食品衛生に関する知識の普及を図ることができました。 今後、実施するにあたっては、講習会の効果的な周知方法の検討や会場の確保が課題であると考えます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-A	
9	食育ステディーデー	保健所健康増進課	(NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21協力) 小学生とその保護者を対象に、環境学習・収穫体験・共食体験などを行います。	1回 54人	スタッフの配置の工夫等により効果的に事業が行えました。参加者にも好評でした。	継続			●	●	●			I-A	
10	幼児食講座	保健所健康増進課	幼児食に関する知識・情報を提供します。 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センターで実施します。	実施回数 24回 参加者数 129人	幼年期だけでなく生涯を通じた食生活について啓発する場として、実施することができました。	継続		●						I-A	VII-D
11	マタニティクッキング	保健所健康増進課	妊娠中の食事と離乳食について、簡単な調理実習と試食を実施します。	実施回数 6回、参加者数 87人	妊娠中の食事だけでなく、離乳食も作れる講座として好評でした。	継続	●							I-A	VII-C
12	メタボ撃退お料理教室	保健所健康増進課	メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた調理実習を実施します。	1回 16人	簡単に作れるメニューで好評でした。	継続				●	●	●		I-A	
13	妊婦教室「カンガルークラス」	保健所健康増進課	妊娠5カ月以降の妊婦とその家族を対象に、栄養士が妊娠中の食事についてお話しします。 毎月1回開催しています。	実施回数 11回、参加者数 103人	妊娠期だけでなく生涯を通じた食生活について啓発する場として、実施することができました。	継続	●							I-A	VII-D
14	離乳食講習会	保健所健康増進課	離乳食に関する知識・情報を提供します。千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センターで実施。	ごっくんクラス 実施回数 24回 参加者数 806人 かみかみクラス 実施回数 24回 参加者数 677人	離乳食に関する知識や情報を提供するとともに、保健センターが食に関する相談窓口であることをPRすることができました。	継続		●						I-A	

第2章 各事業の進行状況

15	親子でかむかむクッキング	保健所健康増進課	よく噛んで食べるための話と親子での調理実習	1回 31人	幼年期の子ども及び保護者に噛むことの重要性を伝え、親子で調理する機会を提供できました。	継続		●									I-A
16	消費生活情報の広報	くらし支援課	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。食品表示や食に関する記事を掲載し、健康な食生活の啓発をしています。	A4判8項 3,000部/回 年1回発行 A4判4項 3,000部/回 年3回発行 点字版 B5判 11部/回 年4回発行	食品表示や食に関する記事を掲載し、食生活や健康づくりへの情報提供を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●			I-B
17	くらしかん祭り	くらし支援課	①消費者問題等に取り組むくらしかん登録グループの実践活動の発表の場としてくらしかん祭りを実施しており、グループ間交流や市民との情報交流を図っています。 ②平成10年度からくらしかん登録グループとともに実行委員会体制で企画運営をしています。食や栄養に関するブースを設置し、健康な食生活の啓発をしています。	協力団体19団体（くらしかん登録グループを除く） 参加者数：875人	食に関するブースを設け、健康づくりを推進することができました。	継続		●	●	●	●	●	●	●			I-B
18	啓発事業	くらし支援課	JAS法の遵守を確保するために市内事業者を対象に指導点検等による品質表示制度の普及・啓発等を行います。	27年度は府による事業引き上げのため、事業未実施。 (28年度からは保健所にて実施)		継続	●	●	●	●	●	●	●				I-B
19	地域産業の活性化	産業振興課	地域社会を支えてきた産業のさらなる振興を図るとともに、大阪国際空港や道路などの交通利便性の高さ、大学の立地といった地域特性を活かして新たな産業の立地を進めます。	中小企業チャレンジ促進プランにもとづき、とよなか産業フェアや情報調査提供事業など自立と発展をめざす企業を支援する事業を展開しました。	さまざまな企業が新たなビジネスにチャレンジできるよう、幅広い支援を実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●				I-B I-A

第2章 各事業の進行状況

20	新産業・起業の促進	産業振興課	事業者間の出会いの場づくりやPRの場づくりを通じて、新たなビジネスの創出に取り組む企業を支援することにより、市内産業の活力向上を図ります。 また、さまざまな分野で創業・起業をめざす人材や第二創業に取り組む市内事業所を支援し、市内産業の新たな担い手の育成を図ります。	中小企業チャレンジ促進プランにもとづき、中小企業チャレンジ支援事業やとよなか起業・チャレンジセンター事業など自立と発展をめざす企業を支援する事業を展開しました。	さまざまな企業が新たなビジネスにチャレンジできるよう、幅広い支援を実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I -B	
21	在宅給食サービス事業	障害福祉課	単身障害者又は障害者のみの世帯に対し、安否確認のため居宅を訪問し、食事を手渡します。栄養バランスのとれた食事を定期的に提供することで健康維持にもつながります。	給付決定人数 35 人	単身障害者又は障害者のみの世帯に対し、栄養バランスのとれた食事を定期的に提供しました。このことで、健康維持のみならず安否確認も行うことができました。	継続	●		●	●	●			I -B	
22	市立障害児者施設給食関係業務	障害福祉課	市立2園（生活介護事業所みのり園、生活介護事業所たちばな園）の給食献立作成、材料発注、給食検討会議、施設管理を行います。食事の介助や食事形態の工夫等が必要なそれぞれの利用者に対して、安全で満足できる食事の機会を提供します。	延べ提供人数 12,790 人	一人暮らし、食事の介助が必要等、様々な事情を抱える利用者に対し、仲間と楽しく、季節感のある食事を安全に提供することができました。	継続			● 18歳以上	●	●			I -B	I -A I -C
23	在宅給食サービス事業	高齢者支援課	（市内6事業所に委託） 食事づくりが困難な高齢者に栄養バランスのとれた食事を定期的に配達することにより、介護予防及び要介護状態重度化の予防を図るとともに、安否確認を実施し、高齢者が地域で安心して暮らせるように食の自立支援を図ります。	年度末利用者数：453人、配食数90,935食	バランスのとれた食事提供と安否確認を行うことで、独居高齢者等が在宅生活を継続できるよう支援しました。	継続						●	I -B		
24	ホームページ「栄養・食生活」	保健所保健医療課	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、生活習慣病予防のためのメニューの提供、食育に関する情報の発信、「とよなかの自慢料理」の紹介等を行っています。	「とよなかの自慢料理」では、市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設で提供されている給食の中から、各施設のおすすめメニューをお知らせしています。また、給食を作っている人の思いや様子もお伝えしています。	今後「とよなかの自慢料理」の紹介メニューを充実させていきます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I -B	

第2章 各事業の進行状況

25	食育推進のための安全安心ハンドブックⅡの活用	保健所保健医療課	食中毒を予防し、安全で安心な食育活動を継続的に行っていただくために作成しました。地域のお祭りや、イベントなどで模擬店を出店する時、調理実習をする時などに活用できます。衛生管理課と合同で作成しました。	庁内関係各課を中心に、市民の方にも配布しました。	食中毒予防及び継続的な食育活動に向けて、今後も必要に応じて配布します。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
26	特定給食講演会	保健所保健医療課	<p>大阪府域の特定給食施設およびそれに準ずる施設のスタッフ（管理栄養士・栄養士・調理師等の給食関係者）や、大阪府栄養士会会員等約1000名を対象に、年2回、府内の市町村等が合同で講演会を実施しています。</p> <p>主催：大阪府・大阪市・堺市・豊中市・高槻市・東大阪市・大阪府立大学21世紀化学研究機構「公衆栄養実践研究センター」・大阪府栄養士会</p> <p>会場：大阪府立大学学術情報センターUホール白鷺（大ホール）</p>	<p>◆特定給食講演会Ⅰ 平成27年12月8日（火）開催。豊中市からは26施設27名が参加しました。</p> <p>・講演：「名ばかり形だけ！のNSTにしないために～病院でのNST成功例～」（福井県立病院 内科・NST医師 栗山とよこ氏）</p> <p>・事例：「患者によりそうNSTであるために」（南大阪病院 栄養科 課長 金医師智津子氏）、「介護老人保健施設ノーブル楽音寺 管理栄養士 松原朋代氏」</p> <p>◆特定給食講演会Ⅱ 平成27年12月14日（月）開催。豊中市からは24施設25人が参加しました。</p> <p>・講演：「利用者に応じた望ましい給食を提供するために求められること」（大阪市立大学大学院 生活科学研究 所 食・健康科学講座公衆栄養学 教授 由田克士氏）、「食物アレルギーの食事対応について」（(医)耳原総合病院 栄養科 管理栄養士 染原剛氏）</p>	特定給食施設における給食は、給食利用者の健康づくりに大きく影響を及ぼすことから、適正な給食の提供と栄養管理が行えるよう給食担当者の資質の向上等を図ることは重要と考えます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	I-B	

第2章 各事業の進行状況

27	特定給食施設研修会	保健所保健医療課	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設のスタッフ（施設管理者・管理栄養士／栄養士・調理師等）を対象に、年2回程度研修会を実施しています。	◆食中毒予防に関する研修会平成27年5月12日（火）講演「食中毒予防」（市保健所衛生管理課 食品衛生係 食品衛生監視員）参加：84施設108人◆乳幼児対象施設研修会「基礎から学ぶ栄養管理」講義・演習：大手前栄養学院 小松祥子氏 ①平成27年10月26日（月）②平成27年11月20日（金）	食中毒予防に関する研修会は、給食施設における安心安全な給食の提供に役立てていただいています。乳幼児対象施設研修会は、私立幼稚園連合会、民間保育園連合会、認定こども園協議会との共催で行いました。要望の多かった栄養管理の基礎をテーマに実施し、情報交換も含め大変充実したものとなりました。今後も対象者のニーズに合った研修会を開催していきます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I -B
28	栄養表示基準に関する指導等	保健所保健医療課	栄養に関する表示や広告などの「誇大広告の禁止」などに関して市民に適切な情報の提供を行ったり、食品業者や広告業者などに対する相談や指導を行っています。	特別用途食品の許可申請にかかる相談及び申請関係事務 0件 栄養表示基準等に関する相談・指導・助言 7件 虚偽誇大広告等に関する相談・指導 2件 その他 1件	わかりやすく正確な表示を行うことで市民の健康づくりを推進します。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I -B
29	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及啓発	保健所保健医療課	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、健康と環境にやさしい「ヘルシーオーダー」の実施を推進しています。	広報とよなかに「うちのお店も健康づくり応援団の店」及び「ヘルシーメニューコンテスト」募集記事を掲載することなどにより普及を呼びかけました。	今後も継続して市内の飲食店に啓発を行っていきます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I -B
30	給食（医療型児童発達支援センター）	こども相談課	こどもたちがおいしく安全に、楽しく食事をすることで心身両面の発育を促します。こどもの摂食機能にあった給食を提供します。	給食はミキサー食、クラッカー食、軟食、普通食を提供しました。素材の味を生かし、工夫した調理によりどの形態も安全で楽しく食べられるようにしました。保護者からの調理の質問にもしいの実学園で工夫していることを伝えることができました。	口から摂食できる子どものほとんどが特別食であり、嚥下に問題を持つ子どもにも安全な給食を提供できたと思います。給食を楽しみ、少しでも口から栄養を取ることができました。	継続	●							I -B

第2章 各事業の進行状況

31	小学生メニューコンテスト	学校教育課 保健所 保健医療課	小学5・6年生からメニューを募集してコンテストを行い、入賞作品メニューを市の小学校給食献立のメニューとして活用しています。	夏休みに実施。3,686人から「栄養バランスがよい」「おいしい」「作りやすい」などの工夫がされたメニューの応募がありました。(入賞6人、入選6人)	夏休みに実施するため、多くの応募があります。また、受賞作品の学校給食採用、給食だより等での紹介により、学校関係者・保護者に認知されるようになってきており、学校、家庭における食育の推進が可能と考えています。	継続												I-C
32	中学校夜間学級補食提供事業	学校給食課	中学校夜間学級生の補食給食(パンと牛乳)の実施。	平均19人の生徒に対し194回の補食給食を実施しました。	中学過程の修得をめざす中学校夜間学級の生徒の健康保持に努めました。	継続												I-C
33	小学校給食運営	学校給食課	市内の小学校に学校給食を提供します。	約21,000人の児童に187日給食を実施しました。	給食の提供を通じて、適切な栄養の摂取による児童の健康の保持増進に努めました。	継続												I-C
34	食育推進	学校教育課	望ましい食習慣を身につけるとともに、学校と家庭が連携し食育を推進するため、体験型料理教室を開催します。	「わくわく食育プロジェクト事業」として、小学校6校において、専門家講師による親子料理教室を実施しました。	専門家講師等による親子料理教室は大変好評でした。食に関する情報を正しく理解し、親子でおいしく楽しく調理・食事をする事で食に関する関心意欲を高めることにつながりました。	継続												I-C
35	ステップアップ教室	高齢者支援課	市内の老人福祉センター4会場で、いきいき元気運動教室の修了生を対象にした運動教室を開催します。	実施回数：94回、延参加人数：678人	教室参加中からステップアップ教室の案内をすることで、教室終了後も運動習慣を続ける機会となっています。	継続												II-A
II) 運動・身体活動																		
36	介護予防体操	高齢者支援課	老人福祉センター、老人憩の家等で月2回、1時間程度介護予防体操を行います。	実施回数：315回、延参加人数：7133人	2次予防通所型介護予防教室やステップアップ教室からの参加者が増え、2次予防、1次予防のつながりができました。	継続												II-A

第2章 各事業の進行状況

37	あたまとからだの体操講座	保健所健康増進課	活動的に元気に生活ができることを目的とする介護予防の動機づけの場として、運動及び認知機能低下予防に着目して実施しています。	一期6回の講座を5期実施しました。参加実人数91人、参加延人数445人でした。	参加人数は増加（前年度実人員64名）。集団での講座であるが、保健センターの機能を取り入れた個別の対応ができました。	継続									●	●	II-A	III-A IV-A		
38	介護予防サポーター養成講座	保健所健康増進課	介護予防体操である「豊中ローズ元気up体操」を広めるべく、介護予防及び体操を理解し、教示していただける方を養成しています。	健康カレッジの一講座を利用し実施しました。参加者数27人	介護予防における運動について理解いただけた。	廃止									●	●	II-A	II-B		
39	とよなか百万歩ウォーク	保健所健康増進課	楽しく歩く習慣を身につけ、生活習慣病予防に役立てていただくため、参加登録から1年以内に百万歩を達成した人に、認定書と記念品を贈呈しています。	登録者数1,258人（新規登録637人、達成者621人）	新規登録者数が前年度より顕著に増加（前年度新規登録者数91人） 百万歩達成者も増加（前年度達成者356人）	継続									●	●	II-A	II-C IV-A		
40	研究・研修	学校教育課	保健、体育における研究・研修の実施を通して、学校園の保健環境や授業力の向上を図るとともに、学校園での保健、体育、環境の調査統計を行い、健康の保持増進を図ります。	教育センターと連携し、教職員を対象に、水泳・なわとび・柔道・体づくり・フラッグフットボール等多様な運動領域の実技研修を実施しました。	授業力の向上につながり、今後の日々の授業に生かすことができました。また、多様な課題に対する正しい知識の習得につながりました。	継続			●	●	●	●					II-A			
41	障害者青年教室補助事業	生涯学習課	障害者施設（事業所）が実施する、音楽・体育・調理・リズム体操・生花・茶道・陶芸等の教室（講座）に対し、補助金を交付（H27年度～）しています。	利用事業所数：13事業所 教室（講座）数：25講座	利用事業所数はH26年度より3事業所減少し、教室（講座）数は4講座減少しています。	継続									●	●	II-A			
42	女性のこころとからだ健康関連の講座	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ	女性の健康づくりのために、からだを動かすことでエンパワーと自己解放をめざします。	①ゆったりぽかぽかハワイアンフラ：5回連続で実施しました。参加者数は13人（延57人）。 ②ほぐす・のばす・すっきりヨーガ：4回連続で実施しました。参加者数は14人（延50人）。	①アンケート満足度100%。継続を希望する参加者が自主的に活動するグループを結成しました。 ②アンケート満足度91.7%。継続を希望する参加者が自主的に活動するグループを結成しました。	継続									●	●	●	●	II-B	II-A
43	ほぐす・のばす・すっきりヨーガ	人権政策課	（（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理）女性の健康づくりのために、からだを動かすことでエンパワーと自己解放をめざします。	4回連続で実施しました。参加者数は14人（延50人）。	アンケート満足度91.7%。継続を希望する参加者が自主的に活動するグループを結成しました。	継続									●	●	●	●	II-B	II-A

第2章 各事業の進行状況

44	保健福祉事業	人権政策課 蛸池人権まちづくりセンター	人権意識の高揚と差別や偏見のない人権尊重のまちづくりをめざすとともに、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るとともに、介護予防に努めています。	事業実施回数88回 参加人数1329人 健康生きがい教室、火曜サロン他の開催	事業を通して、高齢者の生きがいと健康づくりの推進と人権意識の高揚を図りました。	継続												II-B
45	保健福祉事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	高齢者等の「介護予防事業」や「ふれあい交流事業」を柱に、地域住民・市民の生きがいのある生活と健康づくりの推進を図っています。	高齢者ふれあい介護予防事業「ほっとス」 実施回数47回 延参加人数1,053人 高齢者ふれあい「会食会」 実施回数20回 延参加人数811人 高齢者ふれあい「健康・趣味講座」 実施回数12回 延参加人数264人 外出支援事業「トークマインド」 実施回数11回 延参加人数164人	新規参加者の働きかけを行うとともに、福祉施設のケアマネジャーやヘルパーからの紹介で参加する高齢者の参加もあります。高齢者の福祉及び健康の増進のため、必要性が増すと考えています。今後も継続して取り組んでいきます。	継続												II-B
46	路上喫煙対策事業	美化推進課	周りの人に迷惑となる路上喫煙を防止し、安全・快適な生活環境の確保を推進します。	平成27年10月1日に庄内駅東側周辺を路上喫煙禁止区域に指定しました。また、路上喫煙禁止区域に指定している豊中駅周辺・千里中央駅周辺及び庄内駅周辺での巡回指導を実施しました。また、広報誌・ホームページに事業内容を掲載し、快適な生活環境づくりを推進しました。	路上喫煙禁止区域において、巡回指導等を実施することにより、喫煙者のマナーが向上し、路上での喫煙率が減少、また、ポイ捨ても減少傾向にあります。													II-B
47	安全安心対策事業	公園みどり推進課	公園施設のバリアフリー化及び改築・更新。	6公園においてバリアフリーに配慮して、トイレの置換えや段差解消、水飲み場の置換えを行うとともに遊具更新も行いました。	誰もが公園を安全に安心して利用できる施設となるよう、バリアフリー化を計画的に進めています。	継続												II-B
48	公園施設長寿命化計画策定業務	公園みどり推進課	公園の計画的な改修計画策定。	25年度で完了(以降記入不要です)		完了												
49	公園整備・小改良事業	公園みどり推進課	公園施設の小規模な改良。	公園施設の小規模な改良を行いました。	10箇所の公園の工事を行いました。	継続												II-B

第2章 各事業の進行状況

50	公園維持管理事業	公園みどり推進課	公園樹木の剪定など公園の維持管理に関する事業。	公園の除草（約2回／年）、清掃（1回／週）等や公園施設の修繕を行いました。	植栽や施設の維持管理を行うことで、癒しや憩いの空間を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B
51	開発許可制度	公園みどり推進課	開発事業者からの帰属公園となりますが、協議によっては、健康遊具の設置も考えられます。	開発許可制度によって、2箇所の公園が設置されました。	公園が設置されることで、身近な身体活動の場が確保されました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B
52	みどりの基本計画施策推進事業	公園みどり推進課	市民との協働により、地域での花だん活動や小学校等での「みどりのカーテンづくり」を支援するとともに、各種緑化啓発イベントを開催するもので、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	花苗の配布（10,398株）、みどりのカーテンづくりの支援（66団体）、みどりのフォーラムの開催（参加者117人）、みどりの交流会展の開催（参加者388人）、みどりのつどいの開催（3回、参加者72人）	地域での花だん活動や小学校等での「みどりのカーテンづくり」が進み、各種緑化啓発イベントには、多くの参加者があり、高い効果が得られています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B
53	緑化推進事業	公園みどり推進課	公共施設の緑化、自治会等が取り組む緑化活動への資材等の提供などを行うもので、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	街路樹の補植（2,437本）、市民協同緑化樹の配付（5,015本）、生垣緑化助成金の交付（2件、24m、74本）	街路樹の補植により公有地のみどりが維持され、また、多くの団体に対する市民協同緑化樹の配付及び生垣緑化助成金制度により、民有地における緑化活動を推進することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B
54	花いっぱい運動事業	公園みどり推進課	駅前等の草花やバラ園、花しょうぶ園の維持管理、イベント等における種子・球根の配布など、花いっぱい運動の啓発及び写真展の開催、市民との協働による地域での花苗の育成や草花の育成管理を行うもので、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	駅前等の草花やバラ園、花しょうぶ園の維持管理、イベント等における種子・球根の配布（1,256袋、1,700球）、花いっぱい運動写真展の開催（応募157点、参加者1,011人）、市民との協働による地域での花苗の育成や草花の育成管理	駅前等の草花やバラ園、花しょうぶ園の維持管理により、潤いのある街づくりが進み、イベント等における種子・球根の配布には、多くの需要があり、また、花いっぱい運動写真展には、多くの応募や参加者があることから、必要性の高い事業となっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B
55	花とみどりの相談所主催事業	公園みどり推進課	花とみどりの相談業務や講習会、緑化リーダーの養成講座、豊中緑化リーダー会への活動支援を行うもので、草花鑑賞や人との交流による健康づくりに寄与しています。	花とみどりの相談件数：789人、1,050件 花とみどりの講習会：83回、1,747人、養成講座：36回、403人	リーダー会との協働での活動や講習会・養成講座を開催することで、みどりの啓発を行い、市民に潤いと安らぎを提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B

第2章 各事業の進行状況

56	ふれあい緑地施設管理	公園みどり推進課	協働事業提案制度に基づき公園の維持管理を協働で行っており、四季折々の花の咲く花壇など、きめの細やかな管理を行っており、ウォーキングのイベント施設（見どころ）としては利用できる可能性があります。	ふれあい緑地フェスティバル（来場者3,600人）、秋のフェスタ等を開催しました。	イベントを開催することより、余暇を楽しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
57	バードドーム管理事業	公園みどり推進課	建物の中に入り、セキセイインコなどの小鳥と触れ合える施設。ウォーキングのイベント施設（見どころ）としては利用できる可能性があります。	平成26年度で廃止		廃止	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
58	市民農園	産業振興課	市民が土に親しみ余暇を楽しむ場の提供。土に触れ花や野菜を育てることでこころの健康につながります。	27農園、1,136区画	近隣とのトラブル等が増加していますが、市民が余暇を楽しむ場として定着し市民には好評です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
59	レクリエーション講習会	いきいきセンター高齢者支援課	レクリエーションを体験し、介護予防の促進を図ります。	25年度で完了(以降記入不要です)		完了										●	II-B	
60	レクリエーション大会	豊中市社会福祉協議会	体操・ゲーム等のレクリエーションを行い、介護予防活動の機会として活用を図ります。	実施回数1回、参加人数：380人	市老連との共催で実施しました。大会に参加し身体を動かすことで、介護予防活動のよい機会となりました。	継続										●	II-B	
61	老人福祉センター主催事業	高齢者支援課	趣味教室を卒業した人の同好会等に交流の場を提供し、利用者の交流・生きがいづくりを支援します。利用者の健康管理のため、医師による健康相談を実施します。千里、原田、庄内、柴原の4センターで実施しています。	登録団体数・・・千里：23、原田：63、庄内：11、柴原：23 利用者数・・・千里：69,051人、原田：79,881人、庄内：49,689人、柴原：26,908人 健康相談・・・千里：実施47回、受診者数延442人、原田：実施41回、受診者数延210人、庄内：実施47回、受診者数延260人、柴原：実施43回、受診者数延37人	高齢者に交流の場を提供し、生きがいづくりと介護予防・健康維持に寄与しました。	継続									●	●	II-B	VII-A

第2章 各事業の進行状況

62	大会開催事業	豊中市社会福祉協議会	ゲートボール大会・囲碁大会・将棋大会・謡曲大会を開催します。	ゲートボール大会 77 名、囲碁 124 名、将棋 101 名、謡曲 107 名。	日ごろの練習の成果を発揮する場として大変有効な場になっています。	継続							●	●	II -B		
63	ふれあい入浴	高齢者支援課	市内在住の 65 歳以上の高齢者を対象に毎月 15 日に 100 円で公衆浴場に入浴できる「ふれあい入浴券」を発行します。	入浴者数：23,586 人	地域の交流の場として喜ばれています。	継続								●		II -B	
64	老人福祉センター主催事業（趣味教室）	高齢者支援課	教室講座（お茶、お花、新舞踊、謡曲、パソコンなど）を開設し、健康の維持管理や教養の向上等交流の場を提供します。千里、原田、庄内、柴原の 4 センターで実施しています。	千里：8 教室、受講者数延 1,232 人、原田：10 教室、受講者数延 1,256 人、庄内：5 教室、受講者数延 348 人、柴原：4 教室、受講者数延 261 人、	趣味教室を通じて、高齢者の生きがいつくりと教養の向上、介護予防・健康維持に寄与しました。	継続							●	●	II -B		
65	老人クラブ支援業務	高齢者支援課	豊中市老人クラブ連合会を支援する観点から、単位クラブや同連合会への補助事業などを行います。	161 単位クラブ 7,200,700 円、老人クラブ連合会 3,138,020 円	市補助金を活用した多様な活動が行われています。	継続							●	●	II -B	VI- B	
66	老人憩の家施設管理	高齢者支援課	指定を受けた老人憩の家（豊中市立老人憩の家以外）の運営にかかる費用を補助します。一老人憩の家あたり、6,000 円/月（年間 72,000 円）	22 老人憩の家に 1,584,000 円（72,000 円×22 施設）補助金を交付しました。	趣味の教室や同好会の開催など、地域高齢者の交流により健康づくりが図られています。	継続							●	●	II -B		
67	老人憩の家施設管理（老人福祉センター費）	高齢者支援課	豊中市立老人憩の家施設の維持管理業務を行います。受付業務、貸室業務を行います。	空調機修繕を行いました。10 の老人憩の家において、部屋の貸付を行い、延べ 134,025 人の利用がありました。	老朽化している施設があることから修繕料が必要です。	継続							●	●	II -B		
68	社会奉仕活動報償事務	高齢者支援課	美化活動、雑巾づくり、友愛訪問の三種の活動に対して助成します。	登録団体数：96 団体	登録団体数は、減少傾向にあります。	継続							●	●	II -B		

第2章 各事業の進行状況

69	なごやか教室	高齢者支援課	囲碁、謡曲の講座を月4回程度開催します。	25年度で廃止(以降記入不要です)		完了											
70	老人文化祭事業	豊中市社会福祉協議会	市内高齢者より作品を募集し、2日間にわたり文化作品を会場に展示し、文芸作品は作品目録に掲載し配布します。(豊中市老人クラブ連合会との共催)。	入場者：650人 出品数：621点	日常の創作活動の発表の場として定着しています。	継続						●	●				II -B
71	保健事業 (保健衛生普及費)	保険給付課	被保険者に医療費をお知らせする医療費通知や、被保険者の健康増進を図るためのプールなどの公的体育施設の利用料を補助する、はつらつ健康事業等を行います。国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。	はつらつチケット発行対象者数：1,462人	国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援し、スポーツ施設の利用促進により、被保険者の健康増進に寄与していると考えられます。	継続			●	●	●	●	●				II -B
72	豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針による行政指導	千里ニュータウン再生推進課	住宅の新築や建替えに際し、豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針に基づく行政指導を行い、千里ニュータウンの良好な住環境の継承を図ります。基本方針でプレイロット(コミュニティスペース)の確保を指導しています。	基本方針の指導件数 4件	環境に配慮したまちづくりに寄与しているので、継続的な指導を実施します。	継続	●	●	●	●	●	●	●				II -B
73	歩道改良整備	道路建設課	「歩道改良実施計画(改訂版)」に基づき、市内の主要な道路において計画的、効率的に歩道改良整備を実施します。	「歩道改良実施計画(改訂版)」に基づき、6路線の整備を実施しました。	歩道の幅員、段差、勾配を線的に整備することにより、通行しやすい歩行空間を整備しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●				II -B
74	住居地区バリアフリー整備	道路建設課	生活道路等のバリアフリー整備を計画的かつ効果的に実施するため、地区単位で市民意見を反映しながら計画、設計、工事を順次進めます。5~6小学校区程度の単位で地区を設定し平成32年度までに全ての地区を完了させます。	「中豊島・豊島・北条・寺内・緑地小学校区住居地区バリアフリー事業計画」に基づき整備を実施しました。	歩道の段差、勾配を面的に整備することにより、通行しやすい歩行空間を整備しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●				II -B

第2章 各事業の進行状況

75	穂積菰江線	道路建設課	都市計画道路神崎刀根山線から府道西宮豊中線までの区間で新設及び拡幅による街路整備を行い、都市機能の向上を図る。平成30年の事業完了を目標としています。	用地買収の継続実施と道路詳細設計を実施しました。	道路整備に向けて計画通りに進捗しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B
76	神崎刀根山線	道路センター道路建設課	府道大阪池田線から市道三国第7号線までの区間の拡幅整備を行い、都市交通の混雑緩和を図ります。	25年度で完了(以降記入不要です)		完了									
77	神崎刀根山線(旭ヶ丘橋)	道路センター道路建設課	通学児童の安全・安心及び高齢者や障害者に配慮したバリアフリー歩行空間の形成のため、現旭ヶ丘橋の北側に3mの歩道橋、南側に1.5mの張出し歩道を設置します。	25年度で完了(以降記入不要です)		完了									
78	桜の町第11号線	道路センター道路建設課	広域避難所にもなっている近隣小学校へのアクセス向上並びに歩行者の安全性向上のため歩道を設置し、生活環境向上のため道路を新設します。	25年度で完了(以降記入不要です)		完了									
79	スポーツ団体の支援と指導者の育成・確保	スポーツ振興課	・スポーツ団体を支援し、また指導者を育成・確保することにより、生涯スポーツの振興を図ります。 ・大阪府総合体育大会に豊中市の代表選手を派遣することで生涯スポーツの振興に寄与します。	・スポーツ推進委員研修会・研究会、種目別指導者・審判講習会、スポーツ指導者育成講習会、スポーツ団体への運営補助金交付を行いました。 ・府総合体育大会に選手を派遣しました。	・スポーツ団体を支援し、また指導者を育成・確保することにより、市民が幅広く生涯スポーツにふれる機会が確保できました。 ・競技者の目標設定ができ、充実したスポーツ活動となった。また、他市町村との交流の場となりました。	継続			●	●	●	●	●	II-B	
80	庄内温水プール(休館)運営管理	スポーツ振興課	平成23年度(2011年度)より耐震性の問題から休館中の庄内温水プールの維持・管理を行います。平成23年度(2011年度)より耐震性の問題から休館中の庄内温水プールの代替水泳教室を民間プール事業者へ委託して行います。	休館中の庄内温水プールの維持・管理業務を行いました。 代替水泳教室に係る事務の手続きを行いました。	休館中の庄内温水プールの維持・管理を行うことができました。 代替水泳教室を実施することにより、庄内温水プールで開催していた水泳教室の事業を継続することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	

第2章 各事業の進行状況

81	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民大会・後援事業の支援・豊能地域生涯スポーツ推進事業などを通して生涯スポーツの振興を図ります。	年間を通じて、市民大会講習会、ニュースポーツデー、豊能地域生涯スポーツ事業等の各種事業を実施しました。	地域で催しを開催することにより、市民に気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
82	地域スポーツの振興	スポーツ振興課	小学校区スポーツ振興会・総合型スポーツクラブの支援など、地域における生涯スポーツの振興を図ります。	年間を通じて、小学校区スポーツ振興会・総合型ローズクラブの支援等の各種事業を実施しました。	地域で催しを開催することにより、市民に気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
83	国内・国際スポーツ大会の参加奨励事業	スポーツ振興課	国際・国内スポーツ大会に参加奨励することにより、スポーツの振興を図ります。	大会出場者からの申込みにより報奨金を支給しました。(個人 65人、団体 5団体)	報奨金を支給することにより、参加者の全国大会などへの出場意欲が高まりました。	継続			●	●	●	●	●	●	●	II-B	
84	スポーツに親しめる環境の整備	教育総務課	学校体育施設を開放することにより、生涯スポーツの振興を図ります。	学校開放事業は通年実施しました。	スポーツに親しめる環境が身近にあることにより、スポーツ活動の振興を図ることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	II-C
85	スポーツに親しめる環境の整備	教育総務課	学校体育施設を開放することにより、生涯スポーツの振興を図ります。	学校開放事業は通年実施しました。	スポーツに親しめる環境が身近にあることにより、スポーツ活動の振興を図ることができました。また、勤労者のスポーツ活動の場を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	II-C
86	スポーツ施設情報システムの運用	スポーツ振興課	スポーツ施設利用の利便性を図るため、システム(インターネット等)を利用して、利用申込みを行います。	述べ利用人数 1,238,228人	市民のスポーツ施設利用の利便性が向上しました。	継続				●	●	●	●	●	●	II-B	
87	体育施設運営管理	スポーツ振興課	体育施設の運営管理を指定管理者制度を導入し行います。	指定管理者の評価・点検、各種調整業務等を行いました。	体育施設の適切な運営管理により、市民にスポーツ活動の場を提供することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	

第2章 各事業の進行状況

88	大阪国際空港周辺緑地2街区整備事業	スポーツ振興課	市民スポーツの推進のため、ふれあい緑地2街区にサッカー等の専用グラウンドを開設します。	26年度で完了（以降記入不要です）		完了	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B
89	ふれあい緑地少年野球場改修事業	スポーツ振興課	ふれあい緑地少年野球場で硬式野球ができるように施設を改修します。	26年度で完了（以降記入不要です）		完了		●	●							II-B
90	豊島体育館屋根改修事業	スポーツ振興課	豊島体育館の雨漏りや音響設備を改修します。	26年度で完了（以降記入不要です）		完了	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B
91	螢池北青少年運動広場施設運営	生涯学習課	青少年のスポーツ及びレクリエーション活動の促進、青少年を中心とした交流の機会を提供します。	占有使用の承認のほか、子ども広場交流会として利用団体などで清掃活動を行いました。 利用回数：231回 利用者数：11,519人 清掃活動参加者数：約80人	無料で占有使用が出来る運動広場ということから、利用団体が増加傾向にあります。	継続		●	●	●	●	●	●	●		II-B
92	とよなか地域ささえ愛ポイント事業	高齢者支援課	高齢者の介護施設などにおける高齢者支援活動に対してポイントを付与することで、参加者の介護予防・地域貢献・社会参加活動を促進します。	ボランティア登録人数：856人 受け入れ先登録数：122施設	介護予防の新たな取り組みとして事業展開するなかで、登録車や受入施設も段階的に増加し、当初のねらいの高齢者の生きがいがづくりと介護予防に寄与しました。	継続								●		II-C
93	幼稚園園庭の芝生化推進事業	こども事業課	幼年期における運動能力の向上、及び園児が自然環境に触れる機会の提供を目的としています。	H26年度で廃止済（以降記入不要です）		廃止	●									II-C
94	研修・会議関係事業	こども事業課	豊中市の教育・保育の内容充実・向上のために研修会を行います。研修では、食育・運動等をテーマとしたものも開催します。	教育・保育内容や支援教育コーディネーター、食物アレルギーなど多岐にわたるテーマで、年間19回の研修を開催し、延べ1368人の参加がありました。	「小児のB型肝炎」「食物アレルギーの基礎と緊急時の対応」「守ろう危険、育てよう危険回避力」「心をほぐすうた遊びと体操」など、現場からのニーズに応じた研修を開催することができました。	継続	●			●	●	●	●			VII-F I-C II-C

第2章 各事業の進行状況

95	げんキッズプロジェクト	こども事業課	乳幼児期の体力向上の基礎を培うためには、生活習慣の見直し、保護者への啓発を行うとともに、こども園において体を動かしたくなる遊びの環境の工夫や遊びの質を高めていくことが重要であることから、各市立こども園に運動遊びの専門の講師を派遣することにより、教職員の資質向上と保育内容の充実を図ります。	市立こども園において各園年間4回、延べ104回、専門の講師を派遣しました。	保育教諭も活動に参加し、講師が子どもたちへ指導する様子を見ることで、子どもたちの意欲やを膨らませる言葉かけや、指導の方法を学ぶことができました。また継続して講師に来てもらうことで、子どもの育ちに見通しを持ちながら、系統的な指導を進めることができました。	継続												II -C	
96	子育て支援センターほっぺ施設運営	こども相談課	貸室利用に関わる受付事務及び貸室の衛生管理を行います。	年間貸室件数 143件	貸室利用者が心地良く安全に使えるように点検等を行いました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II -C
97	体力向上推進事業	学校教育課	親子スポーツフェスタ・豊中市小学校水泳大会の開催、体力づくり研究推進校への支援、体力づくり推進会議の運営などを行い、児童・生徒の体力向上を図ります。	10月17日に服部緑地陸上競技場において親子スポーツフェスタを開催しました(参加者241名)。 7月27日にマリノード豊中スイミングスタジアムにおいて豊中市小学校水泳大会を開催しました(参加者455名)。 からだづくり研究推進校に対して、研究を効果的に推進していけるよう物品の支援及び指導助言を行いました。	親子スポーツフェスタ、豊中市小学校水泳大会の実施により、それぞれの種目において子どもたちが自己の目標に向けてチャレンジし、運動に親しむ貴重な機会をつくれ、生涯スポーツにつながる取組となりました。	継続									●			II -C	
98	運動部活動指導協力者派遣事業	学校教育課	中学校の運動部活動に専門的スキルと指導性を備えた人材を派遣し、部活動の活性化と充実を図ります。	要請のあった中学校18校に対し、のべ41人の協力を得て2189回の運動部活動指導協力者派遣を行いました。	専門的な指導を受けることで、運動部活動の活性化・競技力向上につながり、また、生徒のスポーツへの関心意欲を高めることができました。	継続										●			II -C
99	スポーツ推進審議会	スポーツ振興課	豊中市の社会体育の現状と問題点をふまえ、生涯スポーツを実践できる方策について審議を行います。	審議会を2回開催し、「豊中市スポーツ推進計画」に基づく平成26年度実施事業の進行管理他1件の諮問を行い、答申を受けました。	スポーツの推進に関する重要事項について調査審議することができました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II -C

第2章 各事業の進行状況

100	とよなか地域子ども教室	生涯学習課	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。放課後子ども総合プランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組みます。	のべ参加者数（子ども）：95,842人 のべ参加者数（大人）：44,980人	子どもと大人がともに、野球、サッカー、テニス、陸上、ダンス、体操、ドッジボールなどを通して交流を深めた校区もありました。	継続											II-C	
101	地域教育協議会（すこやかネット）	生涯学習課	市内全中学校区に地域教育協議会を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業展開を行い、地域教育の活性化を図ります。	行事へののべ参加者数：27,663人	スポーツイベントが催された校区では、子どもたちが地域の大人と交わりながらスポーツを気軽に楽しむことができました。また、地域の清掃活動とスポーツを合わせることで、より参加者が楽しめる取り組みを行った校区もありました。	継続											II-C	
102	小地域福祉ネットワーク事業	豊中市社会福祉協議会	地域住民同士のなかまづくりを目的として、ミニデイサービス、ふれあいサロンや子育て中の親子向けに子育てサロン、また世代を超えた交流の場として三世代交流を38校区福祉委員会で実施しています。活動のボランティアスタッフとして協力していくことで、ボランティア自身の健康増進にもつながる。	ミニデイサービス…131回開催 延べ参加者数…2,297名 延べ協力員数…1,939名 ふれあいサロン…1,409回開催 延べ参加者数…22,478名 延べ協力員数…8,120名 子育てサロン…528回開催 延べ参加者数…16,180名 延べ協力員数…5,113名 世代間交流…147回開催 延べ参加者数…37,745名 延べ協力員数…4,088名	多くの参加者があり閉じこもりの予防、防止に役立っています。また、悩みの相談や新しい仲間づくりの場としての面も大きく、サロン外でのつながりにもなっています。協力するスタッフも元気で対応できるようにと健康管理につながっています。											II-C	VII-F	
103	生活支援サービス事業	豊中市社会福祉協議会	専門家による職業としての援助ではなく、互助の精神を基盤とした市民による有償の社会奉仕活動で、家事援助や話し相手や見守りなど、個々の要望に応じた活動を実施している。	利用件数…709件 利用者数…709件 利用日数…2,804日 利用時間…5,037:16 新規相談件数…189件	介護保険など公的サービスでは対応できない援助を行うことで、心配ごとの解消につながっています。援助を行うことの体力増進や加齢による不便さの理解につながっています。												II-C	VII-F

Ⅲ) こころの健康づくり																
104	女性のこころとからだ健康関連の展示	人権政策課	(一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理)乳がん、子宮がん、更年期、ストレス等に関連して女性の健康を維持するに資する展示。	①所蔵資料展示：今日の心に青空を～この夏のプチうつ本でふきとばせ～ ②所蔵資料展示：からだと向き合う	情報ライブラリーのテーマ展示で実施。テーマにそった書籍を集め、健康に関する情報提供の機会を作りました。	継続	●		●	●	●	●	●	●	Ⅲ－A	Ⅶ－A
105	シルバー人材センター補助金業務	くらし支援課	シルバー人材センターに対する補助事業を実施し、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与します。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	シルバー人材センターの財政的な自主運営を目的として、市の労働政策と整合を図ったシルバー人材センターの事業運営に対する補助を行いました。(平成27年度シルバー人材センター就業延人数189,651人、契約件数4,325件)	就業延人数、契約金額等の増加により、高齢者の生きがいの充実、社会参加、就業機会の確保など福祉の増進及び高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに効果がありました。心の健康づくりに寄与しました。	継続								●	Ⅲ－A	Ⅱ－B
106	地産地消推進事業補助事業	産業振興課	安心・安全な豊中産農産物の提供による地産地消の推進。学校給食等に豊中産野菜の出荷、豊中産野菜の直売会の実施。	地産地消協力者 53名	地産地消の推進は食育の推進につながります。	継続	●	●	●	●	●	●	●		Ⅲ－A	
107	花畑開放	産業振興課	市内の農地にレンゲの種をまき、開花時に市民が自然とふれあう場の提供及び小学校等の体験学習の場としてレンゲ旗を開放。	延17団体1,801人の園児・小学生等がレンゲ畑に入場	市内の農地にレンゲの花が咲くことで市民に安らぎを与えます。	継続	●	●	●	●	●	●	●		Ⅲ－A	
108	農業祭	産業振興課	市民の農業に対する理解と認識を深めるとともに地産地消を広くPRします。	11月21日(土)第36回農業祭を実施 来場者数→4,000人	都市化の進んだ本市における農業をPRできる絶好の機会です。	継続	●	●	●	●	●	●	●		Ⅲ－A	

第2章 各事業の進行状況

109	啓発活動	障害福祉課	市内の障害者団体や障害福祉サービス事業所等で組織する豊中市障害者啓発活動委員会を設置し、共感的・効果的な啓発のあり方検討やパネル展の開催等を企画し、啓発活動の充実に協働して取り組みます。また、障害者並びに障害者福祉に対する理解と啓発を目的に、啓発用のぼりの設置や車体マグネットの掲示等（障害者週間（12月3日から9日））の啓発活動を行います。	実施回数2回 ・啓発用のぼり及び車体マグネットの掲示を実施 ・豊中市啓発活動委員会と共催で、統合失調症当事者を含む芸人コンビの講演及び市内当事者・支援者とのパネルディスカッションを実施しました。	障害者の福祉について関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めました。また、知名度のある芸人の講演会を実施したことで、当事者以外の市民に対する障害者理解が進みました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-A	
110	自殺に関する知識等の普及啓発	保健所保健医療課	自殺に関する知識や相談窓口等情報の普及を目的に、広報誌・ケーブルテレビ・ホームページ等による情報の発信、講演会・駅頭啓発等を実施します。	・自殺予防週間（9月）、自殺対策強化月間（3月） ①ポスター掲示（阪急電鉄・北大阪急行・公共施設など30施設） ②広報誌への記事掲載 ③啓発マグネットシーをパッカー車に貼付し走行 ④図書館貸出レシートに啓発記事を印字し配布・「こころといのちを守る相談窓口一覧」を情報を更新して配布（5000部を45か所へ）	・相談したい人が適切な相談場所へつながるように主として相談場所の連絡先を周知した。・「こころといのちを守る相談窓口一覧」配布状況（45か所分の総数） 一覧表配布数 241枚（+α） 相談窓口紹介数 189件 窓口一覧を見た人から相談を受けた数 →電話10件 来所 4件 配布数は特定の部署に多く、活用は均一ではない。次年度より配架依頼数に反映させる予定。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-A	III-B
111	自殺に関する知識等の普及啓発	千里地域連携センター	地域住民が自死・自殺を身近な課題としてとらえ、地域の誰もが安心して共生できる「生き心地の良い（地域）社会」の実現に寄与することを目的として、自死遺族支援団体等、自死・自殺に関する地域活動を展開している多様な団体から講師を迎え、自死遺族を取り巻く現状や、自死・自殺の背景にある孤立等の社会的な課題等について学ぶ講演会を開催します。	平成27年度（昨年度方向性は継続で回答）実施せず		継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-A	III-B

第2章 各事業の進行状況

112	精神保健福祉講座	保健所保健予防課	こころの健康づくり（精神疾患・障害の予防）、ならびに精神疾患の早期発見と回復に必要な正しい知識の普及啓発を行います。	精神疾患の早期発見及び回復を図るため、患者の身近な存在である家族等を対象として、医師等による普及啓発を実施。家族教室、出前講座等 33 回、1,093 人	教室での学習効果だけでなく、教室参加をきっかけに個別相談につながる波及効果もみられました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-A	V-A
113	人権ケースワーク事業	人権政策課	地域のセーフティネットとしての身近な相談窓口体制の充実を図るため、身近な人権相談に対する適切な助言なびに情報提供や事案に応じた適切な機関の紹介、取次ぎ、人権侵害の実態把握を行っています。	毎週 月・水・金 9時～12時、13時～17時 第2・第4 木 13時～15時 相談窓口を開設。 延べ相談件数 78 件	相談者の多くがこころの悩みや不調を抱えており、相談員の適切な対応で、他機関への通報・取次ぎ、関係機関との連携がスムーズに行われています。身近な相談窓口として市民のセーフティネットの役割を担い、一定の効果を上げることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	
114	女性の生き方総合相談	人権政策課	（（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理）女性の抱える心理的な悩みを女性自身が解決できるよう支援します。	女性の生き方総合相談：年間 1,471 件（電話 765 件、面接 706 件） 相談例：DV、離婚、夫婦関係、職場の人間関係、心理不安など	人間関係のストレスからくる心やからだの不調などに対し、状況や課題を整理し、心理的サポートを行い、自ら解決に向えるよう支援しました。	継続			●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	III-A
115	女性のからだ性と性の相談	人権政策課	（（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理）女性特有の体の悩みについて、専門家が相談を受けます。	からだ性と性の相談：年間件数 18 件（電話 7 件、面接 11 件） 相談例：更年期、心身の不調、ストレス、産後の体調、薬について	女性の専門相談員が対応し、適切な情報提供や助言を行いサポートしました。	継続			●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	III-A
116	労働相談苦情処理	くらし支援課	個別労働紛争において権利侵害を受け、訴訟等による解決を希望する場合に訴訟等の理由が労働法令・社会通念に照らして合理的であると認められた市民に対して、当該訴訟等の費用の貸付を行います。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	申請があれば審査の上で、労働訴訟に関わる費用貸付を行います。H27 年度は申請はありませんでしたので、委員会のみ 2 回開催いたしました。	貸付はありませんでしたが、問い合わせなどは数件ありました。セーフティネットとして意識していただくことにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	●	●	●	III-B	

第2章 各事業の進行状況

117	労働相談業務	くらし支援課	市内の勤労者、事業主などからの労働問題に関する相談に応じ、適切な助言、指導を行う。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	週3回（月水金）の10時～16時に専門員による労働相談を実施し、平成27年度では年間140人・延べ214件の相談を受けました。	労働相談件数は減少傾向ですが、解決まで時間のかかるパワハラ等の困難事例が増加しており、解決支援に役立つ労働相談を受けることにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続					●	●	●	●	III-B
118	地域就労支援事業	くらし支援課	生活情報センターくらしかん並びに市立労働会館内に地域就労支援センターを設置し、障害者、母子家庭の母親、中高年齢者などの就労困難者に対する相談をはじめ、各種講座の実施や紹介、求人情報の提供等を行います。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	就職困難者に対して相談・就労訓練などを行い、就労へ導きました。（平成27年度相談件数 6,104件、就労決定229人）	障害者、母子家庭の母親、中高年齢者などの就労困難者に対する相談をはじめ、各種講座の実施や紹介、求人情報の提供等を行い、就職へと導き、心の健康づくりに寄与しました。	継続					●	●	●	●	III-B
119	無料職業紹介事業	くらし支援課	平成15年8月に「地域就労支援センター」を設置し、さまざまな理由により就労が困難な市民を対象に、相談やカウンセリング、教育訓練などの就労支援を行ってまいりましたが、これらの機能をさらに拡充し、求職者の居住地の近隣での就職を実現するとともに、市内事業所の求人活動等を応援することを目的に、平成18年11月に無料職業紹介所「豊中しごと相談ひろば」を設置した。平成23年4月からはくらしかんの「無料職業紹介所・豊中」と、労働会館の「無料職業紹介所・庄内」の2拠点で行っている。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	市内外の事業所の求人獲得、地域就労相談者など求職者の求人事業所への紹介、各種（若者、障害者向け等）面接会、面接対策講座等を実施しました。（平成27年度新規求人数 1,107人、就職件数 70件）	新たな求人ニーズの把握に努め、求人開拓チームによる新規企業の開拓・効果的なマッチングを積極的に行い、求職者を就職へと導き、心の健康づくりに寄与しました。	継続					●	●	●	●	III-B

第2章 各事業の進行状況

120	住宅支援給付事業	くらし支援課	「住宅確保給付金」は、離職者であって就労能力及び就労意欲のある方のうち、住宅を喪失している方または喪失するおそれのある方を対象として、住宅の確保（住宅喪失の予防）及び就労機会の確保を支援することを目的とした制度であり、就職支援を受けながら賃貸住宅の家賃のための給付金の支給を受けることができます。	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、給付金を支給するとともに、就労支援を行いました。平成27年度より法に基づく事業となったため、生活困窮者自立支援法にもとづく住居確保給付金に一元化し、住宅支援給付金は平成26年度中に支給決定（新規）した件のみ支給しました。（平成27年度住宅支援給付金支給延人数17人、支給額767千円、住居確保給付金支給延人数24人、支給額1,112千円）	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者の住宅の確保及び就労機会の確保を行うことにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続												III-B	
121	消費生活相談業務	くらし支援課	契約や販売方法、品質などの消費者トラブルに対する苦情相談及び問合せに対する情報提供をしています。相談する場があることで精神的に安定することにつながります。	相談件数 2,945件 苦情 2,537件 問合せ 408件	アドバイスや助言により様々な情報提供を行い、安心して相談できる場所として周知できました。	継続												III-B	
122	高齢消費者の見守り体制との連携（地域福祉ネットワーク会議）	くらし支援課	高齢者の消費者被害の未然防止、早期発見に向け、豊中市ライフセーフティネット、地域見守りネットワーク等と連携しています。高齢者が安心して暮らせることで精神的な安定につながります。	地域福祉ネットワーク 年13回	高齢者の消費者被害の未然防止にかかる情報提供をし、身近に相談できる場所の周知を行い、精神的な安定につながりました。	継続												III-B	
123	多重債務者生活相談業務	くらし支援課	多重債務者の債務や生計の状況などを聴取し、債務整理のための法律専門家への誘導をするとともに、関係部局が連携して多重債務者の早期発見及び生活再建に向け支援します。相談する場があることで精神的に安定することにつながる。	相談人数 166人	債務整理や生活再建の支援をすることで、精神的な安定につながりました。	継続												III-B	
124	多重債務問題連絡会等による連携	くらし支援課	多重債務者の債務整理や生活再建のため、意見・情報交換等により関係部局が連携して多重債務者生活再建業務に資するものです。	25年度で完了（以降記入不要です）		完了													

第2章 各事業の進行状況

125	相談支援事業	障害福祉課	・豊中市障害相談支援ネットワークえん	・豊中市障害相談支援ネットワークえん：全体会議12回	相談支援事業所のネットワークを構築し、連携を深めることで、障害者が安心して地域生活を送れるよう支援を行うことができました。	拡充	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	
126	障害者相談員事業	障害福祉課	身体障害者相談員、知的障害者相談員、精神障害者相談員がそれぞれの立場に立って、各手帳の取得や障害者の身近な問題についていろいろな相談に応じます。	相談員数：20名 相談件数：延べ48件	当事者や家族といった相談員が身近な問題について相談に応じることができ、一定の効果をあげています	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	
127	成年後見制度利用支援業務	高齢者支援課	市長による成年後見事業の申立および成年後見利用支援事業を実施します。	市長申立て：10件	虐待事例を中心に後見人が必要な市民に対して利用支援を実施しました。	継続									●	III-B	
128	自殺予防のための人材育成事業	保健所保健医療課	自殺の危険性の高い人の早期発見・早期対応を図るため、相談窓口担当職員や地域で活動するボランティア団体・一般市民等を対象に、自殺や自殺関連事象に関する知識を普及するとともに、自殺の危険性を示すサインへの気付きやその対応に関する研修会などを実施します。	・自殺を考えている人や悩んでいる人に気づき、適切な相談窓口へつなぐことができる人材（ゲートキーパー）を養成する講座5回実施。 (市職員対象) ①健康福祉部4、5年目職員 ②窓口業務に従事する職員 ③くらし支援課職員（2回開催）計4回 (市民対象)1回	・市職員対象研修参加状況 ①健康福祉部4・5年目職員21人（定員24人） ②窓口業務職員28人（定員30人） ③くらし支援課職員（2回分）19人 ・市民対象参加状況38人 窓口業務職員対象研修では募集開始後2日間で申込み定員に達し（当日欠席2人）、このような場面を多く経験していると考えます。窓口で適切な相談場所へつなぐことは自殺防止につながるを考えています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	III-C
129	精神保健福祉相談	保健所保健予防課	こころの健康問題・不調を抱える人に対して、個別相談を行い、健康の回復を図るとともに、精神疾患の早期発見、早期治療に向けてケースワーク等で支援を行います。	精神疾患の患者・家族等からの相談に応じ、ケースワーク等による相談・訪問等を実施。個別相談人員：613人、相談・訪問延べ人員3,181人、電話・メール相談1,287人	こころの不調の回復や、治療を要する人への医療の導入、医療中断者等への治療再開、治療継続支援等を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	V-B

第2章 各事業の進行状況

130	自殺対策事業	人権政策課	自殺対策基本法の理念に基づき、市民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現をめざし、総合的かつ効果的な自殺対策について協議及び推進するため、庁内の自殺対策に関わる課等で構成される豊中市自殺対策連絡会議、庁内外の関係機関・団体で構成する豊中市自殺対策ネットワーク会議を設置しています。	豊中市自殺対策連絡会議を1回実施。また、それと同時に開催で豊中市自殺対策ネットワーク会議を1回実施。	会議を通じて、当市の自殺対策の取り組みについて協議をしました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	III-A III-B
131	総合生活相談事業	人権政策課 蛍池人権まちづくりセンター	地域住民の多様な相談に対し、多角的な観点から最も適切な支援方を検討し、長期的・継続的に支援活動を行っています。	事業実施回数 330回 参加延人数 349人 総合相談事業の充実、ケース検討会議、支援方策検討会議等を実施しました。	事業を継続的に実施することにより、市民の不安や悩みを解決するとともに、人権尊重のまちづくりに取り組みました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	
132	総合生活相談事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	社会的援護を要する地域住民・市民の多様なニーズに対し、福祉、健康、住宅、教育、保育、子育て、就労、人権、その他のさまざまな観点から、身近で相談者の立場に立った最も有効、適切な支援方を検討し、相談者自らが課題等を解決するための長期的、継続的な支援を行っています。	延べ相談件数 410件 支援方策検討会議 1回 ケース検討会議 5回	高齢化社会が進み、さらにニーズが高まっていくと考えられるため、今後も継続して取り組む必要があります。また、相談内容の複雑・多様化のため、福祉関係部局、福祉施設、民生委員、福祉委員等との連携を重ね、相談事業の強化の取り組みを進めます。	継続					●	●	●	●	III-C	
133	生ごみ・剪定枝堆肥化事業	公園みどり推進課	循環型社会を推進するため、堆肥「とよっぴー」を使った資源循環啓発を行っています。その取り組みの一つとして、農体験学習を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	●大根の栽培や田植えなどが体験できる農体験学習を44回実施 ●サツマイモ掘り体験ができる「とよっぴー祭り」を実施。サツマイモ掘りの参加者は318人。	児童を対象とした農体験学習には安定した需要があり、「とよっぴー祭り」や親子を対象としたシリーズ制の収穫イベント等は、都市部で農業を学べるという点からも好評を得ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
134	ヒメボタル保全事業	公園みどり推進課	希少なヒメボタルを保全するために、生息地の保全活動及び保全啓発を行っています。その取り組みの一つとして、ヒメボタル学習会・観察会を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	ヒメボタル学習会・観察会を2回実施	毎年度、キャンセル待ちが出るほど多くの申し込みがあるため、平成27年度は試行的に回数を増やして実施しました。希少なヒメボタルについて学べる学習会と観察会を合わせたイベントは、非常に好評を得ています。	拡充	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C

第2章 各事業の進行状況

135	自然環境啓発事業	公園みどり推進課	自然観察会等の自然環境啓発イベントを開催していますが、その取組みの一つとして、自然観察会及び自然体験で学ぶ環境学習を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	自然観察会を4回、自然体験で学ぶ環境学習を6回実施	毎年度、同回数を実施していますが、ここ数年は参加者数が高い水準で安定しており、特に、自然体験で学ぶ環境学習シリーズは、人気が高いイベントです。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
136	自然環境保全事業	公園みどり推進課	里山の保全・再生及び民有地の樹木等の保全を支援していますが、その取組みの一つとして、里山の保全・再生活動及び自然観察会を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	里山（島熊山緑地）の管理作業を20回、島熊山緑地を活用した自然観察会を2回実施。	毎年度、管理作業及び自然観察会に安定した参加者がありますが、近年、ナラ枯れ被害の拡大に伴い、管理作業の回数は、増加傾向にあります。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
137	中小企業勤労者互助会事業	くらし支援課	市内の中小企業に働く勤労者及びその家族の福利厚生の実施を図り、併せて中小企業の振興に寄与します。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	中小企業勤労者互助会の予算のうち、福利厚生事業費や一般事務管理費を補助することにより、市内中小企業に働く勤労者及びその家族の福利厚生の実施を図り、併せて中小企業の振興に寄与しました。（平成27年度末会員事業所147社、1,194人）	中小企業で働く従業員の福利厚生の実施を図り、心の健康づくりに寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	
138	福祉なんでも相談	地域福祉課	相談事業、地域福祉の活動拠点の運営や福祉サービス等の情報の受発信を行います。	安心・安全なまちづくりの推進を図るため、福祉なんでも相談窓口の委託を行い、住民の身近な相談窓口運営支援を行いました。福祉なんでも相談窓口の設置数：36箇所	福祉なんでも相談窓口は、地域住民が、地域の問題を行政の適切な窓口へ素早くつながることができるため、地域福祉の向上につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	V-C
139	民生・児童委員協議会	地域福祉課	民生・児童委員大会の開催や民生・児童委員協議会に対して支援を行います。見守り活動や相談に応じ、必要な支援を通じて住民の福祉の増進を図っています。	厚生労働大臣により委嘱された民生委員の活動支援を行いました。相談支援件数：14,533件 委員実数：554人	地域福祉の充実に寄与しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	VIII-B
140	認知症対策連携強化業務	高齢者支援課	認知症連携担当者を中央地域包括支援センターに配置し、認知症対策の体制を整備します。	認知症疾患医療センターとの連携会議：12件	引き続き中央地域包括支援センターに委託し、認知症対策の仕組みづくりを強化しました。	継続								●		III-C	III-A III-B

第2章 各事業の進行状況

141	認知症サポーター等養成事業	高齢者支援課	キャラバンメイトを養成し、サポーター養成講座を行い認知症について理解してもらうよう普及啓発を進めます。	認知症サポーター養成数：2750人 キャラバン・メイト養成数：84人	地域包括支援センター職員以外の講師役であるキャラバン・メイトを要請し、市内全域に展開を拡大させました。	継続										●	III-C	III-A III-B
142	こころの健康に関する研修	保健所保健予防課	市民のこころの健康にかかわる関係機関職員に対して、正しい知識の普及啓発等のための研修を行います。	ゲートキーパー養成、こころのスキルアップトレーニング、依存症研修等々を実施。 15回、参加者：365人	ただしい知識や技術を普及することで、地域における精神保健問題の早期発見や早期対応、重症化予防に繋がりました。今後も継続的、計画的に取り組む必要があります。	継続	●	●	●	●	●	●	●				III-C	
143	幼保小連携推進事業	こども事業課	こども園・保育所・幼稚園等と小学校の円滑な接続を図るための取り組みを行います。また、個々の子どもたちの引き継ぎも行っていきます。	各幼保小連絡会や協議会などで具体的な地域実態についても意見交換できました。幼保小連絡協議会…年間2回17校区に分かれての幼保小連絡会・・・年間2回	こども園・保育所・幼稚園等と小学校の円滑な接続を図るための取り組みを行うことができました。	継続		●	●								III-C	
144	地域子育て・子育て支援ネットワーク事業	こども相談課	子育て関係機関や団体との連携を図り、身近な日常的なかかわりの中で、子育て支援を行います。小学校区ごとに、地域子育て・子育て支援ネットワーク校区連絡会を開催します。	地域子育て・子育て支援ネットワーク会議（校区連絡会） 41校区で開催	小学校区ごとに連絡会を開催し、子育て関係機関・団体と情報交換や地域ごとの課題の共有を行いました。	継続	●	●			●	●	●				III-C	
145	創造活動（不登校対応）	児童生徒課	不登校の児童生徒を対象に、学校復帰し自立できることを目的とし、個々の児童生徒の興味・関心を行動にうつさせ、自らが活動する過程で成長がはかれるように、必要な援助を組織的・継続的に行うことをねらいとします。クッキング活動、体を動かそう等のプログラムを実施している。	文化館でのクッキング（30回）、体をうごかそう（64回）等のプログラム活動のほか、ハイキングや宿泊体験活動、乗馬体験なども実施しました。	不登校の児童生徒が、プログラムや体験活動を通して児童生徒相互や指導員との心の交流を深め、安心感や達成感を持つことができ、学校へ復帰したり、学校復帰に近づいたりすることができました。	継続			●							III-C	I-C II-A	
146	スクールソーシャルワーカー活用事業（連絡会）	児童生徒課	虐待など児童生徒のさまざまな課題に対応するため、教育と福祉に関して高度な専門的知識を有し、相談支援活動経験のある人材を、スクールソーシャルワーカー（SSW）等として小中学校に派遣します。	小学校19校、中学校6校に派遣し、ケース会議、教員・保護者等との面談、教室訪問（児童生徒の観察）等を行いました。	相談者らとともに適切なアセスメントとプランニングを行い、課題解決に向けたチーム支援の方向づけを行うことができました。	継続									●		III-C	

第2章 各事業の進行状況

147	スクールカウンセラー配置事業（連絡協議会）	児童生徒課	学校における教育相談体制の充実を図るために、学校に児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者等をスクールカウンセラーとして配置し、児童生徒のいじめ・不登校・問題行動等の解決につなげます。	市内全 18 中学校に各 1 名のスクールカウンセラーを配置し、1 回 6 時間、年間 35 回の相談活動等を、ほぼ行うことができました。	児童生徒に関わる問題について、児童生徒、保護者、教職員のカウンセリングやケース検討等を行う中で課題解決につなげることができました。	継続											III-C		
148	子ども・若者育成支援事業	くらし支援課	市の関係機関や家庭、地域等との連絡調整、情報の共有、連携をはかることにより青少年が社会的自立を果たすことができるよう支援をつなげるとともに、必要となる支援があれば関係部局と調整を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユースアドバイザー養成講習会」(5 回) ・先進都市視察 (1 都市) ・若年者就労問題等連絡会議と子ども・若者育成支援推進検討会議の合同会議開催 (2 回) ・豊中市子ども若者支援協議会 (2 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会実施により、庁内外の方へ知識習得を促進するとともに、ユースアドバイザーの養成を行いました。 ・両会議を統合再編し、豊中市子ども・若者支援協議会を設置しました。 	継続											III-C		
149	ひとり暮らし老人の会の組織化	豊中市社会福祉協議会	「孤独感の解消」、「一人よりみんなと」をスローガンに小学校区単位にひとり暮らし老人の会を組織化し、会食会などの開催を通じて、会員同士のつながりを構築しています。	組織状況 37 校区 1, 239 名 役員会 3 回 連絡会・総会 3 回 シングルライフ編集委員会 4 回 シングルフェスティバル開催	シングルフェスティバルの出演や作品展への出品で、やりがいや喜びが次回への意欲となっています。会員同士で情報交換をすることで介護保険やサロンの利用につながることもあります。												III-C		
IV) たばこ																			
150	受動喫煙に関する普及啓発・禁煙表示の推進	保健所保健医療課	受動喫煙による健康への悪影響に関する啓発活動や、学校・医療機関・官公庁施設・民間施設等での禁煙化および禁煙表示を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌、ホームページに受動喫煙防止・禁煙表示の協力に関する記事を掲載 ・禁煙表示ステッカー配布ちらしを配布（健康づくり応援団の店などの飲食店、世界禁煙デーイベントなどの各事業・催しの場ほか） ・市内小中学校（59 校）へ受動喫煙ポスター（3～4 種類/校）を通学路に掲示していただけるよう依頼しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙について 7 知ってもらう機会としています。 ・小中学校の協力により、通学路へポスターが掲示されました。路上喫煙者防止につながっていると考えています。 	継続												IV-A	IV-B

第2章 各事業の進行状況

151	市内禁煙治療・禁煙サポート実施医療機関調査	保健所保健医療課	禁煙治療・禁煙サポートを実施する市内の医療機関情報を提供し、喫煙者の減少ひいては禁煙環境の整備を推進します。	市内医療機関に調査を実施し、禁煙治療・禁煙サポートを実施する医療機関一覧リーフレットを作成。市ホームページに掲載しているほか、市薬剤師会会員店舗、世界禁煙デーイベント等の各種催しや健診事業で配布しました。禁煙治療および禁煙指導 i 実施医療機関数（市内）56 機関	禁煙したい人が確実に禁煙できる体制の整備を継続しています。年々、実施医療機関も増えており、喫煙者の禁煙や受動禁煙の防止につながると考えています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	IV-A	IV-B
152	市有施設受動喫煙防止ガイドラインの推進	保健所保健医療課	市有施設受動喫煙防止ガイドラインに基づき、市有施設の建物内禁煙の実施状況の確認及び推進に関する検討を行います。	全市有施設において建物内禁煙実施を実施中です。（平成 25 年 11 月より）	全市有施設で建物内禁煙達成（H25. 11 より）	終了	●	●	●	●	●	●	●	●	IV-A	IV-B
153	たばこの健康教育	保健所健康増進課	たばこの情報提供・防煙教育を実施。 ・地域住民等へのたばこに関する情報提供や健康教育 ・小中学校での喫煙防止教育	市内の中学校において、生徒向けの健康教育を実施。 対象： 2校 220人	地域に向けて（特に青少年）、たばこに関する正しい知識の普及啓発、情報提供ができました。	継続	●	●	●	●					IV-B	IV-A
V) アルコール等																
154	薬物乱用防止啓発事業	保健所保健医療課	学校での薬物乱用防止教室の開催、健康展など地域のイベントにおける普及啓発を実施します。	・薬物乱用防止教室を開催しました。（15回、延べ1,185人参加） ・薬物乱用防止キャンペーンを実施しました。（6回、延べ7,600人参加）	・学校薬剤師等と連携し、市内の小中学校で薬物乱用防止教室を開催し、生徒に薬物乱用防止の大切さを伝えました。 ・街頭キャンペーンで薬物の恐ろしさを伝えました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	V-A	V-C

155	HAPPY プログラム	保健所保健予防課	・多量飲酒者の飲酒量低減とアルコール依存症の疑いのある人の早期発見を目的とする。 ・スライド教材による学習と飲酒日記を用いた、認知行動療法の手法に基づく簡易介入プログラム。	・3回／1クールの講座とフォローアップ1回。3クール実施。利用者は実9人 - 延26人。修了者6人は、断酒や飲酒量の減少、健康状態、生活面での改善が認められた。	プログラムの有効性が認められました。今後も継続し、より多くの利用を図る計画です。	継続												V-A	
156	アルコールの健康教育	保健所健康増進課	アルコールの情報提供・教育を実施。 ・地域住民等へのアルコールに関する情報提供や健康教育 ・小中学校での飲酒防止教育	市内の中学校において、生徒向けの健康教育を実施。 対象：7校 計969人	地域に向けて（特に青少年）、アルコールに関する正しい知識の普及啓発、情報提供ができました。	継続	●	●	●	●								V-C	V-A
157	アルコール連絡会	保健所健康増進課	関係機関及び当事者団体等との情報交換等連携した酒害等に関する取り組みの推進	・豊中市域アルコール連絡会（課題報告、意見交換）：1回 ・実務者研修会（講師講演、体験談）：1回	関係機関との連携を図りながら、飲酒による健康への影響について正しい知識の普及啓発ができました。	継続		●	●	●	●	●	●					V-C	
VI) 歯や口の健康																			
158	妊婦教室「マタニティーママのデンタル教室」	保健所健康増進課	歯みがきとデンタルフロス（歯と歯の間をみがく糸）の使い方を歯科衛生士と練習します。併せて、むし菌簡易検査も実施しています。	実施回数 11回、参加者数 88人	妊娠期から出産後の口腔ケアと子どもの口腔ケアについて、啓発する場として、実施することができました。		●											VI-A	VII-D
159	すくすくよい歯の教室	保健所健康増進課	生後8～10か月前後の乳幼児（の保護者）を対象に、乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発を行います。	実施回数29回 参加者数 701人	対象月齢を変更したことにより、保護者が早めに知識を得ることができ今後も継続して実施していきたい。			●										VI-A	
160	幼児の食育を支える歯や口の健康づくりの取り組み	保健所健康増進課	保育園（所）・幼稚園と協働し、幼児の歯や口の健康に関して、保護者に対する啓発と職員への情報提供を実施しました。	食育啓発チラシプラスワンシート（歯科幼年期用）を、こども事業課発行の給食便り11月号の裏面に印刷し、市内公立認定こども園在籍園児の保護者に配布し啓発をおこなった。2540枚。 （本取組みはこども事業課・保健医療課・健康増進課共同で実施）	関係機関と連携を図りながら、幼年期の歯や口の健康についての知識の普及啓発ができました。	継続		●		●	●	●	●					VI-A	I-A I-C

161	歯科健康 診査	保健所健康 増進課	市民に対し、歯科医院での歯科健康診査を実施します。	豊中市歯科医師会と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。H27年度受診者数：4,681人	市民に対し、歯科医院での歯科健康診査を実施しました。	継続											VI-A	VII-B
162	障害者 (児) 歯科診療事業	保健所保健 医療課	(一財)豊中市医療保健センターに事業委託し、市立庄内保健センターにおいて一般医院で治療が困難な障害者(児)の歯科診療を行います。(毎週水曜日14時から16時。祝日、夏期(8月14日・15日)、年末年始期間除く)	庄内保健センターにおいて、延べ診療日数48日、延べ患者数718人の歯科診療を行いました。	一般医院で治療が困難な障害者(児)の歯科診療を行うことにより、障害者(児)支援の充実に寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VI-B	
VII) 健康管理																		
163	環境交流 センターにおける 情報提供 等業務	環境政策課	3R実践市民講座	実施回数：2回 参加人数：27人	家庭でのごみ減量の推進の一環として、職の安心・安全をテーマに、ごみの減量や食品ロス・ゼロに向けた取組み(とよなか食べきり運動)を楽しく参加・体験しながら、3Rの推進を学びました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	I-A
164	国連・持続可能な開発のための教育(ESD)の10年の取組み	環境政策課	ESDリソースセンターWEBにより、豊中市内の、健康づくりに寄与する店舗などを紹介しています。	ESD10年の取組み成果をふまえ、今後の展開を検討した。	市民のみなさんに、食への関心を高めていただくとともに、食材、食事を大切にすることを学んでいただいています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	I-A
165	コラボ事業	千里地域連携センター	市民との協働や千里文化センターコラボ内の施設間の連携による事業を実施します。	市民実行委員会事業、2月に健康講座「中高年の肩の痛み」開催 50名参加	健康講座は、毎回定員を超える申し込みがあり、市民の健康管理に対する意識や関心の高さが見受けられます。講演だけでなく、自分できる痛み軽減のケア方法の説明もあり、好評を得ています。	継続							●	●	●		VII-A	

第2章 各事業の進行状況

166	生活保護受給者等健康管理支援事業	福祉事務所	生活保護受給者等で日常生活において健康管理が困難な者への助言・指導、病状把握、受診勧奨を行い、自立した生活が営めるよう支援するとともに、医療扶助・介護扶助の適正化を図る。	生活保護受給者等への家庭訪問・面談等 181 件、医療機関への同行受診・病状照会等 46 件、自立支援医療(精神通院医療・更生医療)の適用 98 件、指定難病医療費助成の適用 18 件、重複受診・重複処方改善 46 件、等を行いました。	地区担当者と連携し、生活保護受給者の健康上の問題の解決及び医療扶助等の適正化に努めました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -A	
167	自立訓練	障害福祉課	地域生活を希望する障害者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を行います。	利用者数；延べ 400 人	地域生活を希望する障害者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を行うことができました。					● 18歳以上	●	●			VII -A	I - A II - A II - B
168	介護保険制度等の啓発	高齢施策課	介護保険制度パンフレット等の作成・配布、地域説明会の開催などにより、介護保険制度等の啓発を行います。 パンフレット「介護と予防」に市民健診など、健康に関する事業を掲載しています。	・介護保険制度パンフレット「介護と予防」に市民健診など、健康に関する事業について掲載。 発行部数：20,000 部 設置・配布先：市役所及び出張所、地域包括支援センター、市立豊中病院、校区福祉委員会など。 ・地域説明会の開催数：13 回	高齢者も受けることができる各種サービスについて情報提供を行うことができました。				●	●	●	●			VII -A	I - A II - A III - A VI - A VII - B
169	ぬくもりサロンとよなか事業	高齢者支援課	営業開始前の公衆浴場を開放し、健康体操やレクリエーションなどのプログラムを行い、参加者は 100 円で入浴できます。	実施回数：73 回 延参加人数：2,150 人	健康体操やレクリエーションなどのプログラムの実施により、健康の保持や介護予防につながりました。	継続						●			VII -A	I - A II - A III - A VI - A
170	街かどデイハウス介護予防教室	高齢者支援課	街かどデイハウスを運営する住民参加型非営利団体等に委託し、介護予防体操、健口体操をはじめとした介護予防のプログラムを実施します。	実施回数：32 クール、384 回 延参加人数：2741 人	各街かどデイハウスで工夫を凝らして介護予防教室を実施しています。	継続						●			VII -A	I - A II - A III - A VI - A
171	二次予防事業の対象者把握事業	高齢者支援課	基本チェックリストの配布・回収および他部局からの情報提供等により、要支援・要介護状態になるおそれの高い状態にあると認められる二次予防事業の対象者の把握を行います。	基本チェックリストの配布数 28,885 人 返信数 20,229 人	基本チェックリストの配布・回収により、二次予防事業の対象者の把握し、介護予防につながっています。	完了						●			VII -A	I - A II - A III - A VI - A

第2章 各事業の進行状況

172	通所型介護予防事業	高齢者支援課	自立した生活の確立と自己実現の支援のため、二次予防事業の対象者に対して、運動器の機能向上、口腔機能の向上、認知症予防などのプログラムを実施します。	運動：13クール、延参加人数：1,623人 口腔：5クール、延参加人数：204人 脳力：7クール、延参加人数：714人	二次予防事業の対象者に対して、運動器の機能向上、口腔機能の向上、認知症予防などのプログラムを実施し、介護予防につながっています。	縮小											●	VII -A	I-A II-A III-A VI-A	
173	訪問型介護予防事業	高齢者支援課	二次予防事業対象者であり、特に閉じこもり、うつ、認知症の傾向がある等、心身の状況等により通所形態による事業への参加が困難な人へ、自宅を訪問して必要な相談・支援等を行います。	訪問型介護予防事業実施人数：0名	訪問型介護予防事業の利用はありませんでした。事業の継続について、検討が必要です。	継続												●	VII -A	I-A II-A III-A VI-A
174	介護予防地域教室事業	高齢者支援課	地域住民の心身の健康の保持と生活の安定のために、必要な援助を行い、保健医療の向上・福祉の増進を包括的に支援します。	地域教室開催回数：65回	介護予防等に関する知識や情報を地域住民に普及・啓発することで、「予防のまちづくり」の構築につなげることができました。	継続												●	VII -A	
175	地域包括支援センター運営支援・管理業務	高齢者支援課	地域包括支援センターの運営に関与し、各センターの連絡調整や情報共有、必要な支援を行い「地域包括ケア体制」の構築を図ります。	「地域ネットワーク部会（高齢部会）」を通じた圏域におけるネットワークづくりや、「医療関係者とケアマネとの意見交換会（虹ねっと）」を通じた医療と介護の連携など、地域包括ケアシステムの構築します。	第6期介護保険事業計画に基づき、事業を展開しました。	継続												●	VII -A	III-A III-B
176	家族介護者教室	高齢者支援課	介護方法や介護予防などについて、デイサービスセンター等で開催。	デイサービスセンター2カ所、参加者27人	家族介護者の負担軽減につながり、高齢者の在宅生活を支えることができました。	廃止											●	●	VII -A	
177	認知症高齢者家族交流会・教室	高齢者支援課	認知症高齢者等を介護している家族介護者に対し、その介護疲れやストレスを軽減することを目的に介護に関する教室の開催や家族間の情報交換等の交流会を開催し、家族介護者の負担の軽減を図ります。	参加者数：339人	認知症高齢者を抱える家族介護者の交流の場や、情報交換の場としての役割を果たしました。	継続											●	●	VII -A	III-A III-B III-C
178	家族介護者交流事業	高齢者支援課	家族介護者を一時的に介護から解放するため、宿泊旅行などを通じ介護者相互が交流しながら元気回復を図ります。	参加者数：31人	要介護高齢者等を抱える家族介護者に交流・情報交換の場を提供し、家族介護者の心身のリフレッシュを図ることに役立ちました。	継続											●	●	VII -A	

第2章 各事業の進行状況

179	在宅高齢者虐待防止事業	高齢者支援課	市が実施する高齢者虐待防止関連事務において、社会福祉士及び弁護士から情報提供、助言を受けます。	高齢者虐待個別ケース会議開催数：3回	高齢者虐待の速やかな対応を行いました。	継続													●	VII -A
180	豊中市健康づくり計画の推進	保健所保健医療課	計画の周知及び計画に基づく取り組みの推進・進行管理。豊中市健康づくり計画推進会議の開催、講演会・出前講座等での計画の周知等を行います。	計画の進捗管理を目的に、新たに年次報告書を作成しました。また、市民健康展・3歳6ヶ月児健診の場で、健康づくりに関する市民意識調査を実施しました。	保健所各課や庁内他部局等と連携し、健康づくりについて啓発を継続しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -A
181	階段トレーニング（「段トレ」）	保健所保健医療課	より多くの市民の方に「健康づくり」に取り組んでいただけるよう、身近にある「階段」を活用した取り組みを行っています。生活関連の各分野とも連携して、「健康づくり」の普及啓発をめざします。	市職員の階段利用促進は継続しています。27年度は市民対象に階段利用も含めた身体活動量の増加を目指した取り組みを実施しました。	階段利用を含め、身体活動量を増やす取り組みとして、ウォーキングイベントを実施しました。今後も身体活動量を増やすという視点で取り組んでいきます。	拡充	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -A
182	二次救急医療対策事業	保健所保健医療課	豊能圏域（豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町）における二次救急医療体制の円滑な運営および整備を図ります。	救急告示病院21病院による病院群輪番制事業を実施しました。また、救急告示病院のうち小児科を標榜する5病院による小児医療支援事業を実施しました。	市民の健康保持に重要な役割であり、今後も安定的な事業運営が必要不可欠です。平成27年度中には新規で4病院が病院群輪番制事業に参加することとなり、体制の一層の充実が図られました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -A
183	かがやき施設運営管理	保健所保健医療課	リハビリテーションやレクリエーション、看護・介護を通じて、居宅における生活への復帰の支援を行います。また、自宅にお住まいの方の短期間の宿泊サービス、在宅でお住まいの方のための通いのリハビリテーションなどを実施することにより、利用者の身体機能の維持・回復を図ります。	通所1日平均27.3人/延べ8,497人、長期1日平均87.0人/延べ31,853人、短期1日平均5.7人/延べ2,068人	利用者ニーズに応じたサービス提供を行うことに努めています。また、受入れ先がないケースの一時的な受入れなども行っており、市立施設としての役割を果たしています。	継続												●	VII -A	

第2章 各事業の進行状況

184	豊能圏域 脳卒中地 域連携ク リティカ ルパス推 進事業	保健所保健 医療課	急性脳卒中患者が発症（急性期）からリハビリ（回復期）在宅（維持期）にかけて一貫した途切れない医療を受けられる体制の推進。地域連携診療計画書や「脳卒中ノート」など情報共有のツールの普及、広くは患者自身による健康管理・再発の予防、また、発症予防を目的にワーキング会議と検討会議を実施しています。	豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス検討会を開催しました。パス検討会は今年度で終了し、今後は計画管理病院が中心となって行われているパス会議に維持期の先生が参加します。26年度改訂した脳卒中ノートなどが見やすいように市のホームページを一部変更しました。その他、早期発見・早期治療の啓発としてリーフレットを関係機関に配布しました。	パス会議に維持期の先生が参加することで、脳卒中患者が発症から途切れない医療を受けられる体制づくりの更なる推進を目指します。ホームページの変更やリーフレットの配布により、脳卒中に関して広範囲の方々に周知できました。	縮小											VII -A	
185	難病事業 （個別援 助）	保健所保健 予防課	・難病患者等のQOLの向上のために、面接や訪問等で療養生活上の支援を行います。	保健師等の療養相談件数 4,526件。	難病法施行後、対象疾患が拡大したことにより患者数が増加し、保健師等の療養相談件数も増加しました。患者のニーズ把握と状況に応じた支援を行いました。今後もよりよい支援体制づくりに取り組みます。	継続		●	●	●	●	●	●	●			VII -A	VII-F
186	難病事業 （集団援 助）	保健所保健 予防課	難病患者等が疾病の正しい知識をもち、よりよい療養生活を送るために、講演会の開催や交流会の支援を行います。	・市民向け講演会：年1回開催 ・患者及び家族向け講演会：北ブロック保健所（池田・吹田・茨木・高槻市・豊中市）で協力し、患者及び家族向け講演会を5回開催 ・患者及び家族交流会：交流会の活動を支援し、必要時療養相談を実施。	一般市民、難病患者・家族が難病に関する正しい知識を学び、よりよい療養生活につながりました。また、患者及び家族が交流することで自助及び互助の機会となりました。	継続		●	●	●	●	●	●	●			VII -A	VII-F
187	難病事業 （医療費 助成）	保健所保健 予防課	・指定難病の医療費助成事業の申請受付事務を行います。	新規申請 644件 変更申請 479件 更新申請 2,727件	難病患者の医療費負担の軽減及び健康の保持増進に寄与しました。	継続		●	●	●	●	●	●	●			VII -A	
188	健康カレ ッジ	保健所健康 増進課	7回シリーズ。講演・実技・グループワークの後に学びノートへ各自記入し、家族・近所・地域に情報発信します。	5回（公開講座3回）シリーズの講演や実技を行い、受講者は30人、受講延べ数は128人、また、公開講座参加者は60人でした。毎回、講座内容をホームページでも公開しました。	対象者をおおむね60歳以上から65歳以上に変更して実施した結果、受講者が減少しています。今後より多くの市民が参加できるように、実施方法や周知方法を検討します。	継続							●	●			VII -A	I-A II-A III-A VI-A

第2章 各事業の進行状況

189	健康手帳の交付	保健所健康増進課	健康診査の受診者や健康相談等を受けた人に対し、健康手帳を配布します。	40歳以上の希望者 1,526人に配布	自身の健康管理の指標となり、健康づくりに寄与できました。	継続												VII-A	II-B
190	健康教育(成人保健)	保健所健康増進課	健康に関する講座など教育事業。出前講座・健康づくり推進員主催講座・老人会・地域のサロンなどに専門職(保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士)が出向き啓発を行います。職種により健康・運動・口腔・栄養などの内容で実施しています。	健康に関する講座など教育事業。出前講座・健康づくり推進員主催講座・老人会・地域のサロンなどに専門職(保健師・作業療法士・歯科衛生士・栄養士)が出向き啓発を行います。職種により健康・運動・口腔・栄養などの内容で実施しています。	集団 303回 8,050人 個別 181回 267人	継続												VII-A	I-A II-A III-A VI-A
191	健康相談(成人保健)	保健所健康増進課	健康に関する相談事業。電話や面接などで専門職(保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士)が相談に応じます。	パパママ歯科相談 22回 145人 健康相談 93回 1175人 面接相談 59回 60人 電話相談 273回 283人 リハ相談 4回 4人	各専門職により、相談内容、対象者にあわせた相談対応ができました。	継続												VII-A	I-A II-A VI-A
192	訪問指導事業(成人保健)	保健所健康増進課	健康に関する訪問指導事業。専門職(保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士)による生活習慣病予防や介護予防などの指導を行う。	寝たきり、閉じこもり、生活習慣病の要指導者等に訪問指導を実施。延べ249件 実人数46人	訪問件数の増加。各専門職が前年度にくらべ、より多く地域(家庭)に出向き、対象者に合わせた支援ができました。	継続												VII-A	I-A II-A VI-A VII-B
193	公害健康被害保健福祉事業	保健所健康増進課	被認定患者に係る知識普及、保健指導等を行います。	インフルエンザ予防接種費用助成 61件 166,365円 家庭療養指導 132件(うち不在37件)	被認定者に対して公害健康被害に係る指定疾患に関する知識普及、療養上の保健指導や支援を行うことができました。	継続												VII-A	
194	公害健康被害補償業務	保健所健康増進課	公害被認定患者に係る認定の更新及び等級の見直しや、医療費についての診療報酬明細書の審査、また補償給付費の支給事務を行います。	認定審査会 12回 更新審査 32件、等級見直し審査 105件 診療報酬審査会 12回 審査レセプト 2,630件	認定審査会・診療報酬審査委員会を滞りなく行うことにより、患者に対して適切に補償業務を行うことができました。	継続												VII-A	
195	地域保健医療等申請受付進達業務	保健所保健予防課	肝炎医療費助成、石綿健康被害救済給付、被爆者援護事業に係る申請受付進達業務を行います。	肝炎医療費助成 618件 石綿健康被害救済給付 2件 被爆者健康診断受診者 対象者313人中、第1回(5月)84人、第2回(10月)67人	被認定者に対して医療費助成や給付、健康診断を実施することで、健康保持を図ることができました。	継続												VII-A	

第2章 各事業の進行状況

196	保健事業 (健康家庭表彰費)	保険給付課	3年間医療機関への受診がなく国民健康保険料を完納された世帯に対し健康をお祝いするため記念品を贈呈します。 国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。	表彰世帯：203世帯	国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援しました。													VII -A
197	老人医療費助成事業	保険給付課	老人に対し医療費の一部を助成します。 老人の健康の保持及び福祉の増進を図る事業。	件数：165,976件 助成額：552,851,299円	一部負担金相当額等一部助成事業により、特定疾病等、一定の条件を満たす老人について、一部負担金相当額を助成することで医療の受信を容易にし、その健康の保持と福祉の増進に寄与していると考えられます。													VII -A
198	訪問看護基本利用料助成事業	保険給付課	身体障害者及び知的障害者で居宅において療養が必要な対象者に対して、指定訪問看護を受けた場合に負担すべき基本利用料の一部を助成します。 在宅医療の推進と福祉の増進を図る事業。	日数：3,795日 助成額：7,664,064円	重度障害者（児）に対し基本利用料の助成を行うことにより、訪問看護の利用が促進され在宅療養の推進と福祉の向上に寄与していると考えられます。													VII -A
199	障害者医療費助成事業	保険給付課	身体障害者及び知的障害者に対し医療費の一部を助成します。 身体障害者及び知的障害者の健康の保持及び福祉の増進を図る事業。	件数：62,820件 助成額：379,001,340円	身体障害者および知的障害者が必要とする医療を経済的に保障することにより、その健康の保持及び福祉の向上に寄与していると考えられます。													VII -A
200	アスベスト対策事業	建築審査課	吹付けアスベストが施工されているおそれのある建築物において行うアスベスト含有の有無に係る調査の費用及び多数の者が利用する建築物（多数の者が共同で利用する部分（当該建築物に付属する電気室、機械室等を含む。）に限る。）に露出して施工されている吹付けアスベスト除去工事の費用に対して一部を補助します。	吹付けアスベスト含有調査補助 2件 (補助額500,000円) 吹付けアスベスト除去工事補助 1件 (補助額1,000,000円)	安心・安全なまちづくりに寄与していると考えられますが、結果を踏まえ、補助制度のあり方について検討を行います。	継続												VII -A

第2章 各事業の進行状況

201	学校施設安全衛生委員会	学校教育課	学校施設安全衛生委員会の開催・産業医による面談・職場巡視等の実施により、教職員の健康管理の充実及び職場環境の整備を図ります。	学校施設安全衛生委員会の開催・産業医による面談・職場巡視を実施しました。また、産業カウンセラー・トレーナーによる健康相談活動、メンタルヘルスケア研修会、ヒヤリハット調査、受動喫煙防止対策実施状況調査を実施しました。平成28年度(2016年度)から実施するストレスチェック制度導入に向けて準備・調整を行いました。	各種の健康相談活動についてよりPRすることで対応件数が増えました。これらのことにより教職員の健康の保持増進及び学校施設の安全衛生の推進につながりました。平成28年度(2016年度)5月からのストレスチェック制度実施につながりました。	継続												VII -A
202	公民分館事業	中央公民館	公民分館が実施する文化祭・体育祭や各種講座、分館だよりの発行や市ホームページを活用した取り組み内容の発信など、分館活動全般への支援を行います。	41公民分館において体育祭・文化祭・講座等の事業を実施しました。	体育祭や健康に関する分館講座等の事業においては、親・子・孫の世代間交流と地域づくりが図られるとともに、あらゆる世代の方が健康の維持増進を考える機会となりました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●			VII -A
203	公民館登録グループ支援	中央公民館	公民館登録グループに対して活動場所の確保や、公民館まつり、グループ体験講習会など活動成果の発表の場を提供するとともに、教養の向上、生きがいつくりを支援します。	4公民館で、「曾根舞踊会体験講習会」等のグループ体験講習会を69講座104回実施し、514人が参加しました。	健康体操、ヨガ、太極拳、ダンベル体操、フラ、社交ダンス等健康に関するグループ体験講習会が開催され、参加者が登録グループ活動に参加していくことで、継続的に健康づくりに取り組む市民を増やす機会となりました。	継続				●	●	●	●	●			VII -A	
204	課題別講座	中央公民館	環境学習事業、食育推進事業、健康づくり推進事業、人権啓発関係事業、フリースペース活用事業などを開催します。	4公民館で、「自力整体 老廃物を流してイキイキと～夏に向かって軽快な体に～」等の健康づくり推進事業を27講座32回実施し、501人が参加しました。	子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方々が健康増進について学習する機会となる講座に取り組んでいます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●			VII -A	

第2章 各事業の進行状況

205	図書館活動・すべての人への資料提供事業	読書振興課	暮らしの課題解決支援サービスの一つとして、岡町図書館に医療・健康情報コーナーを設置し、市民の身近な施設、図書館において、健康に関する情報提供を行っています。また医療や健康に関する講座、健康レクチャーを関係各課と連携し実施するとともに、関連の講座で資料の貸出やパスファインダーによる情報等を提供しています。	健康増進課主催事業（健康カレッジ等）及び豊中市保健所主催講座等への資料提供（すこやかプラザ6回・豊中市保健所5回・すてっぷホール2回）医療健康情報レクチャー*（岡町2回・高川1回）*市立豊中病院と共催医療情報コーナーの充実（岡町図書館） 「とよなか市民健康展」参加	健康カレッジのほか豊中市立保健所主催講座への関連図書展示や貸出、岡町以外でレクチャーを実施することができました。また資料を購入し、蔵書の充実を図りました。「とよなか市民健康展」へ新たに参加しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -A
206	市民健康診査	保健所健康増進課	市民への健康診査を実施。 （内容）身体測定・血圧測定・尿検査・血液検査・医師診察	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。 健診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団健診を実施しました。 H27年度受診者数：2,312人	主に30歳代の市民に対し、市民健康診査を実施しました。	継続				●	●	●			VII -B
207	がん検診	保健所健康増進課	市民への各種がん検診を実施。 （内容）大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん	豊中市医師会と委託契約を締結し、医療機関での個別検診を実施しました。 検診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団検診を実施しました。 H27年度受診者数：28,976人（大腸がん）・5,660人（胃がん）・5,263人（肺がん）・8,004人（乳がん）・12,675人（子宮がん）・8,697人（前立腺がん）	市民に対し、各種がん検診を実施しました。 未受診対策として、クーポン券の再発行や女性のがん検診については、隔年受診を定着させる取組みを行いました。	継続			●	●	●	●			VII -B
208	骨粗しょう症検査	保健所健康増進課	市民（女性）への骨密度測定を実施します。	検査業者と委託契約を締結し、集団骨密度測定を実施しました。 H27年度受診者数：1,433人	市民（女性）に対し、集団での骨密度測定を実施しました。	継続			●	●	●	●			VII -B

第2章 各事業の進行状況

209	特定健康 診査・特 定保健指 導	保健所健康 増進課	市の国民健康保険加入者対象の健康診査および保健指導。健診の内容は市民健診と同様。集団健診時には、看護師が「高血圧」（高血圧者）、「たばこ」（喫煙者）、「アルコール」（飲酒ありの人）にチラシを配布しています。保健指導では、「内臓脂肪測定会」「無理しないカラダづくり講座」や、保健師との個別での面接などを実施しています。	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。健診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団健診を実施しました。H27年度健診受診者：21,430人 H27年度特定保健指導 計477人 動機づけ支援388人、積極的支援89人	市の国民健康保険加入者を対象に、特定健康診査および特定保健指導を実施しました。未受診・未受講には、通知勧奨や電話勧奨を行うとともに、健診受診者を確実に保健指導につなげるため、結果説明会を導入するなど工夫しました。	継続											VII -B	I-A II-A IV-A V-A VII-A
210	保健事業 (疾病予 防費)	保険給付課	人間ドック・脳ドックの費用の7割を助成します。また、市民健康展において骨粗しょう症予防のための骨密度測定及び保健師による生活指導を行います。国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。(人間ドック事業については壮年期以降が対象)	人間ドック：1,806件 脳ドック：240件 セット：1,323件	受診により重大な疾病の早期発見につながり、健康の保持・増進に寄与していると考えられます。												VII -B	
211	小中学校 教職員健 康管理	学校教育課	小学校および中学校教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施をめざすため、定期健康診断の実施、がん検診等を実施します。	府費負担教職員定期健康診断、がん検診の実施と、それぞれの結果送付及び受診勧告を行いました。	検診未受診者に対する受診勧奨を強化し、要精検者には2回文書で勧奨することで、受診につなげることができました。	継続											VII -B	
212	妊婦健康 診査	保健所健康 増進課	妊婦の健康管理として母子健康手帳の交付時などに受診券を発行し、かかりつけ医にて個別健診を行います。	妊婦健診受診数 40,499件 受診率97.1% 他市や市の財政状況をふまえ、助成額を増額。	経済的負担の軽減と積極的な受診を促し、すべての妊婦が安心して受診できるようにしています。												VII -C	VIII-A VIII-B
213	母子健康 手帳の交 付	保健所健康 増進課	母子健康手帳の交付の機会を通じ、すべての妊産婦等と面接をすることにより個々の妊婦が持つ不安や悩み、喫煙や飲酒などを把握し、必要な保健指導や諸サービスの紹介等の援助を行ないます。(妊婦相談、父親向け小冊子やマタニティーバッチ交付)	妊娠届出数3,705人	母子健康手帳の交付の機会を通じ、必要な保健指導や支援が行えました。平成28年度よりすべての妊婦への面接に加え、妊婦の妊娠時期や生活環境などに応じた支援プランを策定します。	拡充											VII -C	IV-A V-A VIII-A VIII-B

第2章 各事業の進行状況

214	助産制度	子育て給付課	生活保護受給等の経済的な理由で入院出産ができない人を対象に、指定する病院で出産できるものです。	随時受付 入所者数 15 人	相談及び受付を滞りなく行いました。	継続	●									VII -C	
215	青少年学習活動推進事業	人権政策課 蛍池人権まちづくりセンター	青少年の文化芸術活動やスポーツ活動、その他さまざまな体験活動などの学習活動を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図っています。	事業実施回数 435 回 参加延人数 11589 人 野外体験活動やスポーツ活動等を実施しました。	事業を通して差別を考える仲間づくりを軸とした青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続		●								VII -D	II-B III-A
216	青少年学習活動推進事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	人権の仲間づくりを基盤とした文化・スポーツ・体験等の活動を通して、人との関わり、人とつながることの大切さを学ぶとともに、自分らしく生きる力や人権感覚などを育みます。	文化活動教室 実施回数 28 回 延参加人数 303 人 スポーツ活動教室 実施回数 98 回 延参加人数 1,607 人 体験活動教室 実施回数 31 回 延参加人数 454 人	各種教室やキャンプを通して、様々な学校や学年の子どもたちが関わる機会となっています。また、継続的な活動を行うことにより、子どもたちの生きる力や人を大切にする心が育まれています。	継続			●							VII -D	II-B III-A
217	子育て支援事業	人権政策課 蛍池人権まちづくりセンター	保護者同士がともに子育てを考えていく関係づくりや自主的に子育てを考える関係づくりをすすめるため、人権に視点を置いた子育て支援を行い、地域における子育てネットワークづくりと心地よい子育て環境づくりを推進しています。	事業実施回数 705 回 参加延人数 14663 人 子育て交流広場、健康づくり学習会等を実施しました。	人権の視点から、子育てを支援するとともに、人権教育の推進に貢献しました。	継続		●	●	●	●	●	●			VII -D	

第2章 各事業の進行状況

218	子育て支援事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	子どもたちが、安全・安心な居場所として児童館を利用する中で、子どもの人権を大切にしたい子育てを考える学習会や、就学前の子どもと保護者を対象にした取り組みなどを通して、子どもたちの育ちを見守るネットワークづくりを支援しています。	轟レインボークラブ入会説明会 実施回数5回 延参加人数66人 親子交流会 実施回数11回 延参加人数157人 あそびの広場 実施回数45回 延参加人数778人 施設利用・遊具貸し出し 実施回数290回 延参加人数30,374人	子どもすこやか広場においては子ども自身が選択をして居場所を作っており、生活習慣の一部としている子どもも多く見られます。生活課題や生きにくさを感じている子どもには、学校、保護者、各専門機関とも必要に応じて連携しながら継続した問題解決への支援・見守りを行っています。また児童館の取り組みへの保護者の口こみも多く、就学前の親子の利用や参加があり、センターこども園年長組への説明会も行っています。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-D	
219	豊能広域こども急病センター負担金	保健所保健医療課	豊能圏域（豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町）における休日夜間等における小児一次救急の拠点としての豊能広域こども急病センターの円滑な運営を行います。	豊能圏域における休日夜間等における小児一時救急の拠点としての豊能広域こども急病センターの円滑な運営を行いました。	小児一時救急の拠点として休日夜間に大きな役割を果たしています。また、センターの運営については経費のコストダウンに努めており、効率的で効果的な経営が行われています。	継続		●	●					VII-D	
220	妊婦教室「フレンドリーコース」	保健所健康増進課	拠点の保健センターにて1コース2回実施。育児のイメージ作りや先輩ママとの交流などを目的に保健師・助産師が従事しています。	25年度に廃止		廃止									
221	両親教室	保健所健康増進課	初妊婦とそのパートナーを対象に、沐浴実習、妊婦体験、各種サービスの紹介等を行っています。隔月に1回（土曜日の午前・午後）実施しています。 （大阪府助産師会に委託、男女共同参画推進センターと共催で実施）	実施回数 12回、参加者数 527組、1051人	初産婦とそのパートナーを対象に妊婦・育児の基礎知識を普及しました。平成28年度は参加者枠を広げ、内容を見直し、実施します。	拡充	●							VII-D	VIII-A VIII-B

第2章 各事業の進行状況

222	障害児等支援事業	保健所健康増進課	身体障害や小児慢性特定疾病などの長期療養児とその家族に対してピアサポートの場の提供や情報提供を行います。	8回開催 参加者延79人	障がい受容の促しやピアサポート、情報共有の場として事業を実施しました。今後も対象のニーズに合わせて内容等を見直していきます。	継続		●								VII-D	
223	乳幼児健康診査	保健所健康増進課	乳幼児の疾病や障害の予防や早期発見・治療につなげるなど乳幼児の健康の保持増進とその家族の不安解消や必要な支援につなげるため、乳幼児に対して健診を行います。また、職員のスキルアップを図るため従事者研修も開催します。	【集団健診】 4か月児健診受診率 96.7% 1歳6か月児健診受診率 95.7% 3歳6か月児健診受診率 91.6% 【個別健診】 乳児一般健診受診率 80.1% 乳児後期健診受診率 88.4%	健診未受診者対策により、集団健診の受診率は向上してきています。個別面接により不安や疑問の解消を行うとともに、その場で解消できない問題に対しては継続して保健指導・育児支援を行うことで、乳幼児の健康保持増進に努めています。			●								VII-D	I-A VI-A VII-A VIII-B
224	二次健診	保健所健康増進課	疾病や障害の早期発見・治療につなげるとともに、乳幼児の健全育成をめざすため、医師や心理相談員による二次健診を行います。 (にこりちゃん歯科健診、医師クリニックなど) また、乳幼児健診や二次健診の結果、精密検査が必要な乳幼児に受診票を発行し、医療機関の受診を促します。(乳幼児精密健康診査など)	にこりちゃん歯科健診受診率 45.7%、医師クリニック受診率 86.2% 療育クリニック受診率 95.9% 心理相談受診率 94.6% 紹介状発行数 延200件	乳幼児健康診査および保健師活動から二次健診につなげることで、疾病や障害の早期発見・治療につながっています。精密健康診査受診票を紹介状に変更したことで、保護者と児にとって受診しやすい医療機関の選択の幅が広がり、サービス向上につながりました。			●	●							VII-D	VI-A
225	相談(母子保健)	保健所健康増進課	妊産婦・乳幼児の保護者等の電話や来所による相談に対して、保健師・栄養士・歯科衛生士・助産師等が応じます。また、健診後に育児状況などの確認が必要と思われる対象者に対し、保健師等が電話による保健指導を行います。身体障害や小児慢性特定疾病・高度医療などの児、養育医療申請者を含む未熟児等とその家族の電話や来所による相談に保健師が応じます。	妊娠出産子育て相談窓口 相談数延11,553件	妊娠期から幼児期また身体障害等の長期療養児とその家族に対して相談に応じ、保健指導を行いました。	継続		●	●	●						VII-D	I-A VI-A

第2章 各事業の進行状況

226	訪問指導事業（母子保健）	保健所健康増進課	安心して妊娠出産を迎え育児をスタートするために妊産婦や新生児に訪問を行い、家庭の状況に合わせた必要な保健指導を行います。 （妊産婦新生児低出生体重児訪問指導等） 未熟児や身体障害児・小児慢性特定疾病や高度医療児等とその家族に対して訪問を行い、家庭の状況と障害の状況に合わせた必要な保健指導を行います。	実施回数 2481回 実人数 3957人のべ 人数 4686人	対象者に合わせての訪問での保健指導を行いました。	拡充		●	●	●						VII-D	VII-C VIII-A VIII-B
227	アレルギー講演会、専門相談	保健所健康増進課	15歳未満でぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー症状があり適切な治療を受けていない人に対して医師・保健師・栄養士が相談に応じ、正しい情報提供を行います。 （アレルギー講演会・アレルギー専門相談） 乳幼児健康診査時に、アトピー性皮膚炎・ぜん息等の家族歴、有症状児に保健指導を行います。 （アレルギー素因スクリーニング）	アレルギー講演会 4回開催 参加者数延 175人、アレルギー専門相談 12回開催 参加者数延 85人、乳幼児健康診査時の保健指導数 3,768人	15歳未満でぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー症状があり適切な治療を受けていない人に対して、相談に応じ、指導・情報提供を行いました。	継続		●	●	●						VII-D	VII-B
228	母子医療費助成事業	保健所健康増進課	国庫補助（負担）事業である小児慢性特定疾病医療費助成制度、未熟児養育医療給付事業、結核児童療育給付事業、不妊に悩む方への特定治療支援事業を実施しています。	小児慢性特定疾病医療費助成制度申請者数：419人 未熟児養育医療給付事業申請者数：85人 結核児童療育給付事業申請者数：0人 不妊に悩む方への特定治療支援事業申請者数：642人	母子医療費助成事業を実施することにより、市民負担の軽減を図り、安心してすこやかな生活のできるまちづくりに寄与しました。		●	●	●	●	●					VII-D	
229	子ども医療費助成事業	子育て給付課	子どもに対し医療費の一部を助成します。 安心して医療を受けることができる環境を整えることにより次世代を担う子どもたちの保健の向上と健やかな成長を支援する事業です。	（医療費） 件数 657,391件 助成額 1,048,020,409円 （入院時食事療養費） 件数 3,286件 助成額 11,526,470円	子どもの医療費の一部を助成することにより、子どもが必要とする医療を経済的に保障し、その健康の保持及び福祉の向上に寄与していると考えられます。	継続		●	●							VII-D	

第2章 各事業の進行状況

230	ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て給付課	ひとり親家庭等に対し医療費の一部を助成します。 ひとり親家庭等の生活の安定と児童の健全な育成を支援する事業です。	件数 81,178 件 助成額 221,848,366 円	ひとり親家庭の医療費の一部を負担することにより受診を容易にし、健康の保持増進を図り、もって福祉の増進に寄与していると考えられます。	継続		●	●	●	●	●			VII-D	
231	冷房設備設置事業	保育幼稚園室	保育環境を整備し、保育内容を充実を図るため、冷房設備未設置園に冷房設備を設置します。	25年度で完了(以降記入不要です)		完了										
232	幼稚園施設運営	保育幼稚園室	市立幼稚園の保育業務が円滑に進むよう活動を支援します。	25年度で完了(以降記入不要です)		完了										
233	子育て子育て総合支援事業	こども事業課	公立こども園において、子育てに役立つ講座を開催したり、相談を行ったり、体験入園を行ったりし幼児の健やかな成長を助け、保護者の子育ての支援を行っています。親子で体を動かして遊ぶ講座や食育講座等も行っています。	子育て子育て支援講座の実施回数は延べ50回で、親子合わせて2138人の参加がありました。講座には専門の講師によるリトミックや、ふれあい遊び、市管理栄養士による食育講座などがありました。	リトミックやふれあい遊びの講座は特に好評で、ニーズが高かったです。「家庭でできないことが体験させてもらえる」「継続して参加することでこどもの成長が見られる」などの意見がありました。	縮小	●	●	●	●	●	●		VII-D	I-C II-C VII-C	
234	放課後こどもクラブ運営	こども事業課	放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の市立小学校1年生～4年生(支援学級在籍児童及び本市に居住する支援学校在籍児童は6年生)までの児童に、遊びや学習などを通じて、自主的かつ自発的な生活態度や習慣を養うために必要な保護及び指導を行い、児童の健全育成を図ります。	平成27年5月1日の在籍数 3,243人 市内41小学校すべてで実施	放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の本市に居住する、または本市の市立小学校1年生～4年生(支援学級在籍児童及び本市に居住する支援学校在籍児童は6年生)までの児童に、遊びや学習などを通じて、自主的かつ自発的な生活態度や習慣を養うために必要な保護及び指導を行い、児童の健全育成を図りました。	継続					●			VII-D		
235	保育(医療型児童発達支援センター)	こども相談課	体に障害のあるこどもたちが地域や社会でのびのびと生活できるように支援しています。	親子通園で年齢に配慮したクラス編成を行い様々に工夫した遊びを提供し、保護者から保育士にそして友達などへと、人との関係を広げるよう保育しました。	子どもの出席が揃わない中でも工夫を重ねて、親子の関係を基本に保育士からお友達へと関係を広げることができました。	継続	●							VII-D		

第2章 各事業の進行状況

236	診察・看護・訓練 (医療型 児童発達 支援セン ター)	こども相談 課	園児、外来児(者)の健康管理。 体に障害のあるこどもの訓練。	体に障害を持つ子どもたちに対して、 医師の指示のもとに理学療法、作業療 法、言語療法等の訓練を実施しまし た。通園の時間帯以外に外来障害児 (者)の訓練をしました。	機能訓練を実施することで身 体能力を上げ、日常生活をし やすくできました。	継続		●								VII -D
237	私立幼稚 園振興助 成金	こども事業 課	1、私立幼稚園振興財団の実施する 幼児教育の向上のための事業補助 を行います。 ①特色ある幼稚園教育 ②尿・ ぎょう虫検査 ③教職員研修 ④ 園児診察料 ⑤連合会事業 2、各私立幼稚園が実施する幼児教 育の充実および子育て支援のため の事業補助を行います。 「地域に開かれた幼稚園づくり 事業」 3、各私立幼稚園で障害のある幼児 を受け入れのためにかかる費用の 補助を行います。 「障害児保育助成金」	豊中市内の私立幼稚園(22園)に対 し、補助を実施しました。	1、私立幼稚園振興財団の実施 する幼児教育の向上のための 事業補助を行いました。 ①特色ある幼稚園教育 ② 尿・ぎょう虫検査 ③教職員 研修 ④園児診察料 ⑤連合 会事業 2、各私立幼稚園が実施する幼 児教育の充実および子育て支 援のための事業補助を行いま した。 「地域に開かれた幼稚園づ くり事業」 3、各私立幼稚園で障害のある 幼児を受け入れのためにかか る費用の補助を行いました。 「障害児保育助成金」	継続		●							VII -D	
238	小学校医 療費援助	学校教育課	学校保健安全法第24条で指定する 感染症又は学習に支障を生ずるお それのある疾病で、政令で定める ものの治療のための医療に要する 費用について必要な援助を行いま す。	1983枚の医療券が使用されました。	援助を要する児童の健康促進 に努めました。	継続		●								VII -D
239	中学校医 療費援助	学校教育課	学校保健安全法第24条で指定する 感染症又は学習に支障を生ずるお それのある疾病で、政令で定める ものの治療のための医療に要する 費用について必要な援助を行いま す。	854枚の医療券が使用されました。	援助を要する生徒の健康促進 に努めました。	継続		●								VII -D

第2章 各事業の進行状況

240	図書活動	児童生徒課	児童生徒の自発活動を奨励し、個性の伸長をはかるとともに自主的で創造性に充ちた情操豊かな児童生徒を育成し、少年文化の向上をめざします。	図書ラウンジ活動を年間284回行い、楽しいつどいを89回、おはなしと折り紙を楽しむ会を3回開催し、図書活動の述べ利用人数は12,128人でした。	読書や制作を通じて、児童生徒の豊かな情操の育成に寄与することができました。	継続		●	●							VII -D	
241	子どもの居場所づくり（提案公募型委託事業）	児童生徒課	地域で子どもたちが遊び、憩い、学び、つながる場が必要とされています。このことから、地域とともに気づき、学べる場として、日曜日や長期休業中の地域における子どもたちの居場所づくりを行い、「子ども文化」をキーワードに未来に生きる子どもたちを健やかで心豊かに育んでいく場を創出・提供していきます。親子クッキング、お菓子作りの講座も実施。	休館日を除く毎週日曜日等に事前申し込み不要の図書ラウンジや卓球台開放、読み聞かせ等を行いました。また、親子クッキング、お菓子作りの講座を開催しました。	地域の子どもたちが過ごす居場所になるとともに、子どもたちを健やかで心豊かに育んでいく場を創出・提供することができました。	継続		●	●							VII -D	I-C
242	就学時健康診断	学校教育課	就学予定者の心身の状況を把握し、入学後の学校生活の円滑な実施に資するため、就学時の健康診断を実施します。	10月末から12月中旬まで7会場で計16回実施した。未受診者には市立豊中病院で未受診者検診を実施しました。	聴力・視力、歯科・耳鼻科・内科・眼科の健康診断で健康状態の確認や、入学に向けての相談を行いました。受診率は97.1%と高率でした。	継続		●								VII -D	
243	児童生徒の健康管理	学校教育課	児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、毎学年定期的に健康診断を実施します。	①児童の定期検診（内科・歯科・眼科・耳鼻科）・尿検査・心臓検診・結核検診・ぎょう虫検査を実施しました。 ②生徒の定期検診（内科・歯科・眼科・耳鼻科）・尿検査・心臓検診・結核検診を実施しました。	心臓検診では1校につき2～3回巡回し未受診者を減らすことにつながった。尿検査においては3回実施の機会をつくることで受診率の向上が図れました。	継続			●							VII -D	
244	学校災害給付（豊中市学校災害見舞金）	学校教育課	学校管理下におけるけが等に対して、豊中市学校災害見舞金の給付を行うことで、児童生徒の健康の保持増進を図ります。	学校管理下における医療総額点数が500点未満のけが事案及び障害見舞金にかかる申請に対して、豊中市学校災害見舞金の給付を行いました。	災害見舞金の給付により、保護者の負担軽減やトラブル回避にもなり、保護者の安心の一助となりました。	継続			●							VII -D	

第2章 各事業の進行状況

245	学校災害 給付（給 付金）	学校教育課	学校管理下におけるけが等に対して、（独法）日本スポーツ振興センターへの治療費等の給付手続きを行い、児童生徒の健康の保持増進を図ります。	学校管理下における医療総額点数が500点以上のけが事案にかかる医療費支払請求を受け、独立行政法人日本スポーツ振興センターへの治療費等の給付手続きを行い、センターより支払われた医療費を保護者の口座に振り込むことにより給付を行いました。	給付金の支給により、保護者の負担軽減やトラブル回避にもなり、保護者の安心の一助となりました。	継続											VII -D
246	学校配当	学校教育課	小学校および中学校の保健室で使用する医薬材料やプール薬品の配当を行い、学校の保健環境の向上を図ります。	医薬材料品については学校からの購入希望を受け、配当予算枠内で執行しました。プール薬品については、年度当初一括して購入希望数量調査を行い、市による契約・入札によって購入し、学校に配付しました。	保健室・プールをはじめ、学校の保健・体育環境の向上が図れ、児童の健康の保持増進につながりました。	継続											VII -D
247	三世代交 流事業	生涯学習課	シニア世代と子どもたち及びその保護者を含めた三世代が、自然の中で遊びながら自然について学び合います。	日帰り事業の実施（4回、参加者数：140人）	子ども世代、親世代、シニア世代が、自然の中で野外活動を通して交流しました。	廃止											VII -D
248	野外活動 事業	生涯学習課 （238に一部 移管） 青年の家い ぶき	野外活動をとおして、家族のつながりを深めたり、新しい友達との出会いや、豊中の自然やフィールドでの体験から学ぶ機会を提供します。	青少年カーニバル 市民 15人	事業実施当日は悪天候でしたが、青少年が豊かな自然環境の中で身体や五感を使う遊びなどをとおして、健康的に身近な場所にある自然に親しみ、仲間づくりの大切さを学んでもらえる機会となりました。	継続											VII -D
249	青少年自 然の家施 設運営管 理	生涯学習課	市内の青少年を対象に、自然とのふれあい、人とのふれあいを通じて、自主性、協調性、創造性を養い、友情を培う場とします。（指定管理者に委託実施）	小学生を対象にしたキャンピングスクール、ジュニアサマーキャンプ、施設の貸し出しなどを行いました。 利用団体数：288 利用者数：15,643 主催事業数：18	施設整備による休所期間などの影響により、利用者は減りましたが、開所日の利用率は上がっています。	継続											VII -D
250	青年の家 いぶき主 催事業	生涯学習課 （青年の家 いぶき）	青少年に学習機会や主体的な活動の場を提供します。	夏休みの自習室開放や高校生以上のバンド活動、練習成果の発表の機会などを提供しました。延べ参加者 3,569人	バンド活動に参加するメンバーが自分たちでライブの企画運営を行うことで、さまざまな課題を解決していくことから学ぶ機会などを提供することができました。	継続											VII -D

第2章 各事業の進行状況

251	次世代育成講座	中央公民館	子育て・子育て親育ち事業や世代間交流事業など次世代育成に係る講座や講演会を実施します。	「友だちつくろう おやこでフラダンス」等の子育ち・子育て親育ち事業を4公民館で54講座110回実施し、3,032人が参加しました。	昨年に引き続き、父親が参加しやすい講座日時の設定や、関係部局と連携した講座等の取り組みも行っております。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-D
252	子どもをとりまく読書環境整備の取り組み	読書振興課	図書館職員による読み聞かせと保健師によるお話や育児相談を行う「すくすくあかちゃんタイム」や図書館職員による読み聞かせと歯科衛生士による子どもの歯の健康に関するお話を行う「食育コラボ～みんなでは・は・は」など、子どもの体や健康に関する事業を実施。「みんなでは・は・は」は成人向けにも実施し、歯科衛生士による口腔機能の講座と、図書館職員による関連本の紹介・展示を行っています。	「すくすくあかちゃんタイム」は8館で実施。「食育コラボ～みんなでは・は・は」は乳幼児向けを5館・成人向けを2館で実施。	「すくすくあかちゃんタイム」「食育コラボ～みんなでは・は・は」ともに健康に関する講座だけではなく、個別に質問・相談できるとアンケートで好評でした。	継続		●		●	●	●	VII-D	
253	ブックスタート事業「えほんはじめまして」	読書振興課	4か月児健診において対象者一人一人に言葉かけをして絵本を手渡し、家庭ですぐに絵本を開いて保護者と赤ちゃんが楽しみながらゆったりとしたコミュニケーションの時間を持てるきっかけとしています。また乳幼児と気軽に利用してもらえる施設として、近隣の図書館や子ども文庫などを案内。ボランティア、図書館、健康増進課の三者が連携することで、地域で子育てを支援していることを伝える機会ともなっています。	3会場で48回実施。未受診者へは保健師の家庭訪問や絵本の引換券を通じて対応し、合計3694人に実施。ボランティアを含めスタッフ間の研修や情報共有のためのスタッフミーティングは年3回実施し、事業に対する共通の理解を深める機会としました。	健診時に、市民ボランティアスタッフの協力のもと、赤ちゃんと一緒に絵本を開く時間の楽しさを保護者に体験してもらうことで、地域で子育てを応援しているというメッセージを伝える機会となっています。未受診家庭に対しても保健師によって絵本が届けられています。今後はより細やかな対応や事業の改善をめざし、スタッフ間の情報共有とともに、新たな担い手としての新規スタッフの確保が課題となっています。	継続	●					VII-D		

第2章 各事業の進行状況

254	ボランティアセンター事業	豊中市社会福祉協議会	1歳6か月児健康診査時の対象児兄弟姉妹への対応のためのボランティア活動の調整やボランティア体験プログラム等の継続により、ボランティア育成にも努めています。	ニーズ受付件数…295件 ボランティア体験プログラム…111名 延べ149名	様々なニーズに応えることだけでなく、ボランティア入門講座や体験プログラムを行うことで、ボランティアへの理解、育成しています。市民がボランティア活動に参加することで、自身の健康増進につながっています。										VII-D	VII-F
255	感染症予防事業	保健所保健予防課	(普及啓発) HIVなどの性感染症やその他の感染症などについて、予防や治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。 (検査・相談) エイズなどの予防・啓発・症状・感染・治療・療養生活について、医師・保健師が相談に応じ、検査を実施しています。 (発生時対応) 感染症発生時、患者や接触者の状況を把握し、感染拡大を防ぐための対応を行います。	HIV/AIDS啓発：3963件、健康教育：7回 1963人参加 電話相談：245人 HIV即日抗体検査：年18回 受験者266人 感染症啓発事業：健康教育：16回 665人参加 風しん抗体検査（月2回実施）：344人	HIV/AIDSについては、検査の勧奨を年間を通して行いました。成人の日には、母子保健係と協力しコンドームなどの配布を行いました。また、駅頭啓発も実施しました。 ノロウイルス感染症などの相談対応では、施設や保育所などへの訪問を行いました。 医療機関と連携し、感染症発生時の対応について保健所内で訓練を実施しました。	継続									VII-E	
256	結核予防事業	保健所保健予防課	(普及啓発) 結核の予防ならびに結核の早期発見と治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。 (患者支援) 結核患者等に医療費公費負担の申請、療養相談、日常生活について医師や保健師などが相談に応じます。家族・接触者への健診を行うことで結核のまん延防止に努めます。	啓発事業：6回 453人参加 家族・接触者健診：家族144人、接触者297人 患者療養支援：電話・面接・訪問1848件	結核患者は高齢者が多いため、高齢者に接する関係者に対して結核についての啓発を行いました。また、診断が遅れて感染拡大しないよう医療機関向けにもチラシでの啓発や医師会に研修会を実施しました。	継続									VII-E	
257	思春期教育	保健所健康増進課	主に中学3年生等を対象に、性感染症や予期せぬ妊娠などをテーマにお話します。	中学校6校で実施 延949人	今後も地域や学校の特性に応じて内容を検討し実施していきます。	継続									VII-E	
258	急性灰白髄炎（ポリオ）予防接種	保健所健康増進課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種の実施。	接種者数 1回目31人・2回目84人・3回目154人・追加539人 合計808人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続									VII-E	

第2章 各事業の進行状況

259	日本脳炎 予防接種	保健所健康 増進課	感染症の発症及び蔓延を予防する ための予防接種の実施。	接種者数 1回目 4,048人・2回目 3,949人・3回目 3,436人・ Ⅱ期 2,142人 合計 13,575人 第	感染症の発症及び蔓延を予防 できました。	継続		●	●								VII -E
260	インフル エンザ予 防接種	保健所健康 増進課	感染症の発症及び蔓延を予防する ための予防接種の実施。	接種者数 46,560人	感染症の発症及び蔓延を予防 できました。	継続										●	VII -E
261	ジフテリ ア・破傷 風予防接 種	保健所健康 増進課	感染症の発症及び蔓延を予防する ための予防接種の実施。	接種者数 2,775人	感染症の発症及び蔓延を予防 できました。	継続			●								VII -E
262	ジフテリ ア・百日 せき・破 傷風予防 接種	保健所健康 増進課	感染症の発症及び蔓延を予防する ための予防接種の実施。	接種者数 1回目 1人・2回目 4人・3 回目 11人・追加 116人 合 計 132人	感染症の発症及び蔓延を予防 できました。	継続		●	●								VII -E
263	麻しん及 び風しん 予防接種	保健所健康 増進課	感染症の発症及び蔓延を予防する ための予防接種の実施。	接種者数 第1期 3,680人 第2期 3,447人 第3期 1人 合計 7,128人	感染症の発症及び蔓延を予防 できました。	継続		●									VII -E
264	結核 (BCG) 予防接種	保健所健康 増進課	感染症の発症及び蔓延を予防する ための予防接種の実施。	接種者数 3,719人	感染症の発症及び蔓延を予防 できました。	継続		●									VII -E
265	予防接種 関連事業	保健所健康 増進課	予防接種事業を円滑に遂行するた め啓発活動などを行います。	市広報誌、ホームページ、案内チラシ などで啓発活動を実施しました。	市民に対し、予防接種を円滑 に遂行するため啓発活動を実 施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●		VII -E
266	子宮頸が ん予防接 種	保健所健康 増進課	感染症の発症及び蔓延を予防する ための予防接種の実施。	接種数 初回 21人・2回目 20人・3回 目 19人 合計 60人	積極的勧奨には至っていません。	継続			●	●							VII -E

第2章 各事業の進行状況

267	インフルエンザ菌B型（ヒブ）予防接種	保健所健康増進課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種の実施。	接種者数 1回目 3,742人・2回目 3,718人・3回目 3,708人・追加 3,721人 合計 14,889人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●									VII-E
268	小児用肺炎球菌予防接種	保健所健康増進課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種の実施。	接種者数 1回目 3,761人・2回目 3,741人・3回目 3,745人・追加 3,649人 合計 14,896人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●									VII-E
269	ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎（ポリオ）・破傷風予防接種	保健所健康増進課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種の実施。	接種者数 1回目 5,750人・2回目 3,802人・3回目 3,783人・追加 3,693人 合計 15,028人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●	●								VII-E
270	風しん予防接種費用助成事業	保健所保健予防課	赤ちゃんの先天性風しん症候群予防のため、風しん予防接種の費用助成を行います。	平成26年度助成者数 323名	赤ちゃんの先天性風しん症候群を予防することができました。	継続				●	●	●					VII-E
271	健康被害補償	保健所健康増進課	定期予防接種による健康被害救済事業	定期予防接種による健康被害が生じた方に医療費や障害年金など、健康被害補償を実施した。	定期予防接種による健康被害が生じた方に適切に健康被害補償を行うことができました。	継続		●	●	●					●		VII-E
272	水痘予防接種	保健所健康増進課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種の実施。	接種数 1回目 3,822人・2回目 3,645人 合計 7,467人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●									VII-E
273	高齢者の肺炎球菌予防接種	保健所健康増進課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種の実施。	接種数 8,459人	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続									●		VII-E

第2章 各事業の進行状況

274	青少年自主活動支援事業	人権政策課 蛭池人権まちづくりセンター	青少年の自主活動を支援するとともに青少年リーダーを養成する中で、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図っています。	事業実施回数 364 回 参加延人数 4261 人 青年リーダー研修や学習クラブ等の事業を実施しました。	事業を通して、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	VII -F
275	青少年自主活動支援事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	小・中学生の学習習慣づくりと自学自習力の向上を支援しています。また、児童館事業での子どもとの関わりを通して、人権・同和問題を共に考える青少年リーダーを養成しています。	ボランティアリーダー 実施回数 49 回 延参加人数 49 人 インターンシップ・教育実習 実施回数 41 回 延参加人数 105 人 青少年指導者養成講座 実施回数 3 回 延参加人数 43 人 はなまるまなびのひろば 実施回数 35 回 延参加人数 151 人 学習クラブ 実施回数 96 回 延参加人数 504 人	講師や職員間の中で、誰が何に弱いのか、どんな手を差し伸べられるのかを確認し合えることにより、子どものやる気や集中力が高まっています。また、青少年リーダーとして役割を担ってもらうことで、人と人との関わり大切さを知る機会となっています。また、障害のある子どもたちも参加できる場となっています。	継続		●	●	●	●	●	●	VII -F	
276	地域交流活動促進事業	人権政策課 蛭池人権まちづくりセンター	さまざまな交流事業を通して、青少年の豊かな育ちを支援するとともに、地域での青少年や保護者の自主的な活動を支援し豊かな人間関係づくりを促進しています。	事業実施回数 144 回 参加延人数 4389 回 高齢者との交流や蛭池小学校・第十八中学校との交流事業を行いました。	事業を通して、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII -F	
277	地域交流活動促進事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	地域の団体や関係機関などと連携しながら、多くの子どもたちや保護者などが参加する交流事業を実施しています。また、この取り組みを通して、地域で活動するさまざまな世代の人や団体などとの交流を深め、子どもを取り巻く環境づくりの支援を行っています。	ふれ愛ネット関係 実施回数 9 回 延参加人数 780 人夏まつり関係 実施回数 5 回 延参加人数 902 人 人権まちづくりフェスタ関係 実施回数 5 回 延参加人数 480 人おはなし会 実施回数 3 回 延参加人数 37 人 自主サークル関係 実施回数 56 回 延参加人数 420 人世代間交流活動 実施回数 2 回 延参加人数 9 人 保育教育協議会関係 実施回数 6 回 延参加人数 85 人保小中連絡会 実施回数 6 回 延参加人数 27 人	地域の人が集う行事や活動に子どもたちが参加することにより、社会的な経験を豊かにしていく機会となっています。また、子どもの思いや生活状況に即した課題や問題について、小中学校との連絡会やふれ愛ネットの見守り等によりタイムリーな解決や対応ができる体制へと取り組みが進んでいます。	継続		●	●	●	●	●	●	VII -F	
278	情報収集・提供等事業	人権政策課 蛭池人権まちづくりセンター	青少年の健全育成や子育てに関する今日的課題について情報収集し、地域における青少年や保護者の自主的な活動を促進する学習情報や人権に関する情報を発信しています。	事業実施回数 12 回 参加延人数 138 人 児童館だよりの発行(91 回 7,962 枚)、事業実施案内の提供、関係機関との意見交換を行いました。	人権意識の高揚と差別や偏見のないまちづくりの推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII -F	

第2章 各事業の進行状況

279	情報収集・提供等事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	児童館事業などの広報をはじめ、自主的活動を促進する学習情報、人権・教育・子育て・子どもなどに関する情報を収集・発信しています。また、人権に関する学習機会の提供を行っています。	小中学校地域学習 実施回数4回 延参加人数218人 じどうかんだより発行 発行回数11回 発行部数25,110部	情報提供により児童館事業に対する市民の認知度が向上しています。また、小中学校における地域学習等により、子どもたちの生きる力や人を大切にする心を育む機会となっています。	継続												VII -F
280	生涯学習事業	人権政策課 蛭池人権まちづくりセンター	幅広く文化活動を行うことにより、地域で一貫した生涯学習機能の充実を図っています。	事業回数331回 参加延人数4959人 識字教室や現代的課題講演会、登録サークルの育成と支援を図りました。	人権意識の高揚と差別や偏見のないまちづくりの推進を図ることができました。	継続												VII -F
281	生涯学習事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	人権を大切にする豊かな人間関係と文化創造をめざした生涯学習活動を支援する事業を行っています。	識字教室 実施回数32回 延参加人数335人 サークル育成関係 実施回数1,018回 延参加人数11,880人 人権文化まちづくり講座 実施回数7回 延参加人数241人 人権パネル展 実施回数6回 延参加人数2,321人 地域体験学習支援 実施回数4回 延参加人数72人	生涯学習活動への支援を通じて、差別や偏見のない一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりをめざして、今後も継続して取り組んでいきます。	継続												VII -F
282	地域交流事業	人権政策課 蛭池人権まちづくりセンター	人権を軸とした地域交流の推進と人権文化のまちづくりを地域に寝付かせるため、地域の関係団体・機関と連携し、人権同和問題解決に向けた情報発信をすすめています。	事業回数21回 参加延人数6748人 蛭池納涼祭やまちづくりコンサートを行い、人権文化のまちづくりの推進を図りました。	地域の関係諸団体と協働して事業を行うことにより、人権意識の高揚と差別や偏見のない人権尊重のまちづくりの推進を図ることができました。	継続												VII -F
283	地域交流事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	様々な地域の交流事業を促進し、共に生きる地域社会の実現を地域の機関・団体等と協働して進めています。	夏まつり関係 実施回数6回 延参加人数1,118人 人権まちづくりフェスタ関係 実施回数10回 延参加人数713人 世代間交流事業 実施回数9回 延参加人数358人 克明ささえあいネット活動 実施回数11回 延参加人数178人	今後も、多くの関係団体と協働し、人権尊重のまちづくりをめざし継続して取り組んでいきます。	継続												VII -F

第2章 各事業の進行状況

284	健康福祉サービス苦情調整委員会	地域福祉課	健康福祉サービス受給にかかる市民等から苦情や相談を受け、調整を行います。	健康福祉サービスの苦情調整を行いました。 苦情相談件数：46件	利用者の権利擁護、利用者本位のサービス選択、利用者支援に貢献しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -F
285	被爆者援護事業	地域福祉課	被爆者に対する健康相談等の相談事業を実施しながら会員の福祉向上を図るとともに、被爆体験の伝承を通じて、核兵器と戦争のない平和な社会の実現をめざします。	被爆伝承活動は小学校等からの依頼により年間13回開催しました。被爆者相談対応件数は、年間のべ448件でした。	原爆に関する各種行事や相談支援活動および伝承活動を積極的に行っており、成果は高いです。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -F
286	献血推進事業	地域福祉課	献血普及のための啓発、献血の計画および実施、献血広報活動、地域献血組織の育成等を行います。	市内の各地域において、献血推進協議会（豊中市社会福祉協議会に設置）主催の献血事業を82回実施し、2,592人が献血に参加しました。	献血者数の減少がみられるため、より積極的な広報・啓発が必要だと考えられます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -F
287	社会福祉協議会事業補助	地域福祉課	社会福祉協議会に対して事業補助を行います。	社会福祉協議会の対象事業に対して補助金を交付しました。 CSW配置事業支援相談件数：1,204件	補助対象事業に対し、十分な成果が出ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -F
288	地域活動支援センター事業	障害福祉課	・活動支援型：創作的活動、生産活動、社会との交流促進、食事・入浴等の日常生活における便宜の供与、機能訓練・社会適応訓練等。 ・相談支援型：創作的活動、生産活動、社会との交流促進、福祉サービス・社会資源を活用するための支援、施設や病院から地域に戻るための支援、ピアカウンセリング、権利擁護のための援助、自立支援協議会の運営、障害当事者活動の育成、地域住民ボランティアの育成、啓発活動等。 (地域活動支援センタークム、サポートセンターる〜ぶに委託)	活動支援型：延べ229人 相談支援型：延べ10,549人	障害者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な便宜の供与を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -F

第2章 各事業の進行状況

289	街かどデイハウス事業運営補助	高齢者支援課	要支援・要介護認定を受けていない高齢者に介護予防サービスを提供する住民参加型非営利団体等に対し、運営費補助等の補助金を交付します。(事業内容:健康チェック、健康体操、筋力トレーニング等の介護予防活動、給食、レクリエーション等の日常生活向上に資する事業)	延利用人数:13795人 延利用時間数:75460時間	新しい講座の開催もあり、各街かどデイハウスで工夫を凝らして意欲的に活動しています。	継続													VII-F	
290	高齢者虐待防止ネットワーク会議	高齢者支援課	ライフセーフティネット総合調整会議の高齢部会を「高齢者虐待防止ネットワーク会議」として位置づけ、関係機関の連携を図ります。	ライフセーフティネット総合調整会議開催回数:1回	関係機関で意識的に、また計画的に高齢者7虐待防止に取り組み、ライフセーフティネット総合調整会議を開催しました。	継続													VII-F	
291	地域保健等諸活動団体支援事業	保健所保健医療課	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会、豊中精神保健福祉協議会、豊中公衆衛生協力が地域のために行う保健・医療・福祉の連携、健康教育、健康情報の発信、会員の資質向上等の活動に係る経費の一部を補助します。	左記団体が地域のために行う保健・医療・福祉の連携、健康教育、健康情報の発信、会員の資質向上等の活動に係る経費の一部について補助を行いました。 【補助実績】 豊中市医師会(7,071千円)、豊中市歯科医師会(2,992千円)、豊中市薬剤師会(1,109千円)、豊中精神保健福祉協議会(151千円)、豊中公衆衛生協力が(151千円)	各種団体による活動内容の継続及び充実が図れました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●				VII-F	
292	保健医療審議会	保健所保健医療課	市長の諮問に応じて豊中市の保健医療についての総合的な施策その他の重要事項について調査審議し、意見を答申することを目的に設置。行政職員を含め学識経験者、市民委員などで構成されています。	2回開催。 保健所の事務概要や取り組み報告しました。また、豊中市における健康づくりの進め方についてご意見をいただきました。	保健所で実施している事業や27年度のトピックスについて、市民の方や団体の方に知っていただく機会となりました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●				VII-F	
293	お薬講座	保健所保健医療課	お薬講座や地域での出前講座等を通じ、市民に薬の正しい知識の普及を図ります。	・お薬講座や講習会、出前講座を開催しました。(13回、延べ598人参加) ・薬と健康の週間で街頭キャンペーンを実施しました。(延べ383人参加)	・出前講座では様々な世代の方を対象に、薬の正しい使い方について、伝達できました。 ・お薬講座では講演テーマを決め、掘り下げた内容の講演ができました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●				VII-F	

第2章 各事業の進行状況

294	難病事業 (地域ケアシステムの構築)	保健所保健 予防課	医療・保健・福祉等の関係機関と、連携会議や、研修会を通して、機関相互の連携を深め、難病患者支援システムの質の向上に努めます。	・北部地域の保健所(池田・吹田・豊中市)で北部地域神経難病医療ネットワーク会議等を2回開催。・医療機関との連携会議(市立豊中病院、神経内科クリニック、阪大病院等)、関係機関向け研修会2回開催。	ネットワーク会議や医療機関との連携会議では円滑な連携方法等について検討しました。関係機関研修会では、難病に関する知識、技術等の普及に努め難病支援水準の向上につながりました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -F	
295	休日等急病診療事業	保健所健康 増進課	(一財)豊中市医療保健センターに事業委託し、市立庄内保健センターにおいて、医療機関の体制が不十分である日曜日、祝日、休日、夏期(8月14日・15日)及び年末年始における内科、小児科、歯科の急病患者を受入れます。	庄内保健センターにおいて、延べ診療日数74日、延べ患者数2,135人の診療を行いました。	医療機関の体制が不十分な休日等に診療を行うことにより、市民の健康の保持に寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII -F	
296	健康づくり推進員会事業	保健所健康 増進課	市が行う保健福祉等に関する事業を市民の立場から普及啓発を行います。	・健康づくり推進員会：校区数22校区、推進員数151人 ・市民健康づくりフォーラムの実施：参加人数121人 ・校区健康教室：50回、参加者数1,629人 ・校区健康づくりサポート事業：77回、参加者数12,002人 ・催しでの健康啓発ブースの出展：ふれあい緑地フェスタ、豊中まつり、体育の日イベント	市民の自主的な団体として、市民の健康づくりの推進と保健福祉の向上を目的に活動。小学校区単位に健康づくり推進員及び代表者を配し、保健行政と地域との連携の役割を担いました。フォーラムなどの講演会の開催や各種催しに健康啓発ブースを出展。校区において健康教室の実施また健診受診勧奨チラシなどを配布し、市民への健康づくりに対する啓発活動を行いました。	継続				●	●	●	●	VII -F	I-C II-C III-C VI-C	
297	子育てつどいの広場事業	こども相談 課	乳幼児とその親が集う場の提供や育児相談を実施します。	26年度に完了(以降記入不要です)		完了	●	●		●	●	●		VII -F		

第2章 各事業の進行状況

298	子育て支援センターほっぺ事業	こども相談課	地域の子育て支援センターを統括する中核的な施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て・子育て情報の受発信や相談、子育て講座、地域の子育てを支援する人材の育成等を行ない、さまざまな子育て・子育て支援活動をサポートします。食育講座なども行っています。	子育て相談 2,145件 ほっぺ講座（食育を含む） 14回	プレイルームを利用される父親の姿が徐々に増えている様子から、父親向けの講座を日曜日に実施しました。参加者はそれほど多くなかったが、ほとんどの方が参加して良かったという感想でした。	継続		●	●							VII -F	I-C II-C VIII-A
299	地域子育て支援センター事業	こども相談課	地域の子育て支援の拠点施設として市内16か所（てしま幼稚園内含む）において、子育て相談、情報提供、講座の開催、サークルの育成、あそびや交流の場の提供を行います。子育て関係機関・団体と連携のもと地域の子育てネットワークづくりに取り組みます。食育講座やはみがき指導も行っています。	子育て相談 13,068件 センター講座（食育を含む） 150回	子育て相談の内容から各センターで講座を計画し開催しました。講師からの話や、参加者同志のおしゃべり会をとおして、具体的な関わり方を知ったり、子育てに悩んでいるのは自分だけじゃないとホットされています。	継続		●	●							VII -F	I-C II-C VI-B VIII-A
300	寄り添い型学習支援事業	児童生徒課	青少年の社会的自立に向けて、高校進学・卒業等への支援を行います。生活自立支援の一環として軽運動やクッキング等を実施しています。	平成27年度から「生活困窮者自立支援法」の趣旨に基づく、経済的等の困難を抱える中学生に対しての自学自習力をはぐくむ提供の場所に変更。	-	廃止				●	●					VII -F	I-C II-A
301	修学旅行等付添看護師派遣事業	学校教育課	修学旅行等泊を伴う行事において、付添看護師派遣の助成事業を行い、子どもの健康管理及びけが・疾病への対応を行うことにより児童生徒の安全を確保します。	派遣要望のあった小中学校56校に対し、延べ59人の付添看護師への謝礼金及び旅費の執行により助成事業を行いました。	宿泊行事中の児童生徒全体の健康管理及び配慮を要する子どもへの適切な対応が行われました。	継続				●						VII -F	
302	各種負担金・補助金（保健振興費）	学校教育課	豊中市学校保健会総会・専門委員会研修会・豊中市中学校体育連盟の充実発展に向け、開催・指導調整を行います。	各補助金交付要綱に基づき、豊中市学校保健会に対しては研修会及び啓発・活動関係経費として、豊中市中学校体育連盟に対しては総合体育大会・種目別大会運営費としてそれぞれ補助金交付を行いました。	それぞれの独自性・専門性を生かした事業・活動を展開でき、保健会では今日的課題に応じた研修会の実施、中体連では各大会の充実につながり活性化が図れました。	継続				●	●	●	●	●		VII -F	

第2章 各事業の進行状況

303	小中学校 環境衛生	学校教育課	小学校および中学校の環境衛生の向上を図るため、各種学校環境衛生検査を実施し、適切な環境の維持に努めます。	学校環境衛生基準に基づき、飲料水・貯水槽外観検査・プール水質検査・教室の照度及び空気検査を学校薬剤師により実施しました。	学校薬剤師の指導助言のもと、各種の検査を実施することにより適切な環境を維持することができ、学校の安心安全につながりました。	継続											VII -F	
304	遊びのボランティア紹介事業	生涯学習課	竹とんぼや飛行機づくり、手芸やけん玉など、昔ながらの遊びを含め、様々な遊びの技能を持った市民や団体を登録し、派遣を希望することも会、学校、PTA、児童会などの団体に紹介します。	登録団体数：19団体 実施回数：138回 ボランティア内容：人形劇、マジパルーン、マジック、こま回し、リコーダー、弟子将遊び、けん玉、玉すだれなど	10,000人を超える子どもたちが、伝承遊びやマジックなどの魅力を満喫し、情操教育の機会を得たものと評価できます。	継続											VII -F	
305	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	豊中市社会福祉協議会	制度の狭間を担う専門職として、介護保険の生活圏域ごとに2名ずつ配置。福祉なんでも相談のバックアップや、地域福祉ネットワーク会議の開催などに取り組んでいます。	なんでも相談窓口相談件数…537件 CSW支援相談件数…1,204件 延べ対応件数…4,855件 地域福祉ネットワーク会議…14回 延べ1,229参加	地域福祉ネットワーク会議では各圏域にある高齢、障害、児童などの施設が施設同士、また地域との関わりを持てるように支援します。												VII -F	III -C、V -C
306	地域福祉活動支援センター事業	豊中市社会福祉協議会	市立のデイサービスセンター内に設置された地域福祉活動支援センターにおいて、ボランティアに関する講座などを実施。また、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、さまざまな福祉相談に応じています。	延べ来場者数…14,583名 講座開催…24回 延べ361名参加 作品展開催…24回 延べ3,705名来場 車イス貸出し…50件	様々な講座や展示を行うことで地域の人たちの交流の場の提供をしています。また、相談に応じることで不安の解消につながっています。												VII -F	
VIII) 子育て・子育て																		

第2章 各事業の進行状況

307	両親教室	人権政策課	(一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 赤ちゃんの入浴、着替えなどを体験することを通して父親が子育てに参加することの大切さを理解してもらい、父親の子育て参加を図ります。(保健予防課との共催事業)	両親教室：年間6回実施し、延527組が参加した。「働く女性のちょっと相談」ブースを設けて、初妊婦の就労継続などの相談を受けた。	父親となる男性が赤ちゃんの沐浴や着替え体験などを通じて、新生児の育児について理解を深め、子育て参加を促した。	継続	●								VIII-A	VIII-B
308	男女共同参画計画の推進	人権政策課	第2次男女共同参画計画に掲げる事業の進行管理を行います。ワーク・ライフ・バランスを推進する一環として、育児に関する制度等の情報提供を行います。	ワーク・ライフ・バランスについて、出前講座講師を派遣して研修を行い、できることから働き方を変えてみるなどの提案など、身近な啓発を行いました。また、男女共同参画推進センターすてっぷにおいても、男性の育児参加や介護参加についての講座等が実施されました。	ワーク・ライフ・バランスや男性にとっての育児参加が一般的なこととして広がるための啓発活動を実施できました。今後も継続して、様々な機会に取り組んでいきます。	継続					●	●	●		VIII-A	
309	人権ケースワーク事業	人権政策課	地域のセーフティネットとしての身近な相談体制の充実を図るため、身近な人権相談に対する適切な助言ならびに情報提供や事案に応じた適切な機関の紹介、取次、人権侵害の実態把握を行っています。	毎週月・水・金 9時～12時、13時～17時 第2・第4木 13時～15時 相談窓口を開設。 延べ相談件数 78件	継続的な啓発への取り組みとなった。	継続	●	●	●	●	●	●	●		VIII-A	
310	ファミリー・サポート・センター事業	こども政策課	子育てをしているすべての家庭を支援するため子育ての援助が必要な人と子育ての援助ができる人とを結びつける会員制の育児支援ネットワーク。 親のリフレッシュ目的での利用などもあり、親の心の健康にも繋がっています。	・会員数 2067人 (内訳) 依頼会員 1567人 援助会員 381人 両方会員 119人 ・活動回数 4084回	活動回数は前年度の3575回から増加し、会員数も前年度の1888人(内訳：依頼会員1428人、援助会員359人、両方会員101人)から増加しており、育児支援のネットワークは広がってきています。	継続					●	●	●		VIII-A	III-C

第2章 各事業の進行状況

311	子育て短期支援事業	こども相談課	保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について一週間以内や日帰りで施設に受け入れます。	ショートステイ延べ 180日（日数×児童） トワイライト延べ4日	保護者の疾病や仕事、冠婚葬祭、レスパイトケアについての利用がありました。母の出産時に上のお子さんを預かったり母子家庭の母が仕事出張時の利用等困った時に、安心して預けられる制度として役立っています。しかし、施設の定員に空きがなかったり病気の流行等により利用できないことがあることが課題です。	継続		●	●	●18歳未満			VIII-A	
312	育児支援家庭訪問事業 こんには赤ちゃん事業	こども相談課	児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭を訪問して育児に関する相談や助言等の支援を行います。生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握に努め相談や助言等の支援を行います。	育児支援家庭訪問 47件 75回 こんには赤ちゃん訪問 対象家庭数 3,687件	こんには赤ちゃん訪問時において子育て支援の情報提供を行い、子育て支援センター、子育てサロン等への利用につなげました。保健センターとの連携を図りながら、保護者の子育て不安の軽減に努めました。	継続	●	●		●	●	●	VIII-A	
313	保育・療育（福祉型児童発達支援センター）	こども相談課	成長発達に何らかの課題をもつ子どもに、それぞれの育ちに応じた保育・療育を行います。園庭を開放し、地域の親子と関わることで地域の子育て支援につなげています。成長・発達に関して電話相談や外来相談を行っています。	年齢別の小集団クラスの中で、子ども1人ひとりの発達や特性に応じた療育を行っています。生活や遊びを通して、保護者や担任、友だちとの関わりを大切にしています。 療育相談：20件 保護者教室 4回 園庭開放：45組 電話相談：32件 外来相談：8件	日々の療育や療育相談の中で、多職種、専門職が連携をしながら関わり、子どもの発達支援や保護者支援に繋がりました。保護者教室を通して情報提供や保護者の子ども理解に繋がりを、また、利用しやすい園庭開放の参加から、子育て相談などに繋がる場合もあります。	継続		●				VIII-A	VII-D	

第2章 各事業の進行状況

314	障害者虐待防止対策支援	障害福祉課	障害者虐待防止センターにて、養護者、福祉施設従事者、使用者による虐待に関する相談や通報の受付、啓発活動を行います。地域における関係機関等の協力体制を図り、障害者虐待の未然防止、早期発見、養護者支援など、迅速な対応やその後の適切な支援を行います。	通報：20件 届出：2件 相談：16件 合計：38件	地域の様々な支援機関と連携し、障害者虐待の未然防止、早期発見、迅速な対応やその後の適切な支援を実施しました。	継続										VIII-B	VII-A	
315	児童虐待相談事業	こども相談課	児童虐待の通告及び相談の受理、調査、支援の実施。	児童虐待相談対応件数（人）が363人となり、前年よりも増加している。	児童虐待の早期発見・早期対応を実施することで、被虐待児童の重症化を防ぎ、虐待対応件数の増加に歯止めをかける役割を果たしました。	継続				●	●	●	●	●	●		VIII-B	
316	児童虐待防止ネットワーク事業	こども相談課	児童虐待予防・発見・早期支援のための関係機関の連携・協力体制の確立。	代表者会議1回、実務者会議14回（運営会議を踏む）、ケース会議75回実施	被虐待児童の援助内容の進行管理の徹底など児童虐待の防止対策を講じることで、被虐待児童の重症化や対応件数の増加の抑制に効果がありました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●		VIII-B	
317	こどもの健康管理	こども事業課	児童の健康増進、園内の保健環境の向上を図るよう努めています。保護者への啓発も行っています。	内科検診・歯科検診・眼科検診・耳鼻科検診や尿検査、蟻虫検査等を行い、児童の健康増進に努めました。また照度検査、水質検査等を行い園内の保健環境の向上を図るよう努めました。	保護者に対しては機会をとらえて「保健だより」等を通じてこどもの健康にかかわる事柄について、情報発信することができました。学校保健安全法施行規則の一部改正に伴い、28年度以降は蟻虫検査が廃止となります。	継続				●							VIII-B	VI-B VII-D
318	教育相談・支援事業	人権政策課 蛍池人権まちづくりセンター	青少年の教育などに関する相談を行うとともに、学校や関係機関とのネットワークづくりをすすめ、青少年や家庭を支援しています。	事業実施回数208回 参加延人数647人 育児不安を取り除くための子育て相談や家庭教育相談を実施し、こども園との連携を強化しました。	地域の関係機関と連携した相談ネットワーク化の推進に貢献できました。	継続				●	●	●	●	●	●		VIII-C	
319	教育相談・支援事業	人権政策課 豊中人権まちづくりセンター	子ども、保護者からの子育てや教育等に関する相談事業を実施しています。また、地域の関係機関等と連絡して支援を行っています。	延べ相談件数163回	保護者や子どもたちからの継続的な相談ケースも多く、相談者の話をじっくり聴くことで信頼関係の構築につながりました。	継続				●	●	●	●	●	●		VIII-C	

第2章 各事業の進行状況

320	子育て心の悩み相談事業	こども相談課	子育ての悩みや不安、子どもの心身の発達に関する相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行います。	相談人数 358 人、延べ 1809 件	子育ての悩みや不安、乳児院の心身の発達についての相談を受け、保護者自身らが課題に向き合っていけるように援助。この相談事業から児童虐待が発覚したケースもあり、虐待予防の役割も担っています。	継続											VIII-C	
321	民間保育所運営助成	こども事業課	地域の子育て支援の為の事業補助を行います。	32 か所の民間保育所に対し、世代間交流事業や育児講座等に必要な補助を行いました。	補助を行った民間保育所数が昨年度と同様の 32 か所で、地域子育て支援活動実施保育所数を維持できました。	継続											VIII-C	
322	キッズフェスタ	こども事業課	子育て支援の一環として、関係機関と連携し、子育てに係る情報を提供するとともに、親子でふれあい、遊ぶ機会を提供しています。	豊中こども財団が主体として事業を進め、「キッズフェスタ 2015～親子で遊ぼう!みんなつながろう」のテーマで金管五重奏とピアノに親しみ、音楽に合わせて歌い、踊り、絵本の朗読を聞くなど、親子で楽しみました（参加者数 823 人）。	26 年度までは公私立幼稚園が協力し事業を進めてきましたが、公立幼稚園のこども園化に伴い、27 年度からは豊中こども財団が主体として事業を進め、市が補助金を交付する形をとるようになりました。	継続											その他	
323	子育て支援ネットワーク事業	豊中市社会福祉協議会	市内の子育てサークルの情報を一元化した「子育てサークルマップ」の発行や、子育てサークル同士のミーティングの実施、校区福祉委員会による子育てサロンを開催しています。	子育てサークルマップ 6, 000 部発行 わいわい子育てミーティング開催	サークルマップを見た市民から多くの問合せがあります。子育てサロンでは、悩みごとの相談やママ同士のつながりや情報交換の場としても役立っています。	継続											VIII-C	
その他																		
324	外国人向け市政案内・相談窓口	人権政策課	来庁する外国人へ基本的な行政情報を提供するとともに、行政サービスに関する相談（通訳）を行っています。通訳業務においては、母子手帳、予防接種手帳の交付などに付き添う場合もあります。	案内・相談 2073 件。うち、保健（出産・予防接種等）に関するものは 81 件。	医療・保健に関する相談も含め、前年度よりも相談件数が増加しました。保健に関する情報提供ができました。	継続												その他

第2章 各事業の進行状況

325	国際化施策の推進	人権政策課	豊中市多文化共生指針に基づき、事業を展開しています。とよなか生活ガイドブック冊子（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）では、母子保健に関わる行政手続きや、外国人向け医療情報などを発信しています。	多文化共生のまちづくりに向けての啓発と、とよなか生活ガイドブック改訂（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）等。	相談窓口を中心に、来庁した外国人へとよなか生活ガイドブック冊子を配布することで、医療・保健に関する情報を発信することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
326	自治基本条例に基づく取り組みの推進	企画調整課	市民、事業者および職員への条例の周知、条例に基づく施策等の具体化を推進します。	平成27年12月に、市内全小学校6年生を対象に「豊中市自治基本条例の手引き【子ども版】」を配布しました。実際に授業で活用していただくことで、将来本市のまちづくりを担う子どもたちに、自分たちのまちに関心を持ってもらうとともに、市のまちづくりを進めるための基本的な考え方やルールを学んでいただく機会になることを目的としています。	平成27年度に授業で「豊中市自治基本条例の手引き【子ども版】」を活用した小学校は全体の約6割で、前年度と同程度でした。平成28年度はさらに周知してもらおうよう、6年生の担任教諭に事前に配布する予定です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
327	広報とよなか等の発行	広報広聴課	「広報とよなか」の発行、テレホンガイドの発行、市街地図「とよなかもっふ」の発行、外国人向け市政情報案内チラシの作成、広報誌・テレホンガイドへの広告掲載を行います。	広報とよなかを毎月発行し、全世帯、全事業所に配布。発行数月平均196,904部。外国人向け市政情報チラシを毎月発行。暮らしの便利帳を7月に発行。広報誌、暮らしの便利帳に広告を掲載しました。	市政に関するさまざまな情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
328	パブリシティ（報道機関への情報提供）	広報広聴課	報道機関へ行政情報や地域情報などの提供を行います。	報道機関に対し、549件の行政ニュースや地域情報などを提供しました。	市政に関するさまざまな情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
329	映像情報の提供	広報広聴課	市広報番組「かたらいプラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送します。また、同番組のウェブ配信を行います。	市広報番組（30分番組、1日3回放送。月に2回内容更新）で行政情報や市内イベント、地域・市民活動等を紹介しました。	市政に関するさまざまな情報を発信しました。	縮小	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	

第2章 各事業の進行状況

330	インターネットを活用した情報発信等	広報広聴課	インターネットを活用した情報発信およびメールによる市民の疑問や意見の収集を行います。また、財源確保の一環としてバナー広告の掲載を行います。	市公式ホームページを運用し、情報の受発信を行うとともに、フェイスブックで市の魅力を写真と文章で紹介しました。 (ホームページ全ページアクセス数月平均 573,014 件、総コンテンツ数月平均 14,198 ページ)	市政に関するさまざまな情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
331	苦情・要望・陳情への対応	広報広聴課	投書箱、電子メール、郵送、面談、電話、ファクスなどで寄せられる市政に対する意見、陳情、要望を受け付けます。	市民の声受付件数 653 件陳情要望件数 8 件	寄せられた市民の声の要旨と市の回答をホームページに掲載し、情報共有しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
332	施設見学・庁舎見学	広報広聴課	豊中市伊丹市クリーンランド、原田学校給食センター他約 50 施設を見学対象とし、市のマイクロバスで送迎します。平日の午前か午後、希望される市の施設 2、3 か所の見学ができます。また、庁舎見学では市の小学校 3 年生を対象に、屋上からの市内眺望と議場の見学を行います。	施設見学実施回数：5 回、参加人数：72 人 庁舎見学実施回数：12 回、参加人数：1,066 人	継続して参加を呼び掛けます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
333	出前講座	広報広聴課	約 130 のテーマの中から希望講座を選択。市の職員が地域に出向き、担当事業や制度内容を分かりやすく説明します。	実施回数：156 回、参加人数：4,853 人	継続して市民の利用を呼びかけます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	
334	意見公募 手続制度 の推進	広報広聴課	市の基本的な制度や事項を定める計画や条例案などを定めるにあたって、事前にその案を公表して広く意見を募り、その意見を計画や条例案などに反映させていきます。	意見公募件数：24 件 意見提出者数：52 人 提出意見数：173 件	制度の推進を継続して行います。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他	

335	協働推進の公募制度	コミュニティ政策課	<p>市が課題を提示し、市民公益活動団体から企画提案を募る提案公募型委託制度と、市民公益活動団体から自由な企画提案を募る協働事業市民提案制度を活用し、市と市民公益活動団体の協働を推進します。</p>	<p>1. 提案公募型委託制度 ①募集件数4件 ・地域自治組織と学生等若者・NPO等との協働によるモデル事業 ・豊中まつりでの「くらしかん」周知・啓発の企画・実施 ・市民活動情報サロン業務 ・「子どもの居場所づくり」企画・運営 ②提案件数11件 ③契約件数4件</p> <p>2. 協働事業市民提案制度 ①募集説明会参加5団体 ②申込1団体 ③成案化事業件数1件 事業名：自転車運転技術向上で、安全で環境と調和し、活力のある社会実現</p>	<p>提案公募型委託制度新規事業は、26年度2件から4件に増加。 協働事業市民提案制度は、26年度に引き続き1件の成案化。 課題として、協働の意義や成果についての市民・職員の理解を深めること・市民と行政で地域課題の共有を図ること、Win-Winの関係づくりと、協働を評価するしくみづくりが必要です。</p>	継続								その他	
-----	-----------	-----------	---	---	---	----	--	--	--	--	--	--	--	-----	--

第2章 各事業の進行状況

336	市民公益活動推進助成金制度	コミュニティ政策課	市民公益活動事業に必要な経費の助成を希望する団体の公募を行い、公開プレゼンテーション・審査を経て交付決定します。事業実施後に報告会を行います。	1. 助成金交付団体数 14 団体 2. 助成金交付事業：①生きづらさを抱える人とご家族の居場所『みんなのE場所』②泉丘どこでもボランティア5事業③豊中市民による地元文化の継承事業④災害時帰宅困難者体験訓練⑤子どもがつくる多世代交流型ZINE『だんらんしんぶん』⑥国際交流広場ワイワイガヤガヤ～「おもろいゼミ」～⑦元気と笑顔のお届け便利メイクプロジェクト（演劇青春塾わにまー第2章）⑧わにまー放課後塾⑨広がれ！地域のわんぱく仲間！（子どもを元気に育む地域のネットワーク作り）⑩女性のエンパワメント事業「ママになった記念祭」・「幸せなお産・子育てのための妊娠前教室」⑪豊中和太鼓まつり15周年記念公演⑫大阪府シルバーアドバイザー養成講座⑬子育て中だからできる「わたしの未来応援ブック」の発行⑭カラフルキッチン とよなかま	助成金交付団体数は、26年度の11事業から14事業に増加。課題として、申込み団体数は飛躍的に伸びたものの、より広い行政課題に対応していく必要があります。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	その他
337	市民活動情報サロン主催事業	コミュニティ政策課	市民公益活動のための情報発信及び交流の場の提供、市民公益活動の推進に関する情報の収集・提供、相談、講座の開催、啓発の実施などを行います。	市民活動情報サロン来場者数 7475人 団体情報掲載団体数 140 団体	平成26年度より豊中市民サービスコーナー廃止後のスペース拡張により、機能が拡充され来場者数も大幅に増加している。団体情報掲載団体数も年々増加しており、26年度の134団体から更に増加。課題として、市民活動情報サロンの認知度の向上が必要です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	その他
338	専門相談等相談業務	広報広聴課	市民相談を受ける中で、健康に関する不安等あれば、健康相談窓口や、その他相談窓口を案内しています。	市民相談を受ける中で、健康に関する不安等あれば、健康相談窓口や、その他相談窓口の案内を行いました。	健康相談窓口やその他相談窓口の案内を行い、健康づくりへの総合的な支援を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	その他

資料：計画評価指標に関する市民意識調査 実施結果

資料

計画評価指標に関する 市民意識調査 実施結果

豊中市健康づくり計画の進行管理に向け、市民の方の健康づくりに関する意識を把握するため、成人保健分野・母子保健分野について調査を実施しました。

調査の概要・結果についてご報告します。



調査の目的

健康づくり計画で定める評価指標は、その多くが市民アンケートで把握するものとなっています。平成 29 年度の健康づくり計画中間見直しに向けて、その前年度である平成 28 年度(今年度)には大規模な市民アンケートを実施しますが、それまでの間データが取れない事から、簡易版の市民アンケートを実施し、健康づくりに対する市民の意識を把握し、計画の進捗管理に役立てます。

なお、大規模市民アンケートと異なり、調査対象や母数が限定されていることから、計画目標値とは直接比較ができず、収集したデータは参考値として位置づけます。

調査の実施状況

調査は、成人版と母子版の 2 種類を実施し、それぞれの対象者、調査方法、回収数は以下の通りです。

◆ 成人版

対象者	① とよなか市民健康展参加者 ② 市ホームページ閲覧者
方法	① 健康展参加時に配布、回収 (H27 年 10 月 4 日) ② インターネットアンケートシステムを使用し、市ホームページから回答を募集 (H27 年 9 月 4 日～10 月 4 日)
有効回答数	計 202 件 (内訳：① 200 件 ② 2 件)

◆ 母子版

対象者	3 歳 6 か月児健康診査受診対象児の保護者
方法	健診時に配布、回収 ※日程は以下の 3 日間 H27 年 10 月 2 日 (中部保健センター) H27 年 10 月 28 日 (千里保健センター) H27 年 11 月 9 日 (庄内保健センター)
有効回答数	168 件

(参考)

豊中市健康づくり計画策定にあたり実施した市民アンケート調査

◆ 「市民の生活習慣と健康意識」調査

対象者	平成 23 年 9 月 21 日時点で、16 歳以上の市民から 3,000 件を無作為抽出
調査期間	平成 23 年 10 月 1 日～10 月 17 日
有効回答数	1,251 件

◆ 「母子保健サービスに関するアンケート」調査

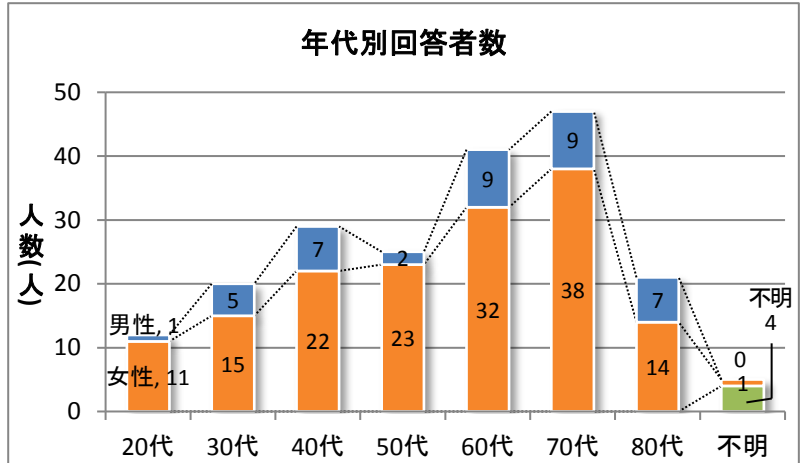
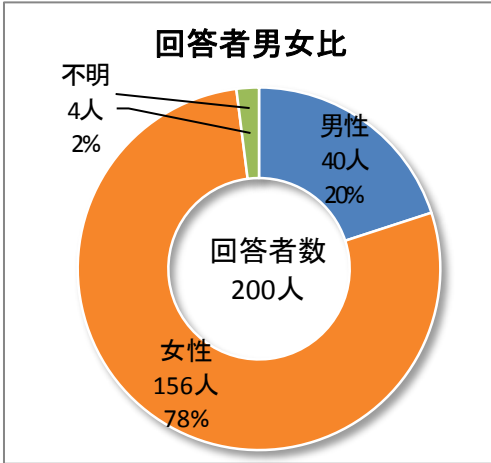
対象者	平成 23 年 9 月 21 日時点で、就学前の子どもを持つ市在住の世帯から 3,000 件を無作為抽出
調査期間	平成 23 年 10 月 1 日～10 月 17 日
有効回答数	1,571 件

回答者の属性

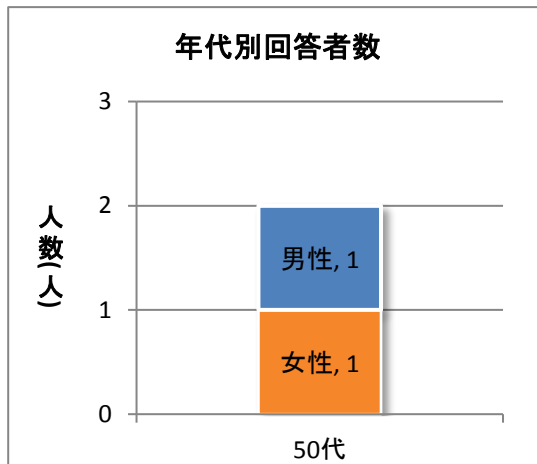
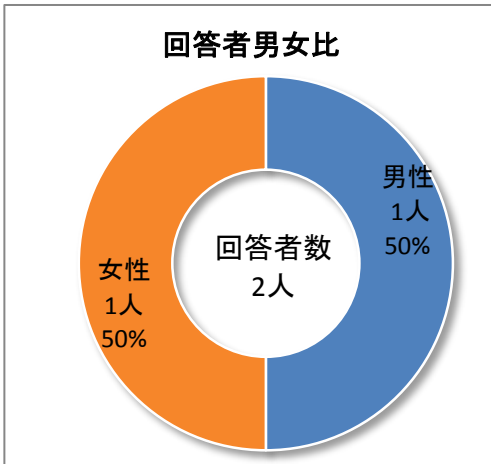
各調査の回答者の属性は以下の通りです。

【成人版】

①とよなか市民健康展参加者 回答者数 200人

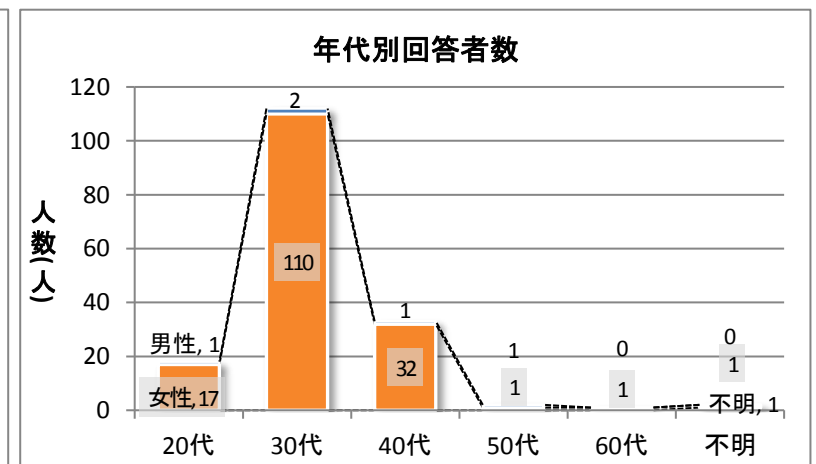
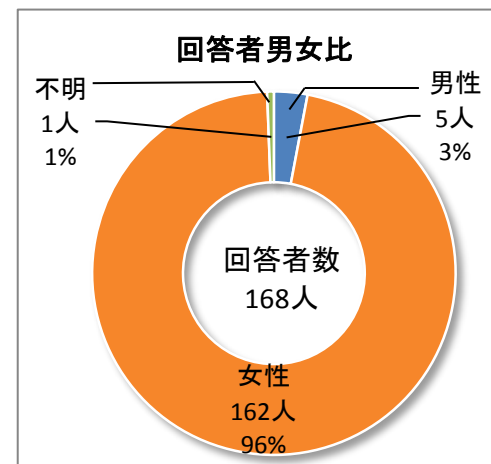


②市ホームページ閲覧者 回答者数 2人



【母子版】

3歳6か月児健康診査 受診対象児の保護者 回答者 168人

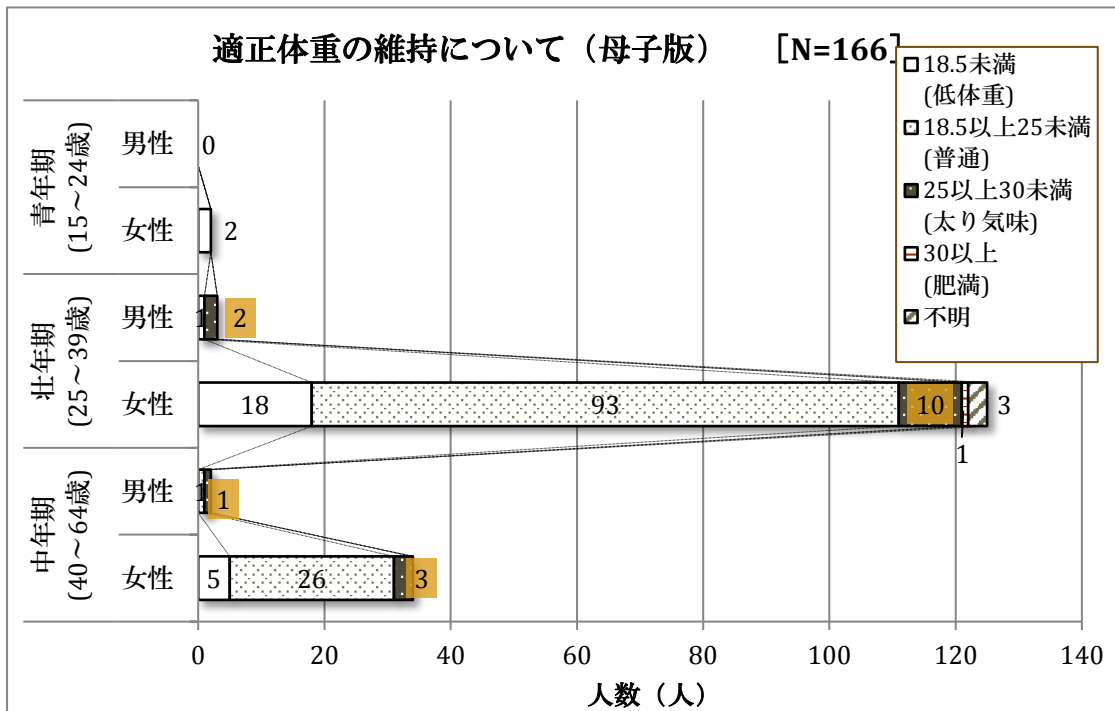
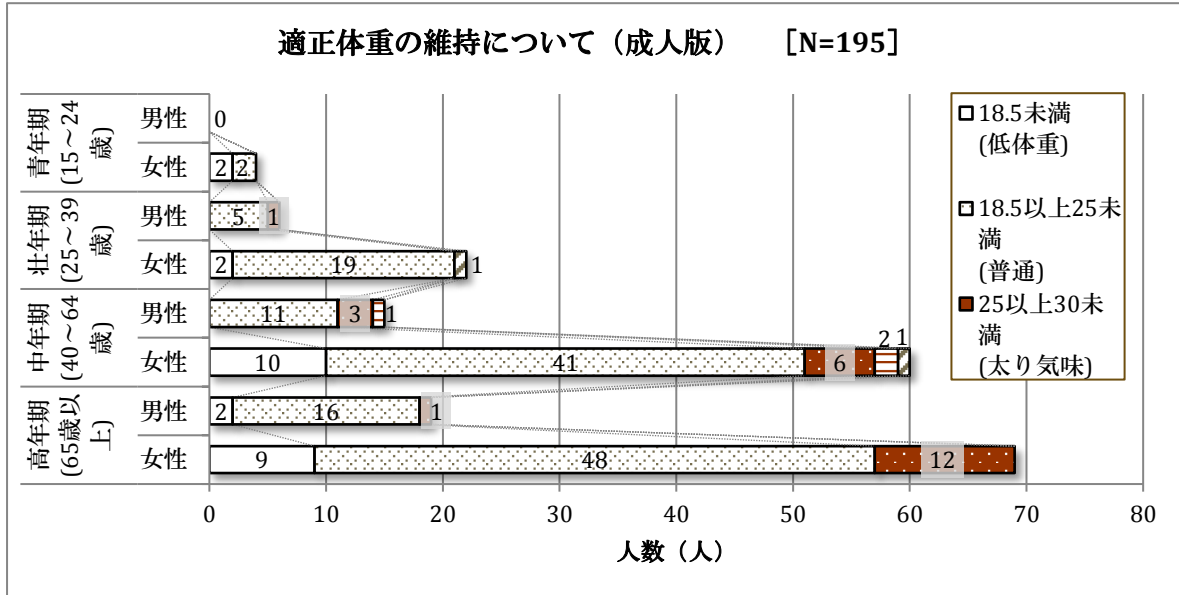


調査結果

I 栄養・食生活

問1. 身長と体重はどのくらいですか。

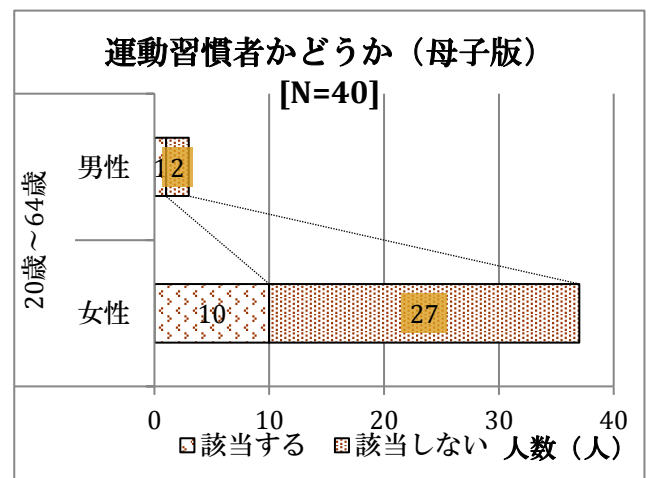
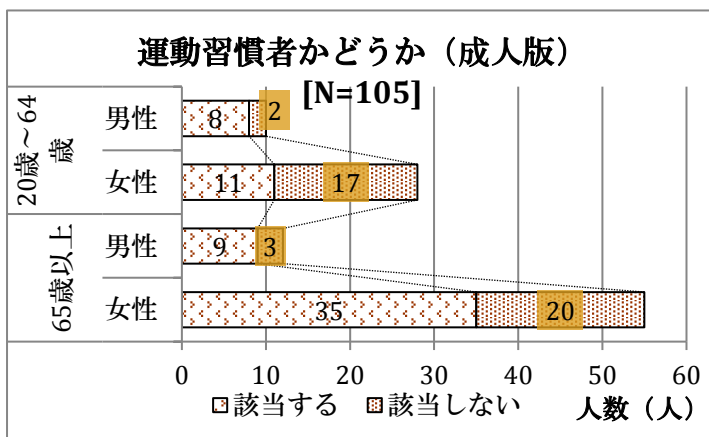
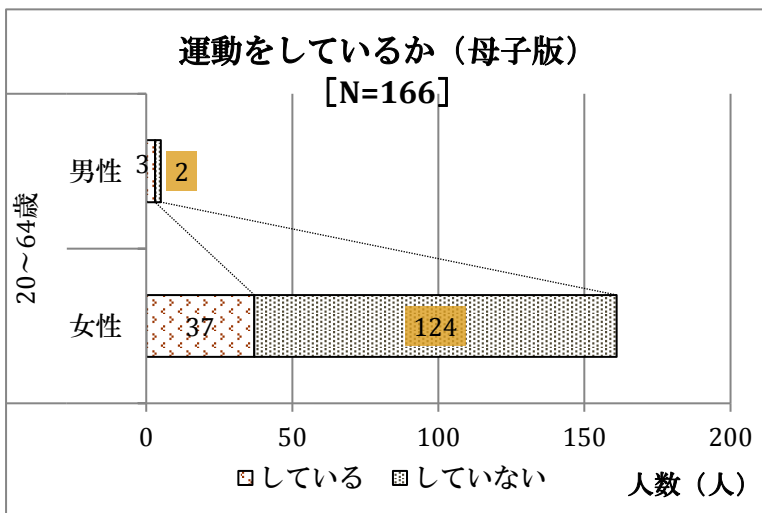
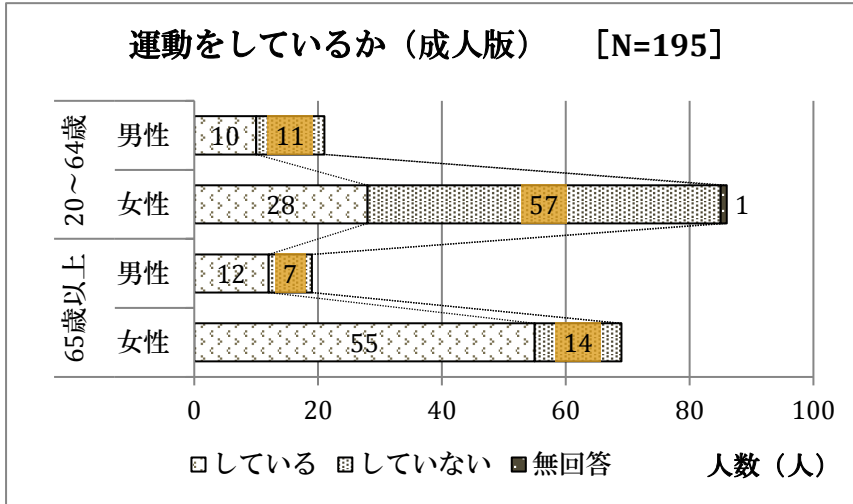
※身長と体重から BMI*1)を算出



*1)BMI・・・ボディマス指数(Body Mass Index)のこと。「体重(kg)÷身長²(m)」の計算式で求めることができ、どの程度の肥満や痩せがあるかを測ることができる。日本では、**BMI22**を標準体重(もっとも罹患率が低く、健康的に生活ができるとされる理想的な体重)、18.5未満を低体重(やせ)、25以上を肥満としている。

II 運動・身体活動

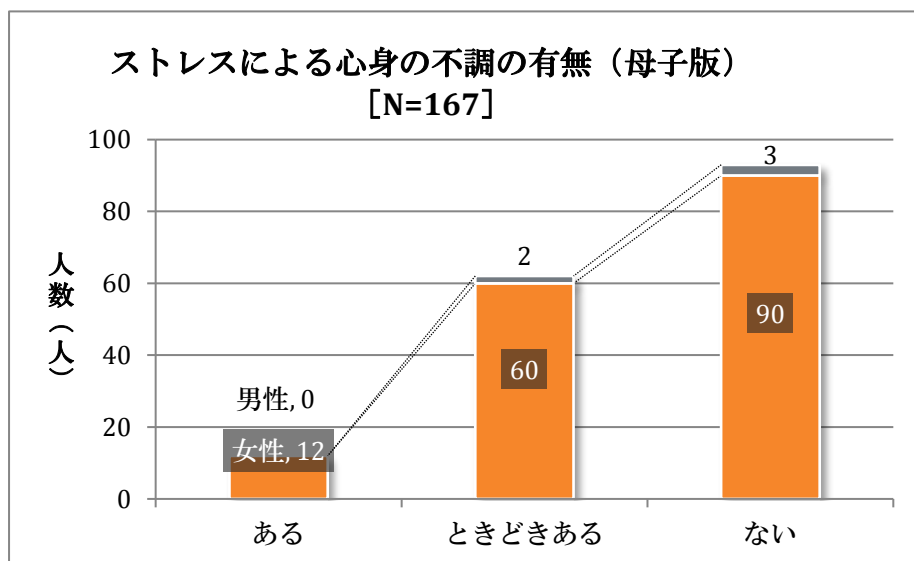
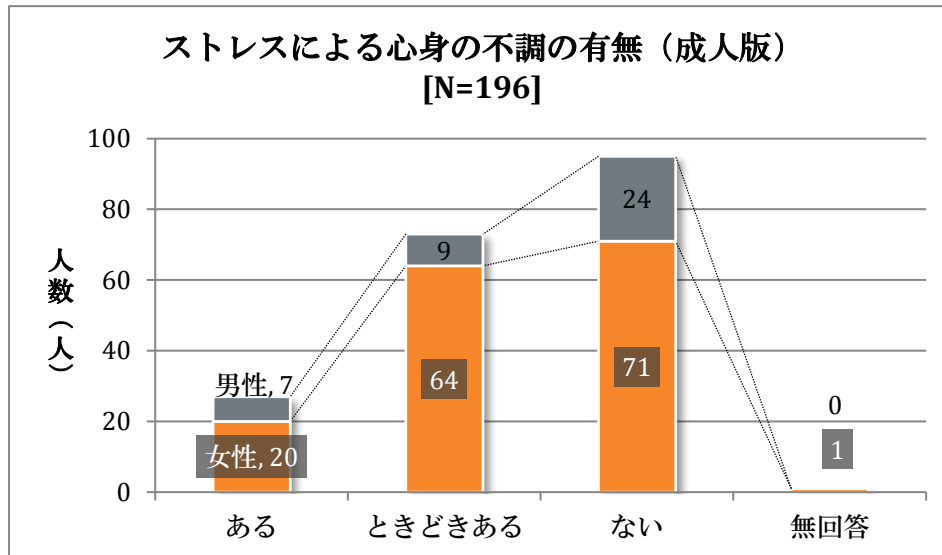
問 4. 健康の維持・増進のために意識的に運動していますか。



*2)運動習慣者…週に3回以上、一回30分以上の運動をしているものをさす。

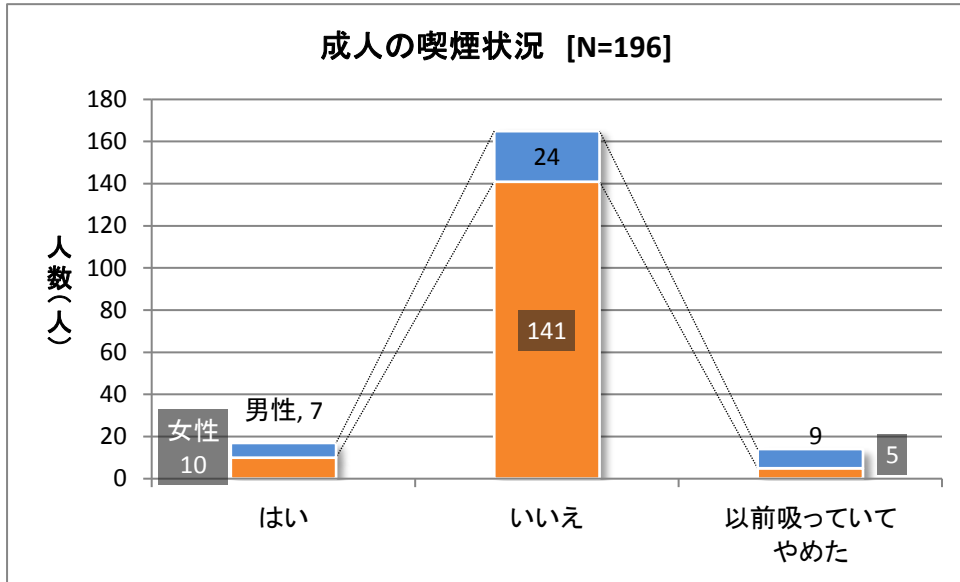
Ⅲ こころの健康

問 6. この1ヶ月間にストレスによって心や体の不調などがありましたか。

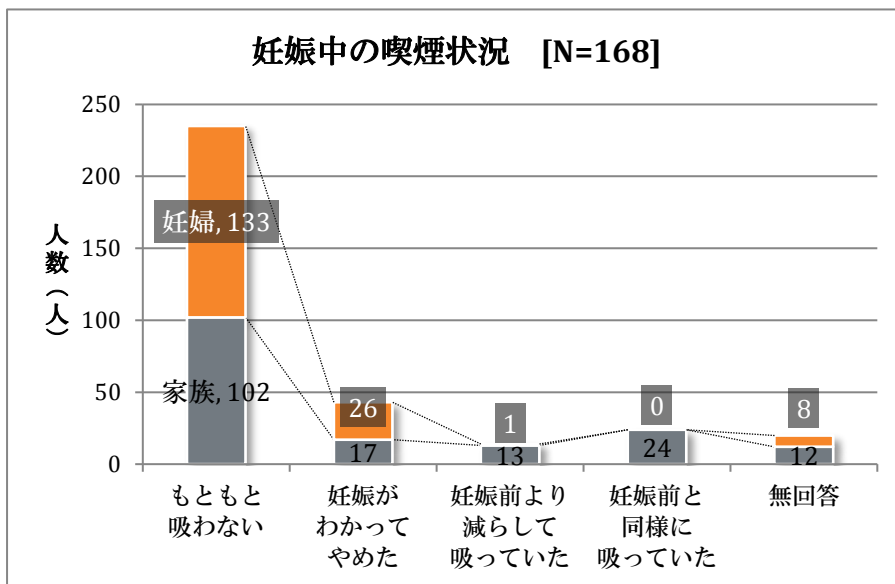


IV たばこ

問 7. 現在たばこを吸っていますか。

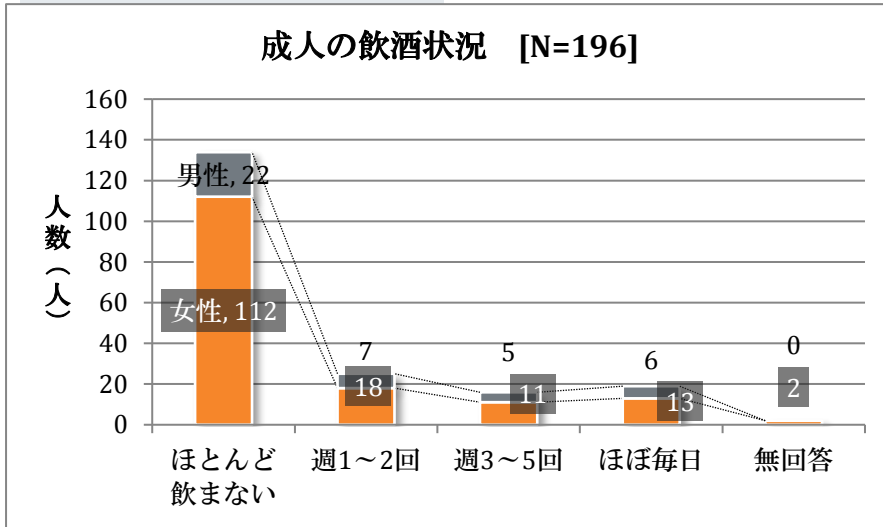


問 7. 妊娠中、喫煙していましたか。

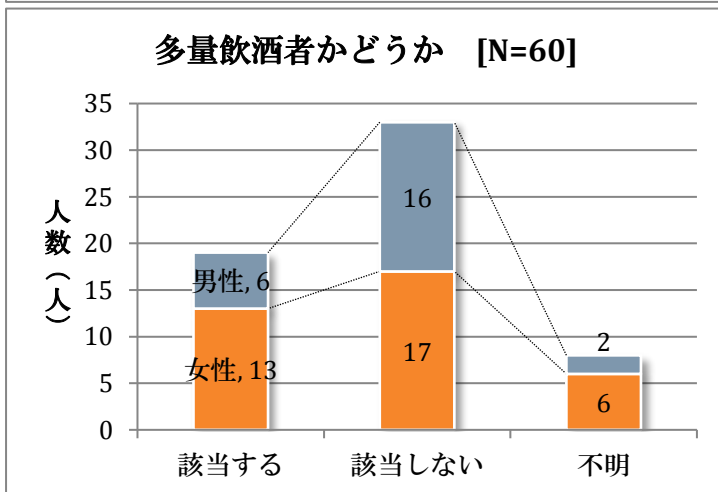
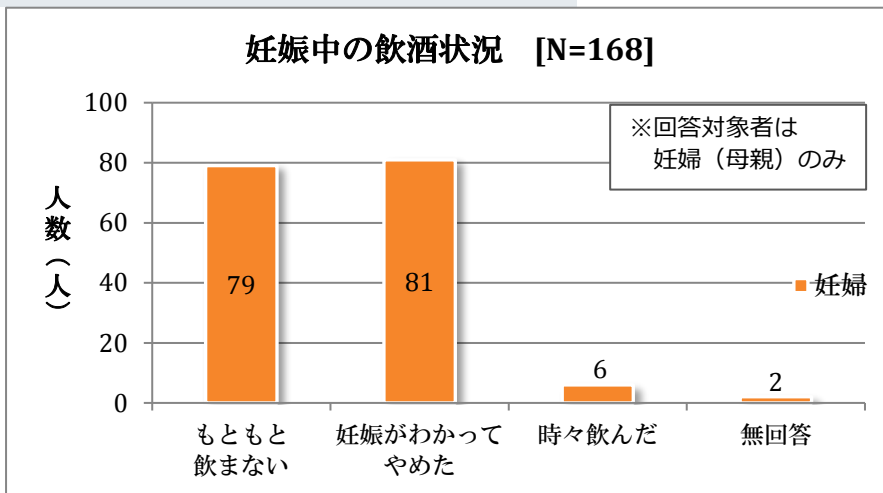


V アルコール等

問 8. アルコール類を飲みますか。



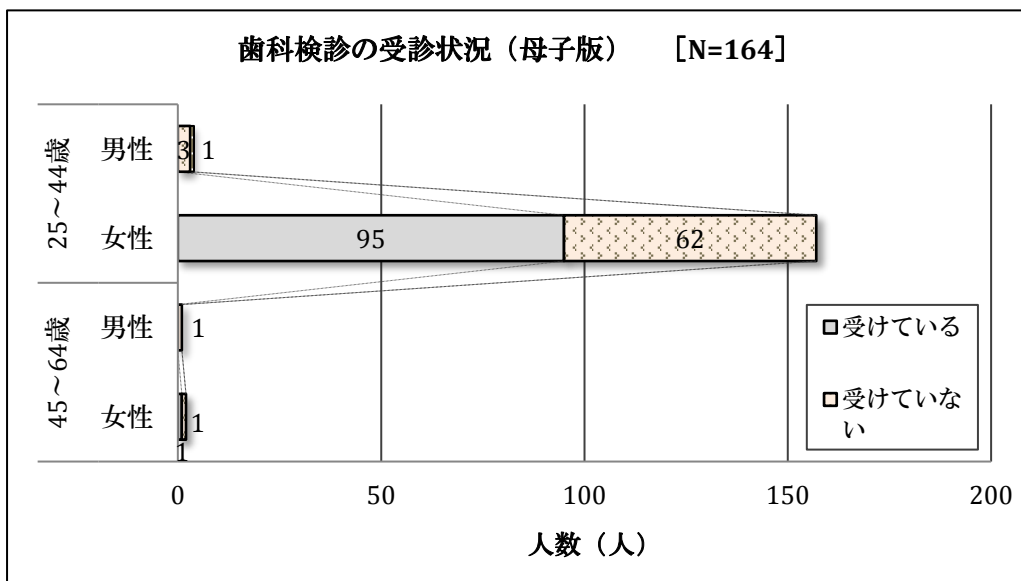
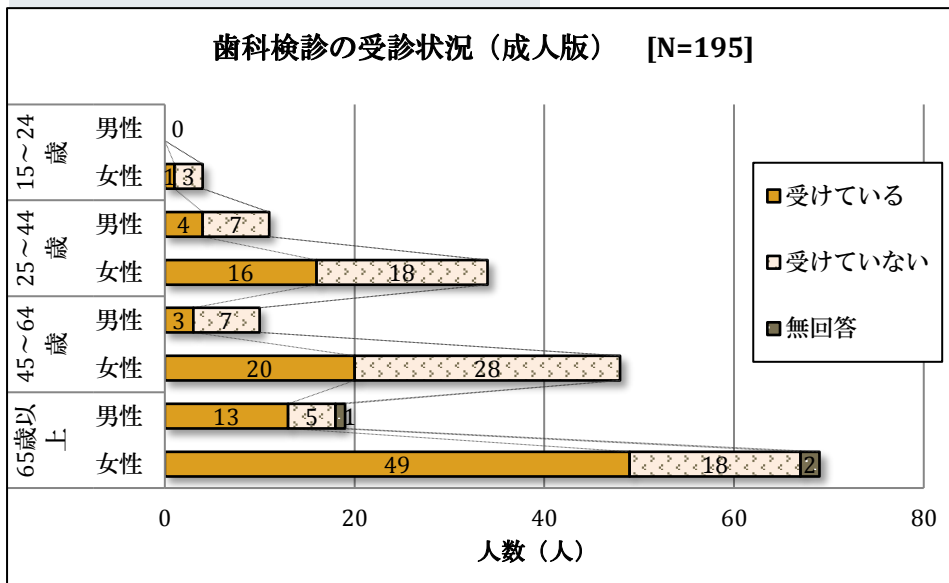
問 8. 妊娠中、お母さんは飲酒していましたか。



* 3)多量飲酒者・・・一日当たりの純アルコール摂取量が、男性 40g 以上/女性 20g 以上 に該当する場合をさす。 【純アルコール摂取量目安】 清酒 1 合 ⇒22g、ビール 500ml⇒ 20g 程度。

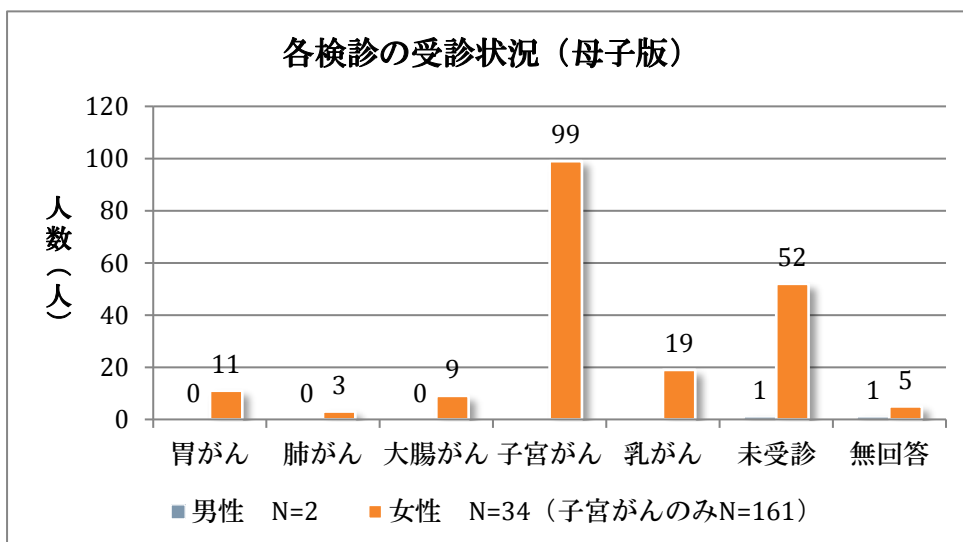
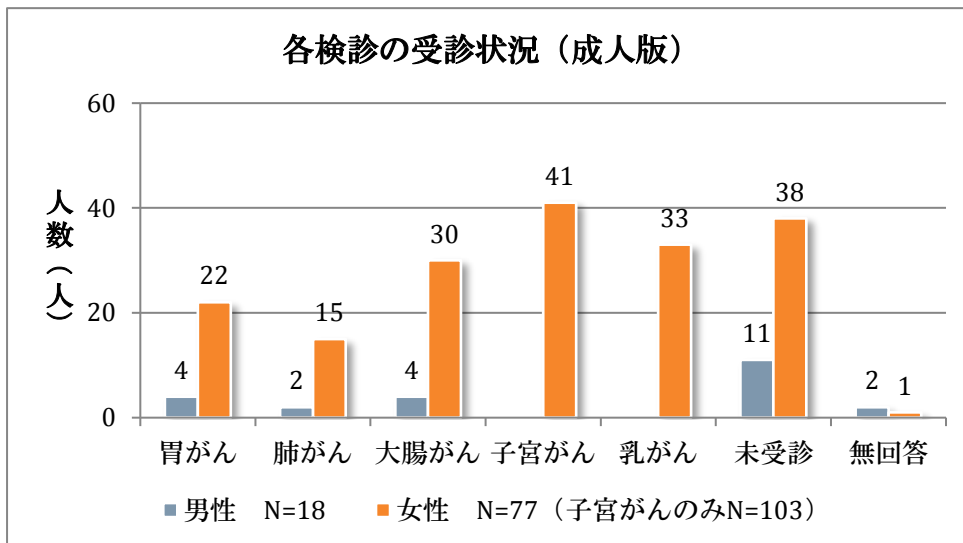
VI 歯や口の健康

問9. 定期的に歯科検診を受けていますか。



Ⅶ 健康管理

問 10. 過去 1 年間(子宮がん・乳がんは過去 2 年間に)、次のがん検診を受けたことがありますか。



※「受けたことのあるがん検診すべてについて回答」のため、各項目の和と対象人数は一致しない。

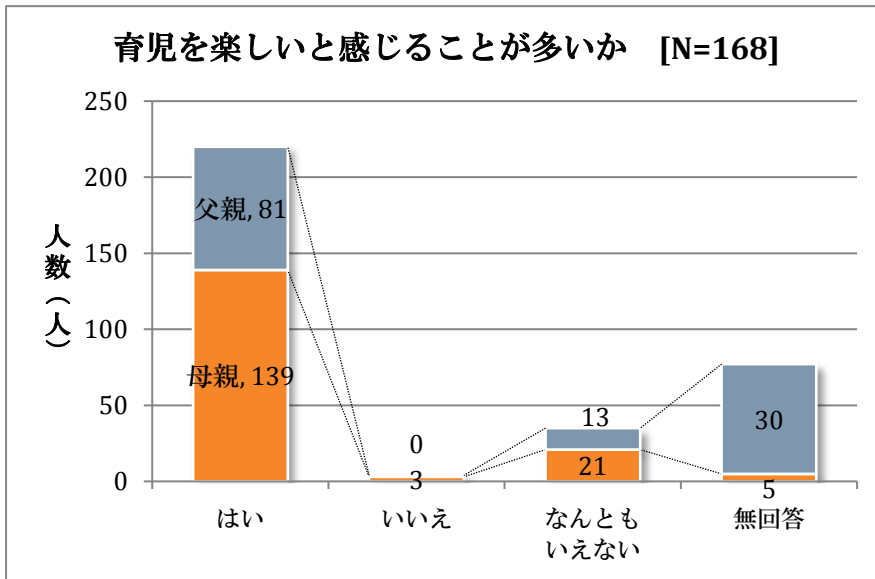
【各検診の対象年齢】

胃がん、肺がん、大腸がん：40～69 歳男女

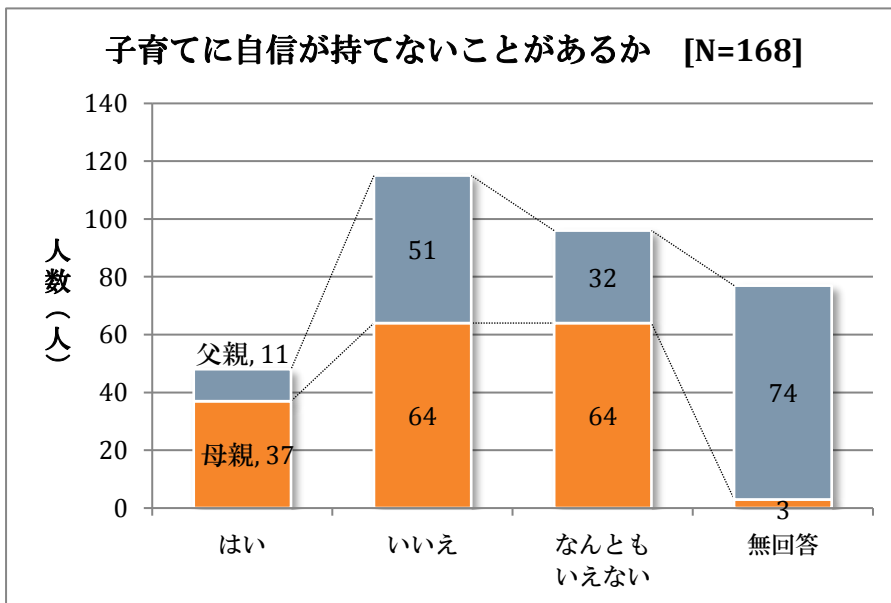
子宮がん：20～69 歳女性、乳がん：40～69 歳女性

VIII 子育て・子育て *母子版のみ

問 11. 育児を楽しんでいると感じることが多いですか。



問 12. 子育てに自信を持っていないことがありますか。あるいは、以前そのようなことがありましたか。



■ 調査結果に関する考察

調査結果からもわかるように、市民健康展の参加者は、日常的な運動や、がん健診・歯科検診等の受診を積極的に行っている。また、喫煙者も比較的少なく、ほとんどの人が妊娠がわかってやめていることがわかる。飲酒に関しては、回答者の半数近くがもともと飲まなかったが、それとほぼ同数の参加者が、妊娠がわかったことにより飲酒をやめていることがわかる。よって、市民健康展の参加者は健康に関する意識が高いことがわかる。

■ 調査用紙見本（成人版）

豊中市健康づくり計画に関する市民意識調査ご協力をお願い

平成 27 年(2015 年)10 月
豊中市保健所 保健医療課

日ごろから、当市の健康福祉行政について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊中市では、平成 25 年(2013 年)3 月に「豊中市健康づくり計画」を策定しました。「健康をつくろう！みんなで作ろう！」という計画の基本理念のもと、母子保健分野・成人保健分野を「健康」の視点から一体的に推進し、また、市民の健康づくりへの取り組みを地域や社会全体で支援するための環境整備を行うことで、市民一人ひとりが自身の健康を主体的に守り、生涯を通して健やかでこころ豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざして取り組みを進めています。

今回、この「豊中市健康づくり計画」のより効果的な推進に向け、市民の生活習慣や健康づくりに対する意識などを知るためのアンケート調査を実施いたします。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

つきましては、大変お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、集計結果につきましては、統計的に処理した上で、「平成 27 年度(2015 年度) 豊中市健康づくり計画年次報告書」(平成 28 年度(2016 年度)秋頃に発行予定) 内にて公表いたします。

＜ご回答にあたってのお願い＞

- ①ご回答は、選択肢に○をつけていただく場合と数字などをご記入いただく場合があります。
- ②選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。ご注意ください。
- ③設問によって、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。

【アンケートに関するお問い合わせ】

豊中市保健所 保健医療課（保健企画係）
〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1
TEL：06-6152-7309 FAX：06-6152-7328
E-mail：hokeniryou@city.toyonaka.osaka.jp

健康づくりに関する市民意識調査

このアンケートは、健康づくり計画の推進のため、市民の皆様の「健康づくり」への意識等を知るために行います。回答内容や集計結果は、豊中市における健康づくり推進の目的以外に使用されることは一切ありませんので、どうぞご協力くださいますようお願いいたします。質問は、問 1～問 11 までの計 11 問です。

■ 問 1. あなたの身長と体重はどのくらいですか。(下記に数字をご記入ください)

身長 _____ cm 体重 _____ kg

■ 問 2. あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1. ある 2. ない

問 2 で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。

→ ■ 問 2-1 それはどのようなことに影響がありますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など） | 4. 運動（スポーツを含む） |
| 2. 外出（時間や作業量などが制限される） | 5. その他 |
| 3. 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される） | |

■ 問 3. あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よい 2. まあよい 3. ぶつう 4. あまりよくない 5. よくない

■ 問 4. 健康維持・増進のために意識的に運動していますか。(いずれかに○)

1. はい 2. いいえ

問 4 で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。

→ ■ 問 4-1. どのくらいの頻度で運動を行っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | | |
|-------------|---------------------------------|-------------|
| 1. 毎日 | 2. 週 3～4 日くらい | 3. 週 1 日くらい |
| 4. 月 1 日くらい | 5. その他 () | |

問 4 で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。

→ ■ 問 4-2. 1 日につき、運動をどのくらいの時間行っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | | |
|-----------|---------------------------------|--------------|
| 1. 30 分未満 | 2. 30 分～1 時間 | 3. 1 時間～2 時間 |
| 4. 2 時間以上 | 5. その他 () | |

- 問 5. 忙しい人でも気軽に体を動かす機会を増やしてもらおうと、「段トレ」という取り組みを進めています。
段トレ(下図)を知っていますか。(いずれかに○)

1. はい 2. いいえ

問 5 で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。

- 問 3-1. 段トレを知る前と後で、運動量に変化はありましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. 増えた 2. 特に変化はない
3. 減った

問 5 で「2. いいえ」と回答した方にお尋ねします。

- 問 3-2. 今後、段トレに取り組んでみたいと思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. はい 2. いいえ
3. その他 ()



- 問 6. この 1 ヶ月間にストレスによって心や体の不調などがありましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. ある 2. ときどきある 3. ない

- 問 7. 現在たばこを吸っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. はい 2. 以前吸っていてやめた 3. いいえ

- 問 8. アルコール類を飲みますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. ほぼ毎日 2. 週に 3~5 回 3. 週に 1~2 回 4. ほとんど飲まない

問 8 で「1. ほぼ毎日」「2. 週に 3~5 回」「3. 週に 1~2 回」と回答した方にお尋ねします。

- 問 8-1. 1 日で平均どれくらい飲みますか。(下記の空欄に数字をご記入ください)

1. ビール・発泡酒 (mL)	2. 酎ハイ (mL)	
3. 焼酎(25度) (mL)	4. ウイスキー (mL)	
5. ワイン (mL)	6. 日本酒 (合)	7. 梅酒 (合)

【参考】量は以下を参考にしてください。

- ◆コップ 1 杯…180mL ◆缶 1 本…小)350mL 中)500mL 大)633mL
- ◆ジョッキ 1 杯…中)320mL 大)600mL ◆ワイングラス 1 杯…120mL ◆ワインボトル 1 本…750mL
- ◆ウイスキー(シングル)1 杯…30mL ◆お猪口 1 杯…30mL ◆1 合=180mL ◆一升=1,800mL

■問 9. 定期的に歯科検診を受けていますか。(いずれかに○)

1. している

2. していない

■問 10. 過去 1 年間(子宮がん・乳がんは過去 2 年間)に、次のがん検診を受けたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 胃がん検診

2. 肺がん検診

3. 大腸がん検診

4. 子宮がん検診(女性のみ・過去 2 年間)

5. 乳がん検診(女性のみ・過去 2 年間)

6. この 1 年間受けたことがない

■問 11. あなたの年齢、性別、郵便番号をご記入ください。

年齢) _____ 歳

性別) 男性 ・ 女性

郵便番号) _____

ご協力ありがとうございました。

豊中市健康づくり計画に関する市民意識調査ご協力をお願い

平成 27 年(2015 年)10 月
豊中市保健所 保健医療課

日ごろから、当市の健康福祉行政について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊中市では、平成 25 年(2013 年)3 月に「豊中市健康づくり計画」を策定しました。「健康をつくろう！みんなで作ろう！」という計画の基本理念のもと、母子保健分野・成人保健分野を「健康」の視点から一体的に推進し、また、市民の健康づくりへの取り組みを地域や社会全体で支援するための環境整備を行うことで、市民一人ひとりが自身の健康を主体的に守り、生涯を通して健やかでこころ豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざして取り組みを進めています。

今回、この「豊中市健康づくり計画」のより効果的な推進に向け、保護者の皆さんの生活習慣や健康づくりに対する意識などを知るためのアンケート調査を実施いたします。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

つきましては、育児等で大変お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、集計結果につきましては、統計的に処理した上で、「平成 27 年度(2015 年度) 豊中市健康づくり計画年次報告書」（平成 28 年度(2016 年度)秋頃に発行予定）内にて公表いたします。

<ご回答にあたってのお願い>

- ①保護者の方のことについてご回答ください。
- ②各質問に示しています回答方法によりご記入ください。
 - ・指定がない項目は、保護者の方どなたでもご記入いただいてもかまいません。
 - ・各回答欄の横に、「父」・「母」など指定のあるものは、対象の保護者の方がご記入ください。対象の方がいない、不在にしている等、記入できない場合は空欄でもかまいません。

【アンケートに関するお問い合わせ】

豊中市保健所 保健医療課（保健企画係）
〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1
TEL : 06-6152-7309 FAX : 06-6152-7328
E-mail : hokeniryoushou@city.toyonaka.osaka.jp

健康づくりに関する市民意識調査

このアンケートは、健康づくり計画の推進のため、市民の皆様の「健康づくり」への意識等を知るために行います。回答内容や集計結果は、豊中市における健康づくり推進の目的以外に使用されることは一切ありませんので、どうぞ協力くださいますようお願いいたします。質問は、問1～問13までの計13問です。

■問1. あなたの身長と体重はどのくらいですか。(下記に数字をご記入ください)

身長 _____ cm 体重 _____ kg

■問2. あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1. ある 2. ない

問2で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。

→ ■問2-1 それほどのようなことに影響がありますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など） | 4. 運動（スポーツを含む） |
| 2. 外出（時間や作業量などが制限される） | 5. その他 |
| 3. 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される） | |

■問3. あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よい 2. まあよい 3. ぶつう 4. あまりよくない 5. よくない

■問4. 健康維持・増進のために意識的に運動していますか。(いずれかに○)

1. はい 2. いいえ

問4で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。

→ ■問2-1. どのくらいの頻度で運動を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-----------|---------------------------------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週3～4日くらい | 3. 週1日くらい |
| 4. 月1日くらい | 5. その他 () | |

問4で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。

→ ■問2-2. 1日につき、運動をどのくらいの時間行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|----------|---------------------------------|------------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分～1時間 | 3. 1時間～2時間 |
| 4. 2時間以上 | 5. その他 () | |

■問 11. 育児を楽しんでいると感じることが多いですか。(それぞれあてはまるもの 1 つに○)

父	1. はい	2. いいえ	3. なんともいえない
母	1. はい	2. いいえ	3. なんともいえない

■問 12. 子育てに自信を持っていないことがありますか。あるいは、以前そのようなことがありましたか。
(それぞれあてはまるもの 1 つに○)

父	1. はい	2. いいえ	3. なんともいえない
母	1. はい	2. いいえ	3. なんともいえない

■問 13. あなたの年齢、性別、郵便番号をご記入ください。

年齢) _____ 歳

性別) _____ 男性 _____ 女性

郵便番号) _____

ご協力ありがとうございました。

平成 27 年度（2015 年度）豊中市健康づくり計画年次報告書

平成 28 年（2016 年）7 月

豊中市 健康福祉部 保健所 保健医療課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6152-7309 FAX 06-6152-7328